

令和 5 年度 事業報告書

R5.4.1▶R6.3.31



社会福祉法人 青森県社会福祉協議会

も く じ

令和5年度事業の実施概要	1
第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進	2
1 市町村社会福祉協議会への支援と協働	2
2 ボランティア・市民活動の振興と充実	9
3 民生委員・児童委員活動との連携・協働	19
4 生活困窮者に対する総合的な支援	21
5 地域共生社会の実現に向けた取り組みの推進	30
6 低所得者等に対する資金の貸付と支援	35
7 孤立させない地域づくりの推進	42
8 矯正施設退所者の社会復帰支援	44
9 障害者虐待防止に向けた支援	50
10 福祉関係団体との連携と支援	55
11 社会福祉法人による社会貢献活動の推進	67
第2 福祉サービスの利用者と事業者への支援	73
1 判断能力が低下した方への権利擁護活動の推進	73
2 運営適正化委員会事業の推進	80
3 社会福祉事業の経営への支援	98
4 福祉サービス提供者の質の向上に向けた支援	92
第3 福祉を担う人材の確保と養成	98
1 福祉人材センター事業等の推進	98
2 保育士確保及び子育て環境づくりの推進	109
3 有資格者の就労定着に向けた支援	123
4 介護啓発・福祉機器普及センター事業の推進	128
5 社会福祉従事者のための福利厚生事業の推進	140
第4 組織・機能の強化と発展	144
1 適正な事務執行と内部牽制体制の充実強化	144
2 自主財源の確保強化と公的財源の有効活用	147
3 情報提供・広報啓発活動の充実	149
役職員が参画している関係機関・団体が主催する会議・委員会等	151
全国及び北海道・東北ブロック会議	153
本会の組織	155
事務局組織図	156
会務の運営	157
会員等の状況	159
事業報告附属明細書	161

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

1 市町村社会福祉協議会への支援と協働

市町村社協が地域福祉の推進主体としての役割を発揮し、福祉コミュニティづくりや継続的なサービスの提供を行えるよう支援を行うとともに、地域福祉活動の更なる強化に向けて指定事業やモデル事業の支援を実施した。

(1) インフォーマル事業の展開と協働

①市町村社協との協働事業の開発・実施

ア) 地域の支え合いの仕組みづくり推進事業

地域共生社会の実現に向けて、誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるよう、住民主体による居場所づくり等を通じた生活上の課題の把握や住民同士の支え合いの推進を図り、具体的な事業展開や方向性を示すための仕組みづくりを支援することを目的として実施した。

助成額：1ヶ所10万円以内を助成

指定社協【実施日】	事業内容（要旨）	参加者	助成額（円）
三沢市 令和5年 12月8日（金）	【いきいき生活サポーター養成講座】 「いきいき生活サポート事業」の新規サポーターの養成と、現在活動しているサポーターの活動報告、情報交換のために開催。	15人	100,000
むつ市 8月9日（水）・10日（木）	【ふれあいバスの旅】 市内在住の65歳以上の方を対象に、南部町観光農園、八戸市八食センターへ日帰りバス旅行を実施。	147人	100,000
鶴田町 令和5年4月 ～令和6年3月	【地域福祉活動計画の作成と広報啓発】 昨年度策定した地域福祉活動計画を配布し、広報啓発を行った。	全町民	100,000
計			300,000

イ) 地域における福祉学習実践事業

多発する自然災害に備え、学校や地域における防災教育をより一層充実させ、「命の尊さ」や「助け合いの心」を学ぶとともに、住民一人ひとりが自然災害を正しく理解し、いざというときのための実践的な知識と技術を得ることを目的として実施した。

助成額：1ヶ所10万円以内を助成

【担当者会議の開催】

指定社協に対し、実施する社協間で本事業の趣旨及び重点事項などの共通認識を図るほか、講師（くらしの学びサポートオフィス Human Being）からの企画内容の検討・助言等をいただく打合せ会議を開催した。

【実施事業】

指定社協【実施日】	事業内容（要旨）	参加者	助成額（円）
藤崎町社協 令和5年 10月5日（木）	<防災学習> ・防災に関する講話 ・防災ゲーム	28人	100,000

令和5年度 事業の実施概要

本会の基本理念である「住民が支え合い、だれもがその人らしく健やかで安心して暮らせる福祉社会」の実現のため、市町村社協や民生委員・児童委員、社会福祉施設、関係社会福祉団体、関係行政機関との連携により各種事業を実施した。国が進める「地域共生社会の実現」においては、中核的役割が求められる市町村社協への支援とともに、社会福祉法人の社会貢献活動やサービス利用者の権利擁護、介護・保育等における福祉人材の確保等の取り組みを推進した。

また、社会経済活動が平常に戻る中、本会においても、コロナ禍前と同様に事業展開を行ったほか、物価高騰などの影響を受け、生活に困窮する世帯への相談支援を積極的に展開し、一定の成果を上げたところである。

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

地域福祉活動の中核である市町村社協や民生委員・児童委員等と連携・協働し、地域福祉推進に関する事業を実施するとともに、生活支援コーディネーターの養成や各種研修・会議等を開催し、情報共有に務めた。また、生活福祉資金貸付制度における特例貸付の返済免除や猶予事務を実施したほか、借受世帯の自立に向けた相談支援活動を市町村社協と協働で展開した。さらに、7月の秋田豪雨災害や1月の能登半島地震に対する災害ボランティアセンター運営への職員派遣を行ったほか、能登半島地震では、生活福祉資金貸付の応援派遣や避難所で生活する被災者を支援するため災害福祉支援チームの派遣等も実施した。

生活困窮者等への支援では、東地域並びに中南地域において、ひきこもり支援も含め、多機関協働による包括的な相談支援活動を継続的に実施したほか、地域生活定着支援事業では、刑余者、被疑者への支援活動を実施し、排除されない包摂社会の構築に向けて個別支援活動を展開した。

さらには、社会福祉法人による社会貢献活動「青森しあわせネットワーク」による相談支援や現物支給による物資の提供、住居確保困難者への支援や就労に係る支援を行ったほか、休眠預金基金を活用したフードバンク活動や孤独孤立予防である「みんなの居場所」や「子ども食堂」の拡充、さらには、参画する法人団体と連携して「こども宅食おすそわけ便」等を県内各地で継続的に推進した。

第2 福祉サービスの利用者と事業者の支援

福祉サービス利用者の尊厳を守りながら適切なサービスが利用できるよう、日常生活自立支援事業や成年後見制度普及への取り組みをはじめ、サービス利用の苦情に対応した苦情解決事業を展開し、誰もが必要なサービスを安心して利用できるよう各種事業を推進した。

また、事業者への支援では、法人・施設経営への専門相談や第三者評価事業等を実施したほか、福祉サービスの選択に資する情報の提供を行うための事業所情報の公表、さらには、福祉サービスの質の向上に向けた各種研修会を開催するなど、事業者を支援する事業を展開した。

第3 福祉を担う人材の確保と養成

福祉人材の確保と専門性を備えた人材の養成を図るため、福祉人材センターや保育士・保育所支援センターによる職業紹介事業や福祉従事者向けの各種専門研修等を開催した。また、資格取得や再就職のための助成や貸付、さらには、福祉現場で働く職員の福利厚生、退職共済等の事業を実施し、県内の福祉従事者の確保・定着に努めた。また、介護業務の効率化や質の向上などを目的としたICTや介護ロボットの普及と導入を支援した。

第4 組織・機能の強化と発展

理事・監事・評議員による会務の運営と会計監査人による監査を実施し、適正な事務執行と内部牽制体制の維持を図ったほか、ホームページ等の広報媒体を活用した情報の発信を行った。

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

平内町社協 10月19日（木）	<防災学習> ・避難所開設について ・災害ボランティアセンター支援報告 ・防災に関する講話 ・防災ゲーム ・防災食配布	22人	100,000
鶴田町社協 10月20日（金）	<防災学習> ・防災に関する講話 ・防災ゲーム ・防災グッズ製作・紹介 ・防災食試食	68人	100,000
計		118人	300,000

ウ) 権利擁護推進事業

市町村社協が取り組む権利擁護事業の活動支援を行うことにより、住民に寄り添った社協ならではの権利擁護支援の展開及び事業の推進・強化を図ることを目的として実施した。

助成額：1ヶ所10万円以内を助成

指定社協[実施日]	事業内容（要旨）	参加者	助成額(円)
むつ市社協 [通年]	・成年後見利用検討会議の開催 ・むつ市民後見人意見交換会・フォローアップ研修会の開催 ・成年後見制度利用に関する相談対応 ・各民生委員児童委員協議会に事業説明 ・社協だよりなど広報を通じての周知活動	—人	100,000
計		—人	100,000

エ) 愛の輪レクリエーション事業

障がい者・高齢者等を中心に、その家族、地域住民、ボランティアが一堂に集い、レクリエーション等を通じて交流し、社会参加の促進及び連帯意識やバリアフリー意識の高揚を図ることを目的とする取り組みに対し助成した。

助成額 1ヶ所10万円を上限

指定社協[実施日]	事業内容（要旨）	参加者	助成額(円)
五所川原市 令和5年 9月16日（土）	【第44回五所川原市愛の輪レクリエーション大会】 障がいのある方を中心に、学生ボランティアや地域住民がレクリエーションなどを通じて交流を深めた。	約150人	100,000
弘前市 8月27日（日）	【第43回愛の広場レクリエーションの集い】 障がい児者と家族及び市民とボランティアがレクリエーションを通して楽しく交流を深めた。	180人	100,000
平川市 12月17日（日）	【第14回愛の輪レクリエーション】 平川市内で生活している障がい者、その家族、関係団体、ボランティア（一般参加者）を対象に交流・レクリエーション事業を開催した。	61人	100,000
八戸市 11月15日（水）	【第41回愛の輪レクリエーション事業の集い】 在宅、施設を問わず知的障がい児（者）とその家族が一堂に集い、音楽を通じてお互いの親睦を深め、本人の活動意欲を育成するとともに余暇活動を支援することを目的として、青森県警察音楽隊とカラーガード隊による演奏・演舞を鑑賞した。	203人	100,000

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

つがる市 令和6年 3月3日（日）	【ゆきん子の集い】 つがる市及び北郡内の在宅障がい児・者を対象に、1日のレクリエーション行事を開催した。	71 人	76,778
十和田市 11月11日（土）	【ゆめ色フェスティバル2023】 障がいの有無にかかわらず市民が一堂に集い、芸能発表等のふれあいを通し、共に生きる喜びを味わい相互の理解と友愛を図ることを目的に開催した。参加団体・施設の芸能発表や高齢者のダンスチームによるアトラクション、参加施設職員によるゲームを楽しんだ。	260 人	100,000
むつ市 8月27日（日）	【ほほえみのつどい】 むつ下北地区レクリエーション協会の指導のもと、歌やニュースポーツの体験、昼食は参加者からの要望により、炭おこしからバーベキューを楽しんだ。	70 人	100,000
三沢市 9月24日（日）	【第18回 社協まつり「ふれあいステージ」】 「ふれあいステージ」を設け高齢者や児童など幅広い年齢の方々が出演し、日本舞踊、フラダンス、バトンダンス等で事業に参加。また、市内の障がい者団体・施設、福祉団体や当事者団体、さらにボランティア団体などが製品の販売や活動の紹介を行うとともに、製品の販売や模擬店を出展。様々な形態で事業に参加でき、障がい者にとって社会参加の機会となった。	2,200 人	100,000
上北郡 7月9日（日）	【第43回上北郡愛の輪レクリエーション大会】 ・事務打ち合わせ会議の開催 ・「第43回上北郡愛の輪レクリエーション大会」（ボウリング大会）の開催 ・事務報告会の開催	72 人	100,000
西津軽郡 9月17日（日）	【令和5年度ふれあい交流広場】 ゲームを楽しんだ後、福祉バスに乗車、田舎館村田んぼアートを見学し、おのえ温泉福家にて昼食・入浴後、産直センター『ひらか』で買い物をし、小旅行を満喫した。	18 人	100,000
北津軽郡 7月29日（土）	【北つがる郡地区療育キャンプ「愛の輪ひろば」】 心身に障がいをもつ仲間たちを中心に、その家族と地域住民がふれあいの時をもち、海水浴や棒パン作り体験、スイカ割りを楽しんだ。	40 人	100,000
三戸郡 8月5日（土）	【第13回三戸郡愛の輪レクリエーションの集い】 ジャグリング鑑賞や体を動かすことを楽しんだ。	93 人	100,000
計		3,418 人	1,176,778

（2）市町村社協活動の連携強化

①市町村社協巡回ヒアリング事業

下北地域の市町村社協を巡回し、ヒアリング等を行った。

No.	期 日	訪問先
1	令和5年 9月19日（火）	佐井村社協、大間町社協
2	9月20日（水）	東通村社協、むつ市社協、風間浦村社協

②市町村社協事務局長連絡会議の開催

期 日	会 場	参加者	内 容
令和 5 年 5 月 10 日（水）	青森県観光物産館 アスパム 4 階 「十和田」	34 人	・市町村社協新任事務局長紹介 ・行政説明「地域福祉推進施策等について」 ・説明「令和 5 年度県社協の推進事業について」 ・情報提供 ①青森県共同募金会 ②災害ボランティア活動資機材ネットワーク事業について ・災害ボランティアセンター等活動報告「発災 3 日後からの被災者支援 172 日の軌跡」

③社協活動を効果的に推進するための情報提供

- ・市町村社協職員名簿作成・配布
- ・県社協通信での定期メール配信（12 回配信）
- ・郵送やメールでのタイムリーな情報提供（75 件）

④青森県市町村社会福祉協議会連絡会の運営支援

- ・総会

市町村社協会長を構成員とし、年 1 回開催

期 日 令和 5 年 5 月 31 日（水）

会 場 ホテル青森 3 階「善知鳥の間」

出席者 39 社協（うち委任状 21 社協）

内 容 議案第 1 号 令和 4 年度事業報告及び収入支出決算について
議案第 2 号 令和 5 年度事業計画及び収入支出予算について

- ・役員会

回	期 日	会 場	出席者	内 容
1	令和 5 年 4 月 20 日（木）	県民福祉プラザ2 階「多目的室2A」	役員 10人	・正副会長及び監事の選任 ・幹事長の指名 ・監査報告 ・令和 4 年度事業報告・収支決算について ・令和 5 年度事業計画・収支予算について ・分野別部会における担当幹事の選任について ・令和 5 年度総会・役職員監事等研修会について
2	9 月 6 日（水）	県社協会議室	役員 10人	・正副会長及び監事の選任 ・幹事長の指名 ・役員の任期について ・その他
3	令和 6 年 3 月 7 日（木）	県民福祉プラザ2 階「多目的室2A」	役員 10人	・令和 5 年度事業報告・決算見込みについて ・令和 6 年度事業計画・予算について ・令和 6 年度総会・社協トップセミナーについて ・行政への提言に向けて ・その他

- ・監査会

期 日 令和 5 年 4 月 20 日（木）

会 場 県民福祉プラザ 2 階「多目的室 2A」

出席者 会長、監事 2 人

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

・幹事会

期 日 令和6年1月24日（水）

会 場 Zoomによるオンライン

出席者 幹事6人

・部会

【市部会】

期 日 令和5年7月27日（木）

会 場 県社協会議室

出席者 部会員9人

【介護保険部会】

期 日 令和5年11月2日（木）

方 法 Zoomによるオンライン

出席者 部会員14人、担当幹事1人

【地域福祉部会】

期 日 令和5年12月26日（火）

方 法 Zoomによるオンライン

出席者 部会員23人、担当幹事1人

・研修事業

ア) 社協役職員・監事等研修会（県社協と共催）

期 日 令和5年5月31日（水）

会 場 ホテル青森 3階「善知鳥の間」

参加者 121人（来場34人、オンライン87人）

内 容 講演「災害時に求められる社協の役割とリスクマネジメント」

オフィス園崎 代表 園崎 秀治 氏

イ) 社協の介護サービス事業の今後の展開等に関する勉強会

期 日 令和6年1月18日（木）

方 法 Zoomによるオンライン

参加者 41人

内 容 講義「介護サービス事業の経営分析の基礎等について」

長野県・富士見町社協 事務局次長 小林 功 氏

報告「経営分析シートを契機にした経営改善の取り組み」

藤崎町社協 事務局長 成田 全弘 氏

ウ) 社協運営強化研修会

期 日 令和6年3月5日（火）

方 法 Zoomによるオンライン

参加者 16人

内 容 講義「職場のストレスマネジメント～役立つセルフケア～」

青森県公認心理師・臨床心理士協会 顧問 関谷 道夫 氏

(3) 市町村社協活動の推進基盤の整備、強化

①市町村社協職員を対象とした階層別研修の実施

ア) 社協役職員・監事等研修会（再掲）

期 日 令和5年5月31日（水）

会 場 ホテル青森 3階「善知鳥の間」

参加者 121人（来場34人、オンライン87人）

内 容 講演「災害時に求められる社協の役割とリスクマネジメント」

オフィス園崎 代表 園崎 秀治 氏

イ) 社協職員基礎研修会（新任研修会）

期 日 令和5年12月20日（水）～21日（木）

会 場 県民福祉プラザ2階「多目的室2A」

参加者 17人

内 容 講義「社会福祉の動向と社協の使命や基本的役割」

八戸学院大学 健康医療学部人間健康学科 教授 吉田 守実 氏

講義「社協の具体的事業や社協職員の基礎実務」

県社協地域福祉課

講義「生き生きと働くためのストレスマネジメント」

株式会社E T E R N A L 代表取締役 工藤 久美子 氏

講義・演習「社協職員としてのビジネスマナー研修」

県社協施設支援課

実践報告「社協活動の実践から社協を学ぶ～先輩職員の取り組みから～」

東北町社協 主査 向井 光貴 氏

平川市社協 主事 須藤 祐子 氏

演習・振り返り「こんな社協職員になりたい！決意表明☆」

②市町村社協の経営相談への対応

介護サービスや会計処理等、社協からの個別相談について、都度対応した。

③市町村社協への職員派遣等による支援

No.	期 日	訪問先等	内 容
1	令和5年 5月24日（水） ～25日（木）	十和田市社協、三 沢市社協、東北町 社協、七戸町社協	市町村社協巡回訪問（事務局長）
2	6月9日（金）	おいらせ町社協	おいらせ町災害ボランティア連絡会主催研修
3	6月29日（木）	八戸市社協	八戸市ボランティア講座
4	7月28日（金）	五所川原市社協	つがる西北五地域社会福祉協議会 災害時相互応援協定締結式
5	12月14日（木）	むつ市社協	災害ボランティアセンター運営研修会
6	12月15日（金）	東津軽郡社協	東津軽郡社会福祉連絡協議会職員研修会
7	令和6年 1月12日（金）	三戸郡社協	三戸郡災害時広域連携活動研修会（オンライン 研修）
8	2月26日（月）	つがる市社協	ボランティア養成講座～サロン活動編～

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

④市町村社協の自己評価への支援

自己評価指針や報告様式をダウンロードできるよう、本会ホームページ市町村社協専用サイト上に公開した。

⑤社協便覧等の発行

社協便覧等の発行 230 部作成

⑥北海道・東北ブロック道県・指定都市社協地域福祉担当部課長会議＜新＞

期 日 令和6年2月21日（水）

方 法 Zoom によるオンライン

参加者 19 人

内 容 基調説明「地域福祉を取り巻く状況と求められる社協の取り組みについて」

全社協 地域福祉部長 高橋 良太 氏

情報交換・協議

・重層的支援体制整備事業、孤立・孤独対策、市町村社協の支援、福祉教育、災害時支援、ボランティアセンター、その他全社協への質問等

2 ボランティア・市民活動の振興と充実

県域や市町村域で取り組むべき課題を把握し、ボランティアセンターの役割や機能を果たすため、ボランティア活動の活性化に向けた適切な情報提供と、地域住民がボランティアに関わりやすい環境整備に努めた。

(1) 青森県ボランティアセンターの運営

①運営委員会の開催

期 日 令和6年1月31日（水）
 会 場 県民福祉プラザ「多目的室 4A」
 出席者 8人、担当理事1人
 案 件 令和5年度上半期事業報告について
 令和6年度事業計画（案）について
 その他

②窓口・電話による相談支援

・相談件数 184件

区 分	ボランティア活動	ボランティアニーズ	ボランティア保険	貸出機材等	寄付等	その他	計
電 話	8	1	17	1	5	6	38
来 所	3	0	142	0	1	0	146
合計件数	11	1	159	1	6	6	184

③各種機器等の貸出

・ボランティアルーム利用 : 32件
 ・登録団体用のロッカーの貸出 : 3団体
 ・DVDの貸出 : 0件
 ・エアアーチの貸出 : 0件
 ・バックボード : 2件
 ・ボランダーマン等着ぐるみ : 0件
 ・災害VC啓発パネル : 4件

④ボランティア活動保険加入助成

ボランティア活動保険加入者実績

期 日	基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症プラン	合 計
令和5年4月～令和6年3月末日	775人	163人	166人	1,104人

⑤広報紙やWEB等を活用したボランティア情報の発信

ア) ホームページによる発信

・ボランティア団体が活用できる各種助成金情報等を県社協ホームページに掲載した。(35件)

イ) Facebookによる発信

・県社協が実施する善意銀行や災害支援等について発信した。(13回)

ウ) メールによる配信

・助成金情報やボランティアに係る情報を配信した。(12回／県社協通信と共同配信)

・ボランティアに関する各種研修会やお知らせメールを配信した。(随時)

エ) 広報紙による発信

・県内のボランティア活動等取材し、県社協広報紙「福祉のひろば」に掲載した。(3回)

⑥青森県善意銀行の運営

個人、団体、企業等から寄せられた現金及び物品等の斡旋・調整を行った。

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

ア) 金銭預託一覧 【1 件】

(敬称略)

預託者	預託金 (金)	払出先
東北労働金庫青森県本部	500,000 円	就労継続支援B型事業所 5 か所
計	500,000 円	

イ) 物品預託一覧 【13 件】

(敬称略)

預託者	預託内容	払出先
一般社団法人東日本大震災雇用・教育・健康支援機構	カプセルトイ 2,859 個	児童養護施設、こども食堂、こども宅食おすそわけ便 計 29 団体
青森銀行従業員組合	使用済切手 600g 未使用はがき 4 枚 書き損じはがき 8 枚	NPO 法人誕生日ありがとう運動本部
青森県信用金庫協会	使用済切手 7,760g	公益財団法人緑の地球防衛基金
青森県中部地区郵便局長夫人会	使用済切手 14 kg	NPO 法人誕生日ありがとう運動本部
一般社団法人生命保険協会青森県協会	車椅子 10 台	県内福祉施設 (7 ヶ所)
青森県原子力関係労組懇話会	図書カード 42 枚	児童養護施設 弘前愛成園
青森県信用組合	未使用切手 2 枚 使用済み切手 8.4 g 未使用はがき 28 枚	NPO 法人誕生日ありがとう運動本部
アフラック青森県アソシエイツ会	車椅子 2 台	特別養護老人ホーム 福寿草
青森県火災共済協同組合	車椅子 7 台	県内社協 1 ヶ所 県内福祉施設 6 ヶ所
株式会社トヨタレンタリース青森	車椅子 24 台	県内福祉施設 8 ヶ所
青森ヤクルト販売株式会社	車椅子 20 台	県内福祉施設 20 ヶ所
株式会社ツルハホールディングス	車椅子 10 台	県内福祉施設 5 ヶ所
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 MS & AD ゆにぞんスマイルクラブ	車椅子 1 台	社会福祉法人 徳誠福祉会

ウ) 招待預託一覧 【4 件】

預託者	預託内容	払出先
青森スポーツ振興会	みちのくプロレス 青森市大会観戦 50 席	県内福祉施設等の利用者 〈介助者・家族等含む〉 8 施設 50 人
日本原燃株式会社	日本原燃 ふれあいコンサート 2 席	藤ヨゼフハウス ほか
青森スポーツ振興会	みちのくプロレス 弘前市大会観戦 11 席	県内福祉施設等の利用者 〈介助者・家族等含む〉 2 施設 11 人
日産労連 NPO センター 「ゆうらいふ 21」	クリスマスチャリティー公演 劇団四季ミュージカル 先着 700 人	弘前市内の特別支援学校及び県内障がい児施設

エ) 技術預託一覧 【0 件】

オ) その他寄附に係る調整一覧 【4 件】

(敬称略)

内 容
収集ポスト等で回収した使用済切手、書き損じはがき等を、NPO 法人誕生日ありがとう運動本部に送付した。(2 回)
青森県生命保険協会より「福祉巡回車」寄贈先の推薦について依頼があり、佐井村社協を推薦した。
大同生命社会貢献の会様から寄附金贈呈先の推薦依頼があり、青森市内の知的障害者施設から 2 ヶ所を推薦した。
株式会社ユニバースより「ユニバース 愛のチャリティー募金」の寄贈先の推薦について依頼があり、弘前市 3 ヶ所、八戸市 5 ヶ所の福祉施設を推薦した。

⑦ボランティア・市民活動実践セミナーの開催

期 日 令和5年7月7日（金）

会 場 青森県総合社会教育センター2階「第1研修室」

参加者 126人（会場参加9人、オンライン参加117人）

内 容 講演「今だからこそ、ボランティアの魅力発信！

～今だから、ボランティアそもそも論～」

社会福祉法人大阪ボランティア協会 常務理事・事務局長 永井 美佳 氏

パネルディスカッション「今だからこそ、ボランティアの魅力発信！」

コーディネーター

社会福祉法人大阪ボランティア協会

常務理事・事務局長 永井 美佳 氏

パネリスト

NPO 法人日本人財発掘育成協会 事務局長 大鷹 依子 氏

学生団体レスタ 前代表 須藤 優海 氏

ひろさきボランティアセンター ボランティア支援員 鶴見 智之 氏

⑧企業・NPO（特定非営利活動法人）の社会貢献活動の普及・啓発

関係団体等からの情報提供を基に各種助成制度、セミナー等の周知を図った。

⑨多世代に向けたボランティア活動の普及啓発（講師派遣）

期 日	会 場	参加者	内 容
令和5年 5月25日（木）	大野市民センター （青森市）	13人	青森市民大学・大学院大野校講座
5月25日（木）	おいらせ町みなくる館	23人	おいらせ町災害ボランティア連絡会 主催研修
6月9日（金）	おいらせ町みなくる館	23人	おいらせ町災害ボランティア連絡会 主催研修（再掲）
6月22日（木）	中央市民センター （青森市）	22人	青森市民大学・中央校2年講座
6月25日（日）	オンライン会議	65人	青森で生きる未来人財育成事業 ～ボランティアチーム養成講座～
6月29日（木）	オンライン会議	30人	八戸市ボランティア講座（再掲）
7月25日（火）	県民福祉プラザ	50人	青森シニアカレッジ
9月7日（木）	県社協会議室	11人	青森市立古川中学校2学年 「フィールドワーク学習」
12月14日（木）	むつ来さまい館	31人	災害ボランティアセンター 運営研修会（再掲）
令和6年 2月19日（月）	生活協同組合コープあ おもり本部（青森市）	88人	青森県生活協同組合連合会
2月26日（月）	車力地区コミュニティ センター（つがる市）	20人	ボランティア養成講座 ～サロン活動編～（再掲）

⑩市町村社協ボランティア担当者会議の開催＜中止＞

⑪ボランティアネットワーク事業

指定団体 【実施日】	事業内容（要旨）	参加者	助成額 （円）
弘前市ボランティア連絡協議会	＜第24回弘前市ボランティアフェスティ バル＞	—	35,000
三沢市ボランティア連絡協議会	＜広がれボランティアの“わ”交流会＞	—	35,000

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

ボランティアむつの会	<ジオパークに関する啓蒙・啓発活動（市民講座）>	—	35,000
シニアサポートむつ	<今後の人生をより豊かに生きるために（終活講座）>	—	35,000
計		—	140,000

（2）地域の福祉力を高める福祉教育の推進

①地域における福祉学習実践事業（再掲）

多発する自然災害に備え、学校や地域における防災教育をより一層充実させ、「命の尊さ」や「助け合いの心」を学ぶとともに、住民一人ひとりが自然災害を正しく理解し、いざというときのための実践的な知識と技術を得ることを目的として実施した。

助成額：1ヶ所10万円以内を助成

【担当者会議の開催】

指定社協に対し、実施する社協間で本事業の趣旨及び重点事項などの共通認識を図るほか、講師（くらしの学びサポートオフィス Human Being）からの企画内容の検討・助言等をいただく打合せ会議を開催した。

【実施事業】

指定社協 [実施日]	事業内容（要旨）	参加者	助成額（円）
藤崎町社協 令和5年 10月5日（木）	<防災学習> ・防災に関する講話 ・防災ゲーム	28人	100,000
平内町社協 10月19日（木）	<防災学習> ・避難所開設について ・災害ボランティアセンター支援報告 ・防災に関する講話 ・防災ゲーム ・防災食配布	22人	100,000
鶴田町社協 10月20日（金）	<防災学習> ・防災に関する講話 ・防災ゲーム ・防災グッズ製作・紹介 ・防災食試食	68人	100,000
計		118人	300,000

②義務教育教員免許志願者の介護等体験事業

義務教育教員免許志願者に対する介護等体験事業実施要綱に基づいて、義務教育教員免許取得を予定している学生に対し、「義務教育教員免許志願者の介護等体験受入システム」を用いて体験先となる社会福祉施設を斡旋・調整した。

調整実績 申込学生数：（12大学）330人

受入協力施設数：221施設（うち体験施設数：94施設）

体験実績 体験学生数：（12大学）321人

受入施設数：92施設

③その他

ア）研修・会議への参加

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

期 日	会 場	内 容	主 催
令和5年 5月15日（月） ～16日（火）	全社協	都道府県・指定都市社協 部・ 課・所長会議	全社協
5月24日（水）	オンライン会議	都道府県・指定都市社協 福祉教 育担当者連絡会議	全社協
6月30日（金）	オンライン会議	第4回地域のお宝発表会	全国コミュニティライ フサポートセンター
10月20日（金）	オンライン会議	支え合いを広げる 住民主体の生活支援フォーラム	全社協
11月7日（火） ～8日（水）	全社協	社協活動全国会議	全社協
11月21日（火）	ウェディングプ ラザアラスカ	市町村社協職員研修会	青森県
12月18日（月）	アピオあおもり	第2回女性のエンパワーで高まる 防災・減災連携会議	男女共同参画 地域みらいねっと
令和6年 1月16日（火）	青森県総合学校 教育センター	第2回青森県道德教育推進協議会	青森県教育委員会
2月15日（木） ～17日（土）	ロフォス湘南	社協中堅職員研修会	全社協
3月8日（金）	全社協	「広がれボランティアの輪」 連絡会議勉強会	全社協
3月25日（月）	オンライン会議	青森県持続可能な買い物支援 サービス網構築事業成果発表会	株式会社 ケー・シー・エス

イ) 全国福祉教育推進員研修への運営協力

期 日 令和5年8月10日（木）

会 場 県民福祉プラザ2階「ボランティアルーム」

参加者 受講者4人、ファシリテーター1人

(3) 災害ボランティア活動支援

①災害ボランティア運営者支援研修

ア) 青森県災害ボランティアコーディネーター連携研修会（県と共催）

期 日	会 場	参加者	内 容
令和5年 11月28日（火）	アピオあおもり2階 イベントホール	27人	【講義】 「災害VCに求められる役割 ～協働型災害VCの必要性について～」 一般社団法人ピースボート災害支援センター 関根 正孝 氏 【模擬訓練】 「災害ボランティアセンター 模擬訓練」 一般社団法人ピースボート災害支援センター 関根 正孝 氏

イ) 災害ボランティアセンター設置運営者研修

期 日	会 場	参加者	内 容
令和5年 11月27日（月）	青森県観光物産館 アスパム6階 「八甲田」	20人	【説明】 「災害時の県社協の取り組みについて」 県社協地域福祉課

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

			【報告】 「秋田県災害ＶＣ応援派遣について」 秋田市派遣者 県社協総務課 五城目町派遣者 八戸市社協 関口 薫乃 氏 【講義】 「災害ＶＣと地域連携、運営のあり方について」 一般社団法人ピースボート災害支援センター 関根 正孝 氏 【演習】 「協働型災害ＶＣにおける各機関の役割について考える」 一般社団法人ピースボート災害支援センター 関根 正孝 氏
--	--	--	---

②県総合防災訓練（十和田市）等との協働

ア) 調整会議への参加

期 日	会 場	内 容
令和5年 4月18日（火）	十和田市文化センター	・総合防災訓練の概要について ・当日の流れ、準備物について 等
5月30日（火）		
6月27日（火）		

イ) 県総合防災訓練への参加

期 日 令和5年8月25日（金）

会 場 十和田市民文化センター

内 容 災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

③関係機関との連携・協働

ア) 災害協定ネットワーク会議

県社協と災害支援協定を締結している団体等を参集し、円滑かつ効果的な連携や支援のあり方などについて検討する会議を開催した。

【災害支援協定締結団体】

- ・40 市町村社協
- ・公益社団法人日本青年会議所東北地区青森ブロック協議会
- ・日本労働組合総連合会青森県連合会
- ・ライオンズクラブ国際協会 332-A地区
- ・青森県生活協同組合連合会

期 日 令和6年2月2日（金）

方 法 Zoomによるオンライン会議

参加者 59人

内 容 説明「災害用資機材ストックヤードの運用体制・整備状況について」

災害支援団体の紹介・活動説明

意見交換

- ・圏域における平時の活用方法や運用の流れ等の確認

- ・ストックヤード運用に係る課題や不足な資機材など
- ・課題解決に向けた新たな団体等とのネットワークづくり

イ) 災害ボランティア活動資機材ネットワーク事業＜新＞

- ・青森県内市町村社協との災害時相互応援協定の締結

災害時の迅速な資機材の確保や人的派遣等に向けたネットワーク構築のため、県内 40 市町村社協と協定を締結した。

- ・青森県生活協同組合連合会との災害ボランティアセンター支援に関する協定締結

令和 5 年 11 月 6 日（月）、災害時における被災地の支援活動を迅速かつ円滑に行うため、青森県生活協同組合連合会と協定締結式を開催した。

- ・資機材ストックヤードの設置・整備

災害時、迅速な資機材の確保や提供を可能にするため、県内 6 圏域（東青・津軽広域・つがる西北五・上十三・むつ下北・三八）に資機材のストックヤードを設置し、必要な資機材等の整備を行ったほか、そのストックヤード拠点社協と覚書を締結した。

④秋田県豪雨災害に係る応援派遣＜追加＞

令和 5 年 7 月の秋田県豪雨災害における市町村災害ボランティアセンター運営支援のため、ブロック幹事県の福島県社協と調整し、県社協及び県内の市町村社協職員の応援派遣を行った。

ア) 災害ボランティアセンターへの応援派遣

- ・秋田市災害ボランティアセンター

クール	期 間	派遣社協名	派遣人数
1	令和 5 年 7 月 21 日（金）～25 日（火）	県社協	3 人
2	9 月 7 日（木）～10 日（日）	県社協、平内町社協	2 人
計			5 人

- ・五城目町災害ボランティアセンター

クール	期 間	派遣社協名	派遣人数
1	令和 5 年 7 月 28 日（金）～31 日（月）	県社協、弘前市社協、八戸市社協	3 人
2	8 月 4 日（金）～6 日（日）	県社協、弘前市社協、七戸町社協	3 人
3	8 月 11 日（金）～12 日（土）	県社協、八戸市社協、平内町社協	3 人
計			9 人

イ) 被災地支援に係る会議・研修への参加

期 日	会 場	内 容	主 催
令和 5 年 6 月 7 日（水）	オンライン会議	社協の災害支援体制と活動強化に関する会議	全社協
7 月 24 日（月）	オンライン会議	北海道・東北ブロック派遣調整会議（秋田県災害）	福島県社協
9 月 19 日（火）	オンライン会議	北海道・東北ブロック派遣調整会議（福島県災害）	福島県社協

⑤能登半島地震に係る応援派遣＜追加＞

令和 6 年 1 月の能登半島地震における市町村災害ボランティアセンター運営支援のため、ブロック幹事県の福島県社協と調整し、県社協及び県内の市町村社協職員の応援派遣を行った。

ア) 災害ボランティアセンターへの応援派遣

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

・志賀町災害ボランティアセンター

クール	期 間	派遣社協名	派遣人数
1	令和6年 2月17日（土）～23日（金）	県社協、平内町社協	2人
2	2月29日（木）～3月6日（水）	県社協、鯉ヶ沢町社協	2人
3	3月12日（火）～18日（月）	県社協、八戸市社協	2人
4	3月24日（日）～30日（土）	県社協、東北町社協	2人
計			8人

イ) 被災地支援に係る会議・研修への参加

期 日	会 場	内 容	主 催
令和6年 2月7日（水）	オンライン会議	北海道・東北ブロック派遣調整会議（石川県災害）	福島県社協
3月21日（木）	オンライン会議	北海道・東北ブロック派遣調整会議（石川県災害）	福島県社協

（4）生活支援コーディネーターの養成

①生活支援コーディネーター養成や支援

ア) 生活支援コーディネーターの養成

【情報交換会】

期 日 令和5年7月10日（月）

方 法 オンライン研修

参加者 77人

内 容 行政説明「青森県内の取り組み状況や関連施策について」

青森県健康福祉部 高齢福祉保険課

実践報告「わがまちのつながり支援について」

蓬田村社協 生活支援コーディネーター 田中 利明 氏

グループワーク「地域のつながりを絶やさないために」

コーディネーター NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター

橋本 泰典 氏

【基礎編】

期 日 令和5年8月30日（水）

方 法 オンライン研修

参加者 50人

内 容 行政説明「生活支援コーディネーター及び協議体とは」

青森県健康福祉部 高齢福祉保険課

講義「生活支援コーディネーターに求められる視点や役割、協議体について」

NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター 橋本 泰典 氏

宇城 絵美 氏

実践報告「わがまちの地域づくり実践について」

平川市社協 生活支援コーディネーター 山田 志乃 氏

大鰐町社協 生活支援コーディネーター 金枝 純子 氏

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

グループワーク「振り返り・まとめ」

コーディネーター NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター

橋本 泰典 氏

宇城 絵美 氏

【実践編】

期 日 令和5年10月5日（木）

方 法 オンライン研修

参加者 46人

内 容 講義「生活支援体制整備を活かした、これからの地域づくりと大切な視点について」

NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田 昌弘 氏

講義・実践報告

「沖縄県北谷町の取り組みに学ぶ、生活支援コーディネーターの役割について」

NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田 昌弘 氏

報告 沖縄県 北谷町社協 生活支援コーディネーター 源河 裕子 氏

講義「地域資源の見せる化・伝え方について」

NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター 宇城 絵美 氏

グループワーク「振り返り」

コーディネーター NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター

橋本 泰典 氏

【移動編】

期 日 令和6年2月8日（木）

方 法 オンライン研修

参加者 53人

内 容 講義「住民主体による移動・外出支援の取り組みについて」

NPO法人全国移動サービスネットワーク 副理事長 河崎 民子 氏

実践報告「地域住民のつながりを支える移動支援」

①「SCの後押しから社会福祉法人等と地域が連携した移動支援」

御殿場市社協 生活支援コーディネーター 湯山 紀美子 氏

②「家事支援と一体型の送迎」

ふるさと高松げんき村 事務局長 熊谷 哲周 氏

グループワーク

イ) 市町村等への個別支援

【大鰐町／ずっと住みたい地域づくり講座】

期 日 令和5年12月5日（火）

会 場 大鰐町総合福祉センター1階「娯楽室」

参加者 22人

内 容 講義「日常の中にある支え合い」

NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター 橋本 泰典 氏

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

報告「大鰐町のお宝紹介」

大鰐町社協 生活支援コーディネーター 金枝 純子 氏

グループワーク「身近にある支え合い、気かけ合いを探してみよう！」

【おいらせ町／地域の支え合いを考える講座】

期 日 令和5年12月6日(水)

会 場 おいらせ町いきいき館 集団指導室

参加者 30人

内 容 振り返り・グループワーク「自分の地域のいいところ発掘！Ⅱ」

NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター 橋本 泰典 氏

【大間町／支え合う地域づくり研修会】

期 日 令和5年12月7日(木)

会 場 大間町総合開発センター

参加者 13人

内 容 事例紹介「大間浜町町内会の活動について」

大間町社協 事務局次長 手塚 由一 氏

講義「日常のつながりや支え合いを発見しよう」

特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター

NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター 橋本 泰典 氏

意見交換「講義や事例発表を聞いて感じたこと」

ウ) 地域のお宝発表会＜新＞

期 日 令和5年11月17日(金)

会 場 青森県総合社会教育センター2階「大研修室」

方 法 オンライン併催

参加者 87人

内 容 講演「つながりを切らない地域づくりに向けて」

NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田 昌弘 氏
地域のお宝(活動)発表

①大鰐町「じっちゃんクラブ」

②蓬田村「たすけあい交通」

③中泊町「駅ナカ学校」

④三沢市「カラオケ喫茶」

報告 各地域の活動者・生活支援コーディネーター

進行 NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター

地域支え合い推進プロジェクト 参事 橋本 泰典 氏

3 民生委員・児童委員活動との連携・協働

民生委員・児童委員は、住民の最も身近な相談・支援者であり、地域福祉活動の推進役として期待されている。

近年、地域住民が抱える問題は複雑・多様化しており、民生委員・児童委員が問題の解決に向けた支援活動を展開する上で必要となる資質向上と、民児協組織の充実、強化に向けた研修会を開催した。

(1) 階層別研修会による民生委員児童委員の資質向上への取り組み

①単位民児協会長研修会の開催

期 日 令和5年5月29日(月)

会 場 ウエディングプラザアラスカ 4階「ダイヤモンド」

参加者 141人

内 容 行政説明Ⅰ「地域福祉に関する施策と民生委員活動の動向」

県健康福祉政策課 地域福祉推進グループマネージャー 統括主幹 工藤 雄一 氏

行政説明Ⅱ「県内の児童問題の実態と児童委員活動について」

県こどもみらい課 子育て支援グループ 主事 山本 和輔 氏
講演 「“地域のつむぎ役” となろう！」

合同会社泉恵造研修企画工房 代表社員 泉 恵造 氏

②中堅民生委員児童委員研修会の開催

期 日 令和5年7月13日(木)

会 場 青森県総合社会教育センター

参加者 120人

内 容 講演「災害に備える地域づくりと民生委員・児童委員活動」

オフィス園崎 代表 園崎 秀治 氏

活動報告「災害時における避難行動要援護者の支援について」

弘前市民生委員児童委員協議会 水木 ちゑ子 氏

むつ市民生委員児童委員協議会 船木 敏夫 氏

グループ討議 「災害に強い地域づくりと民生委員児童委員活動」

③新任民生委員児童委員研修会の開催

期 日 令和6年1月9日(火)～2月29日(木)

方 法 オンデマンド配信

申込者 156人

内 容 説明Ⅰ「民生委員制度に関する事項」

県健康福祉政策課 地域福祉推進グループ 主事 作田 優奈 氏

説明Ⅱ「児童委員、主任児童委員に関する事項及び児童相談所の事業概要について」

県こどもみらい課 子育て支援グループ 主事 山本 和輔 氏

説明Ⅲ「社会福祉協議会と民生委員活動について」

県社協地域福祉課

体験発表

①中泊町民生委員児童委員協議会 下山 志津子 氏

②青森市民生委員児童委員協議会 小野 康一郎 氏

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

(2) 住民に身近な相談員の資質向上に向けた支援

①相談技法研修会の開催

期 日 令和6年1月29日(月)～3月1日(金)

方 法 オンデマンド配信

申込者 369人

内 容 講演「相談援助の基礎」

八戸学院大学 健康医療学部人間健康学科 学科長 教授 吉田 守実 氏
事例研究

コーディネーター

八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科 学科長 教授 吉田 守実 氏
事例発表者

①ひとり親家庭の支援に関すること

五所川原市民生委員児童委員連絡協議会 鈴木 優美子 氏

②生活困窮者支援に関すること

八戸市生活自立相談支援センター 山田 忍 氏

(3) 民生委員・児童委員が活動しやすい環境づくり

①弔慰・見舞または退任慰労の事務

内 容	件 数	内 容	件 数
公務傷害	1 件	一般死亡	7 件
配偶者死亡	19 件	災害見舞	1 件
一般傷病(2ヶ月未満)	5 件	一般傷病(2ヶ月以上)	27 件
退任慰労(3年以上9年未満)	18 件	退任慰労(9年以上15年未満)	7 件
退任慰労(15年以上)	11 件		

②ブロック会議の開催<新>

北海道・東北ブロック道県・指定都市民児協会長等会議の開催

期 日 令和6年6月22日(木)～23日(金)

会 場 ホテル青森 3階「善知鳥の間」他

参加者 62人

内 容 基調報告 全社協 民生部 熊坂 淳 氏

分散会 ・民児協の新任委員等に対する活動支援について

・子育て・子育てを支える地域づくりのための民児協および児童委員・主任児童委員の取り組みについて

全体会 「一斉改選を終えて～新たななりて確保への取り組み～について」

4 生活困窮者等に対する総合的な支援

「青森県生活困窮者自立相談支援事業」及び「青森県被保護者・生活困窮者就労準備支援事業」を県から受託し、東地域、中南地域、西北地域、上北地域、下北地域の県内5地域で自立相談窓口を設置し、就労準備支援事業と一体的に対象者への総合相談・就労・就労準備支援等を展開したほか、対象者に関する情報収集や支援体制の強化を図ることを目的に推進会議等、広報・啓発活動に取り組んだ。

また、生活困窮者自立支援制度従事者養成研修を県から受託し、県内の自立相談支援機関に従事する相談支援員等を対象とした人材養成研修に取り組んだ。

(1) 生活困窮者自立相談支援事業の展開

①東地域・中南地域・西北地域・上北地域・下北地域自立相談窓口の設置・運営

ア) 自立相談窓口の設置

窓 口	設置場所	電 話	FAX
東地域	県社協内	017-752-1888	017-764-6908
中南地域	藤崎老人福祉センター内	0172-88-8637	0172-88-6899
西北地域	五所川原市内	0173-26-1202	0173-26-1203
上北地域	七戸町内	0176-27-5630	0176-27-5631
下北地域	むつ市社協内	017-764-6906	017-764-6907

イ) 生活困窮者自立相談窓口相談専用ダイヤルの整備

相談者の利便性を考慮し、通話料無料のフリーダイヤルによる専用ダイヤル（0800-800-7114／県社協内）とした。

ウ) 職員の配置

県社協に5地域の調整業務を担当する総括コーディネーターを配置したほか、各窓口副主任相談支援員、相談支援員兼就労支援員等を配置した。

窓 口	総括コーディネーター	主任相談支援員	相談支援員 兼就労支援員	アウトリーチ 支援員
県社協	3人			
東地域		1人	3人	1人
中南地域		1人	4人	
西北地域		1人	1人	
上北地域	1人（兼任）	1人（兼任）	1人	
下北地域		1人	1人	

エ) 各町村社協における相談支援拠点の設置

5地域23町村社協から協力を得て、生活困窮者自立相談支援事業に係る相談支援拠点とした。

・主な協力内容

- ・自立相談支援事業への協力に係る担当者の配置
- ・生活困窮者等、相談支援対象者からの相談受付及び自立相談窓口への情報提供
- ・支援調整会議への参画
- ・事業の普及、啓発
- ・その他、対象者支援の取り組み等に関する必要に応じた協力

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

オ) 新規相談受付件数 合計 495 件

窓 口	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
東地域	17	14	20	10	12	13	13	11	4	17	6	22	159
中南地域	10	8	20	16	13	9	13	11	11	8	9	20	148
西北地域	2	4	4	4	3	1	3	2	3	2	3	7	38
上北地域	4	9	10	11	10	5	10	10	7	7	8	7	98
下北地域	5	7	8	1	1	4	4	7	4	7	0	4	52

カ) 支援決定及び確認（再プラン含む） 386 件

（内訳：東 81 件／中南 181 件／西北 37 件／上北 56 件／下北 31 件）

キ) プラン期間中の一般就労目標 52 件

（内訳：東 5 件／中南 27 件／西北 10 件／上北 5 件／下北 5 件）

ク) 評価実施件数（再プラン含む） 358 件

（内訳：東 97 件／中南 156 件／西北 31 件／上北 51 件／下北 23 件）

（評価結果内訳：終結 98 件／再プランして継続件数 238 件／中断 0 件）

（就労支援対象：一般就労目標 50 件／うち一般就労開始 16 件・就労収入が増加 4 件）

（就労支援非対象 286 件／うち一般就労開始 10 件・就労収入が増加 10 件）

ケ) 住居確保給付金の申請 0 件

コ) 家計改善支援事業に係る決定依頼（継続含む） 146 件

サ) 就労準備支援事業に係る決定依頼（継続含む） 12 件

シ) 生活保護受給者等就労自立促進事業に係る支援要請（継続含む） 31 件

ス) 生活困窮者等の支援に向けた法律相談の実施 2 件

セ) 広報啓発活動の強化 5 町村（深浦町／風間浦村／佐井村／六戸町／六ヶ所村）

②相談支援員の資質向上及び支援

ア) 県社協相談支援員研修

【第1回】

期 日 令和5年4月24日（月）

内 容 令和5年度事業計画について

事務マニュアルに基づく相談対応の進め方について

出席者 26 人（県社協職員 24 人）

【第2回】

期 日 令和5年12月1日（金）

内 容 ①説明「緊急小口資金等の特例貸付における償還猶予期間中の支援に向けて自立相談支援機関に期待される役割等について」

②講義・演習①相談受付からプラン作成までの流れ

③講義・演習②支援調整会議の持ち方・進め方

④講義・演習③モニタリングの実施方法と再プラン、終結の考え方について

出席者 34 人（県社協職員 23 人）

③生活困窮者自立相談支援事業推進会議の開催

県所管 6 地域の自立相談窓口における事業推進方針及び事業内容等を共有し、対象者支援が多機関連携により円滑かつ効果的に進められることを目的として生活困窮者自立相談支援事業推進

会議を開催した。

期 日 令和5年5月19日（金）

会 場 県民福祉プラザ4階「中研修室」

方 法 オンライン併催

内 容 行政説明、生活福祉資金特例貸付について、事業説明、質疑応答、話題提供

出席者 71人

④支援調整会議の設置・運営

対象者への支援プラン等について、その適切性について検討するほか、法に基づく事業等の決定等を行うため、各町村の行政・社協、所管する福祉事務所、ハローワーク、家計改善支援機関、その他ケースに関わる関係機関等の参画により、支援調整会議を開催した。

支援調整会議は5地域合計で87回開催し、延べ出席者数1,005人、新規ケースの支援プランの検討147件、支援プランの評価（再プランの検討含む）358件であった。

窓 口	開催回数	検討件数	評価件数	延べ出席者
東地域	15回	22件	97件	221人
中南地域	29回	85件	156件	314人
西北地域	13回	16件	31件	135人
上北地域	21回	14件	51件	252人
下北地域	9回	10件	23件	83人

⑤広報啓発

ア) チラシ、ポスターの作成

- ・チラシ56,000部、ポスター650部を作成し各地域の関係機関等に配布・周知した。

イ) ホームページの作成

- ・県社協ホームページ「福祉ネットあおもり」上に生活困窮者自立相談窓口のページを開設した。

ウ) 各地域における広報啓発活動

期 日	市町村	内 容
令和5年6月14日（水）	六戸町	六戸町社会福祉協議会在宅サービス事業説明会
令和5年6月27日（火）	七戸町	令和5年度上北郡民生委員・児童委員協議会総会
令和5年10月11日（水）	田舎館村 藤崎町	令和5年度人権擁護委員協議会藤崎・田舎館地区部会合同研修会
令和5年11月1日（水）	野辺地町	令和5年度第1回在宅医療・介護連携推進における多職種連携研修会
令和5年11月25日（土）	中弘南黒	津軽地域ケアネットワーク交流会2023
令和5年12月18日（月）	六ヶ所村	六ヶ所村民生委員児童委員協議会定例会

⑥アウトリーチ等の充実による自立相談支援機能強化事業

ア) 職員の配置 アウトリーチ支援員1人（東地域・中南地域兼務）

イ) 支援対象者数（月別）

窓口	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東地域	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	4	4
中南地域	5	1	6	8	8	8	8	8	8	7	9	9
月 計	7	3	8	10	10	11	11	11	11	10	13	13

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

ウ) 広報啓発

- ・チラシ 34,000 部を作成し東、中南地域の関係機関等に配布・周知した。

⑦生活困窮者支援アドバイザー会議

ひきこもりによる社会的孤立等、複合的な課題に対して、既存の支援では対応できない本人や世帯のニーズ等に対応し、地域の社会資源などを活用して社会とのつながり作りに向けた支援を行うため生活困窮者支援アドバイザー会議を設置し、アドバイザーから助言をいただいた。

期 日	会 場	内 容	出席者数
令和 5 年 8 月 4 日 (金)	オンライン会議	(1) 事例報告	21 人
令和 5 年 11 月 6 日 (月)	オンライン会議	(1) 事例相談	16 人
令和 5 年 12 月 26 日 (火)	オンライン会議	(1) 事例相談	18 人

(2) 生活困窮者支援のための新たな社会資源の開拓とサービスの開発

①生活困窮者等の支援に向けた精神科医によるオンライン相談体制の整備<中止>

(3) 被保護者・生活困窮者就労準備支援事業の展開

①自立相談窓口との一体的な就労準備支援事業の運営

ア) 職員の配置

県社協で自立相談窓口を設置している東地域、中南地域、西北地域、上北地域、下北地域の 5 地域に就労準備支援員を配置し、自立相談窓口と一体的な取り組みを行った。

また、県社協に 5 地域の調整業務を担当する総括コーディネーターを配置した。

【職員配置】

窓 口	総括コーディネーター	就労準備支援員
県社協	3 人	
東地域		1 人
中南地域		1 人
西北地域		1 人
上北地域		1 人
下北地域		1 人

イ) 支援対象者数 (月別)

窓 口	内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東地域	被保護者	1	1	1	1	2	3	3	3	3	3	3	3
	生活困窮者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中南地域	被保護者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	生活困窮者	1	1	1	4	4	4	4	4	4	4	2	2
西北地域	被保護者	2	1	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3
	生活困窮者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上北地域	被保護者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活困窮者	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	2	2
下北地域	被保護者	2	3	3	3	3	5	5	4	5	3	4	5
	生活困窮者	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	月 計	7	7	7	12	13	16	16	16	17	15	16	17

ウ) 支援内容（支援者数 被保護者 11 人／生活困窮者 11 人）

項目	内 容	被保護者	生活困窮者
①日常生活自立	対象者への電話、自宅訪問等による起床や定時通所の促し	11	2
	うがい、手洗いや規則正しい起床・就寝、バランスのとれた食事の摂取などに関する助言・指導	11	4
	対象者が不安やストレスを感じる場面や状況の把握、対応方法に関する助言	11	11
	適切な身だしなみに関する指導・助言	9	2
	その他対象者の状況に応じた必要な支援	11	10
②社会生活自立	朝礼、終礼の実施（一日の振り返り）	2	3
	挨拶の励行等、基本的なコミュニケーション能力の形成	11	8
	地域の事業所での職場見学	1	5
	地域のイベント等の準備手伝い等の地域活動への参加	3	3
	その他対象者の状況に応じた必要な支援	11	11
③就労自立	地域の協力事業所等における就労体験	4	5
	模擬面接の実施	0	0
	履歴書の作成訓練	1	1
	ビジネスマナー講習の実施	0	0
	キャリア・キャリアコンサルティングを通じた本人の適正確認	2	2
	基礎技能・基礎能力の習得に必要な訓練	2	3
	その他対象者の状況に応じた必要な支援	11	10

②就労準備支援員の資質向上及び支援

ア) 県社協相談支援員研修【再掲】

【第1回】

期 日 令和5年4月24日（月）

内 容 令和5年度事業計画について

事務マニュアルに基づく相談対応の進め方について

出席者 26 人（県社協職員 24 人）

【第2回】

期 日 令和5年12月1日（金）

内 容 ①説明「緊急小口資金等の特例貸付における償還猶予期間中の支援に向けて自立相談支援機関に期待される役割等について」

②講義・演習①相談受付からプラン作成までの流れ

③講義・演習②支援調整会議の持ち方・進め方

④講義・演習③モニタリングの実施方法と再プラン、終結の考え方について

出席者 34 人（県社協職員 23 人）

③就労準備支援事業連絡会議の開催

期 日 令和5年11月17日（金）

会 場 県民福祉プラザ2階「多目的室 2A」

内 容 行政説明、話題提供、情報交換

出席者 41 人

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

④福祉事務所等との連携による支援調整会議の設置・運営

必要に応じて自立相談支援機関の実施する支援調整会議を活用し、就労準備支援事業の就労支援プログラムの検討・共有を行った。

窓 口	開催回数	検討件数	延べ出席者
中南地域	4 回	6 件	48 人
上北地域	3 回	3 件	39 人
下北地域	2 回	2 件	18 人

(4) 生活困窮者自立支援制度に係る人材の養成

①生活困窮者自立支援制度従事者養成研修

ア) 研修企画チームの設置・運営

開催回	期日	開催方法	内容 (件数)	出席者
第1回	令和5年 7月6日(木)	オンライン 会議	研修アンケートの結果について 令和5年度研修計画について 令和5年度スケジュール	8人
第2回	令和6年 2月6日(木)	オンライン 会議	令和5年度生活困窮者自立支援制度従事者 養成研修アンケートの結果について 令和6年度研修計画について	9人

イ) 生活困窮者自立支援制度従事者養成研修【理念・基礎編】

期 日 令和5年6月29日(木)～30日(金)

会 場 青森県観光物産館アスパム 5階「白鳥」

方 法 オンライン併催

参加者 67人

内 容

講義①「生活困窮者自立支援制度の基本的考え方」※オンライン

上智大学 総合人間科学部 社会福祉学科
准教授 鍋木 奈津子 氏

講義②「相談支援員の基本倫理と基本姿勢」※オンライン

上智大学 総合人間科学部 社会福祉学科
准教授 鍋木 奈津子 氏

講義③「児童福祉施策の理解と連携」

青森明の星短期大学 子ども福祉未来学科 学科長 最上 和幸 氏

講義④「生活保護受給者等就労自立促進事業と雇用保険制度」

青森公共職業安定所 職業紹介第一部門 統括職業指導官 山田 智雄 氏

講義⑤「家計改善支援事業の目的と支援の流れ」

消費者信用生活協同組合青森県地域連携推進室 吉田 慎二 氏

講義⑥「生活福祉資金貸付制度の理解と連携」

県社協地域福祉課

講義⑦「本県における社会貢献活動による支援の理解と連携」

県社協社会貢献活動推進室

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

講義⑧「就労支援及び就労準備支援事業の目的と支援の流れ」

県社協生活支援課

講義⑨「社会福祉協議会と民生委員児童委員の理解と連携」

藤崎町社協 事務局長 成田 全弘 氏

講義⑩「教育施策の理解と連携」

子ども・若者サポート「つがる・つながる」代表 金澤 拓紀 氏

講義⑪「青森県の農業分野における労働力確保対策」

青森県農林水産部 構造政策課

担い手育成グループ 主幹 高屋 大介 氏

講義⑫「住宅施策と居住支援協議会の理解について」

青森県県土整備部

建築住宅課住宅整備グループ 主査 對馬 辰大 氏

講義⑬「生活保護制度の理解と連携」

三戸地方福祉事務所保護第一課 課長 笹森 春樹 氏

講義⑭「年金制度の理解について」

社会保険労務士榊直哉事務所 特定社会保険労務士 榊 直哉 氏

講義⑮「医療保険制度の概要について」

藤崎町役場 福祉課 福祉係 係長 村上 知広 氏

講義⑯「税金制度の概要と滞納者対策について」

藤崎町役場 福祉課 福祉係 係長 村上 知広 氏

講義⑰「ひきこもり支援施策について」

青森県健康福祉部 障害福祉課

障害企画・精神保健グループ 総括主幹 木村 尚登 氏

講義⑱「自殺対策関連施策について」

青森県健康福祉部 障害福祉課

障害企画・精神保健グループ 技師 船水 祐志 氏

講義⑲「住居確保給付金の制度改正について」

青森県健康福祉部 健康福祉政策課

地域福祉推進グループ 主幹 成田 智佳子 氏

講義⑳「青森県よろず支援拠点について」

公益財団法人21あおもり産業総合支援センター

連携推進室 主幹 階上 祐貴子 氏

講義㉑「子どもの学習支援事業の理解と県内の状況」

青森県健康福祉部 健康福祉政策課

地域福祉推進グループ 主幹 成田 智佳子 氏

ウ) 生活困窮者自立支援制度従事者養成研修【テーマ別編】

期 日 令和5年9月4日(月)

会 場 県民福祉プラザ4階「中研修室」

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

参加者 31 人

内 容

テーマ「家計改善から考える支援のあり方」

ファシリテーター

平川市社協 主幹 佐藤 毅信 氏

助言者

消費者信用生活協同組合 青森地域連携室課長 吉田 慎二 氏

講評・まとめ

北海道医療大学 准教授 宮本 雅央 氏

エ) 相談員交流サロン

期 日 令和5年11月30日(木)

会 場 青森県観光物産館 アスパム6階「岩木」

参加者 33 人

内 容

交流サロン「支援員のしゃべり場」

アイスブレイク担当 つがる市社会福祉協議会 総括係長 加賀谷 恵美 氏

コメンテーター

あおもり若者サポートステーション

総括コーディネーター 中谷 紗矢佳 氏

法テラス青森 弁護士 遠藤 弘士 氏

法テラス青森 係長 篠原 佑介 氏

弘前市福祉部就労自立支援室 主幹 木村 敬之 氏

県社協生活支援課

(5) 被災者支援体制強化事業の実施

①常勤相談員による状況確認

東日本大震災により県外から本県に避難している登録者に、定期的な電話による状況確認を実施し、登録者の困りごとや相談に対して関係機関と連携し対応をした。

【相談件数】 合計 87 件

月	対 象 世帯数	相談内容 内訳									相談 件数
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
4月	8	0	0	0	0	0	0	0	7	1	8
5月	8	0	0	0	0	0	0	0	8	0	8
6月	8	0	0	0	0	0	0	0	7	1	8
7月	7	0	0	0	0	0	0	0	6	1	7
8月	7	0	0	0	0	0	0	0	7	0	7
9月	7	0	0	0	0	0	0	0	6	1	7
10月	7	0	0	0	0	0	0	0	6	1	7
11月	7	0	0	0	0	0	0	0	7	0	7
12月	7	0	0	0	0	0	0	0	7	0	7
1月	7	0	0	0	0	0	0	0	7	0	7
2月	7	0	0	0	0	0	0	0	7	0	7
3月	7	0	0	0	0	0	0	0	6	1	7
計	87	0	0	0	0	0	0	0	81	6	87

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

【相談内容】※ 相談内容は重複あり

- | | | |
|-------------|--------------|----------|
| 1. お金のこと | 2. 住まいのこと | 3. 仕事のこと |
| 4. 医療・福祉のこと | 5. 子育て・教育のこと | 6. 東電のこと |
| 7. その他 | 8. 状況確認のみ | 9. 連絡つかず |

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

5 地域共生社会の実現に向けた取り組みの推進

平内町、今別町、蓬田村、外ヶ浜町の4町村及び西目屋村、藤崎町、大鰐町、田舎館村、板柳町の5町村から重層的支援体制整備事業への移行準備事業のうち多機関協働事業等を受託し、属性を問わない相談支援及び支援コーディネート、孤立状態に対するつながり支援、社会参加支援等を実施した。

また、青森県重層的支援体制整備支援事業を県から受託し、各市町村における重層的支援体制に関わる人材の養成研修を実施した。

(1) 重層的支援体制整備事業の展開

①包括化相談支援センターの設置・運営

ア) 東地域

名 称	東地域総合相談窓口
設置場所	県社協（東地域自立相談窓口）内
連絡先	電話 017-752-1888／Fax017-764-6908
職員の配置	相談支援包括化推進員7人（兼任）配置
相談件数	68件（内訳：平内町25件／今別町17件／蓬田村7件／外ヶ浜町19件）
多機関協働事業プラン策定件数※再プラン含む	77件（内訳：平内町32件／今別町11件／蓬田村23件／外ヶ浜町11件）
参加支援事業プラン策定件数※再プラン含む	0件（内訳：平内町0件／今別町0件／蓬田村0件／外ヶ浜町0件）
アウトリーチ等を通じた継続的支援事業プラン策定件数※再プラン含む	6件（内訳：平内町2件／今別町0件／蓬田村2件／外ヶ浜町2件）

イ) 中南地域

名 称	中南地域総合相談窓口
設置場所	藤崎老人福祉センター内
連絡先	電話 0172-88-8637（相談者用）／Fax0172-88-6899
職員の配置	相談支援包括化推進員9人（兼任）配置
相談件数	119件（内訳：西目屋村5件／藤崎町41件／大鰐町25件／田舎館村10件／板柳町38件）
多機関協働事業プラン策定件数※再プラン含む	182件（内訳：西目屋村12件／藤崎町42件／大鰐町33件／田舎館村39件／板柳町56件）
参加支援事業プラン策定件数※再プラン含む	8件（内訳：西目屋村0件／藤崎町5件／大鰐町3件／田舎館村0件／板柳町0件）
アウトリーチ等を通じた継続的支援事業プラン策定件数※再プラン含む	31件（内訳：西目屋村0件／藤崎町10件／大鰐町14件／田舎館村0件／板柳町7件）

②相談支援包括化推進会議の設置・運営

【第1回】

期 日 令和5年7月26日（水）

会 場 藤崎町文化センター 3階 多目的ホール

方 法 オンライン併催

内 容

事業説明 県社協生活支援課

出席者 104 人

【第2回】

期 日 令和6年3月4日（月）

会 場 県民福祉プラザ4階「大研修室」

方 法 オンライン併催

内 容

特別講演「依存症回復者と共生社会」

NPO 法人横浜依存症回復擁護ネットワーク 代表 城間 勇 氏

事業説明

県社協生活支援課

出席者 87 人

③重層的支援会議の設置・運営

【東地域】

町村名	開催回数	検討件数	評価件数	その他	延べ出席者
平内町	5 回	10 件	23 件		74 人
今別町	3 回	5 件	8 件		46 人
蓬田村	3 回	2 件	22 件		48 人
外ヶ浜町	4 回	5 件	14 件		53 人

【中南地域】

町村名	開催回数	検討件数	評価件数	その他	延べ出席者
西目屋村	4 回	6 件	12 件		36 人
藤崎町	8 回	24 件	42 件	1 件	80 人
大鰐町	5 回	17 件	19 件	1 件	58 人
田舎館村	5 回	15 件	33 件		51 人
板柳町	7 回	23 件	50 件	1 件	89 人

④町村役場及び町村社協担当者会議の開催

【東地域】

期日及び会場	内 容	出席者
令和5年9月19日（火） 県民福祉プラザ2階 「多目的室2A」	(1) 令和6年度重層的支援体制整備事業への移行について (2) 令和6年度多機関協働事業等の実施について (3) インボイス制度への対応について	8 人
令和5年10月11日（水） 県民福祉プラザ2階 「多目的室2A」	(1) 重層的支援体制整備事業説明 (2) 令和5年度事業実施計画について (3) 地域共生社会実現に向けた制度学習会の実施について	18 人
令和6年2月15日（木） 県民福祉プラザ2階 「多目的室2B」	(1) 令和6年度多機関協働事業等の実施について (2) 福祉事務所未設置町村相談事業について (3) 生活福祉資金特例貸付滞納者及び償還免除者への対応について	18 人

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

【中南地域】

期日及び会場	内 容	出席者
令和5年9月19日（火） 藤崎町老人福祉センター 「集会室」	(1) 令和6年度重層的支援体制整備事業への移行について (2) 令和6年度多機関協働事業等の実施について (3) インボイス制度への対応について	9人
令和5年10月16日（火） 藤崎町文化センター3階 「多目的ホール」	(1) 重層的支援体制整備事業説明 (2) 令和5年度事業実施計画について (3) 地域共生社会実現に向けた制度学習会の実施について	21人
令和6年2月26日（月） 西目屋村中央公民館2階 「中研修室」	(1) 令和6年度多機関協働事業等の実施について (2) 福祉事務所未設置町村相談事業について (3) 生活福祉資金特例貸付滞納者及び償還免除者への対応について	18人

⑤包括的支援体制構築に向けた制度学習会

【東地域】

町村名	期日及び会場	内 容	出席者
平内町	令和5年12月14日（木） 平内町勤労青少年ホーム「視聴覚室」	説明「地域共生社会の実現に向けた制度学習会」	18人
蓬田村	令和6年2月2日（金） 蓬田村ふるさと総合センター 「多目的ホール」	説明・グループワーク 「地域共生社会の実現に向けた制度学習会」	25人
外ヶ浜町	令和5年11月30日（木） 外ヶ浜町総合福祉センター などわ〜る「研修室」	説明「地域共生社会の実現に向けた制度学習会」	38人
今別町	令和6年1月22日（月） 今別町役場「会議室兼議場」	説明「地域共生社会の実現に向けた制度学習会」	21人

【中南地域】

町村名	期日及び会場	内 容	出席者
西目屋村	令和5年12月21日（木） 西目屋村役場1階「第1会議室」	説明・グループワーク「地域共生社会の実現に向けた取り組みの推進について」	22人
藤崎町	令和6年1月10日（水） 藤崎町文化センター3階「多目的ホール」	説明・グループワーク 「地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制整備事業について」	53人
田舎館村	令和6年2月14日（火） 田舎館村文化会館「文化ホール」	説明 「地域共生社会の実現に向けた取り組みの推進について」	43人
大鰐町	令和6年2月15日（木） 大鰐総合福祉センター2階 「遊戯室」	説明・グループワーク 「地域共生社会の実現に向けた制度学習会」	44人

※板柳町は開催中止

⑥相談支援包括化推進員の資質向上及び支援

県社協相談支援員研修【再掲】

【第1回】

期 日 令和5年4月24日（月）
 内 容 令和5年度事業計画について
 事務マニュアルに基づく相談対応の進め方について
 出席者 26人（県社協職員24人）

【第2回】

期 日 令和5年12月1日（金）
 内 容 ①説明「緊急小口資金等の特例貸付における償還猶予期間中の支援に向けて自立相談支援機関に期待される役割等について」
 ②講義・演習①相談受付からプラン作成までの流れ
 ③講義・演習②支援調整会議の持ち方・進め方
 ④講義・演習③モニタリングの実施方法と再プラン、終結の考え方について
 出席者 34人（県社協職員23人）

⑦広報啓発（東地域・中南地域共通）

多機関協働事業等の普及・啓発を図ることを目的に県社協ホームページに掲載し、チラシ等を配布したほか、関係機関等の開催する会議等に職員を派遣し、事業に関する説明を行った。

ア) ホームページの作成

- ・県社協ホームページ「福祉ネットあおもり」上に多機関協働事業等のページを開設した。

イ) チラシ、ポスターの作成

- ・相談者向けチラシ56,000部を作成し各地域の毎戸及び関係機関等に配布・周知した。
- ・相談者向けポスター650部を作成し各地域の関係機関等に配布・周知した。
- ・相談支援機関向けチラシ11,000部を作成し各地域の関係機関へ配布・周知した。

ウ) 各地域における広報啓発活動【再掲】

期 日	市町村	内 容
令和5年6月14日（水）	六戸町	六戸町社会福祉協議会在宅サービス事業説明会
令和5年6月27日（火）	七戸町	令和5年度上北郡民生委員・児童委員協議会総会
令和5年10月11日（水）	田舎館村 藤崎町	令和5年度人権擁護委員協議会藤崎・田舎館地区部会合同研修会
令和5年11月1日（水）	野辺地町	令和5年度第1回在宅医療・介護連携推進における多職種連携研修会
令和5年11月25日（土）	中弘南黒	津軽地域ケアネットワーク交流会2023
令和5年12月18日（月）	六ヶ所村	六ヶ所村民生委員児童委員協議会定例会

（2）重層的支援体制整備に係る人材の養成

①重層的支援体制整備事業人材養成研修

ア) 重層的支援体制整備支援事業人材養成研修【導入編】

期 日 令和6年2月21日（水）
 会 場 ふれあいず〜む館 1階 ふれあいのひろば
 参加者 40人
 内 容
 重層的支援体制整備支援事業の趣旨説明

青森県健康福祉政策課

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

講演・演習「地域共生社会と包括的支援体制構築の制度的理解」

北海道医療大学 看護福祉学部福祉マネジメント学科 准教授 宮本 雅央 氏

講演・演習「包括的支援体制における支援の在り方と地域づくり」

北海道医療大学 看護福祉学部福祉マネジメント学科 准教授 宮本 雅央 氏

イ) 重層的支援体制整備支援事業情報交換会

期 日 令和6年2月22日(木)

会 場 県民福祉プラザ 4階 大研修室

参加者 11人

内 容

重層的支援体制整備支援事業について

青森県健康福祉政策課

グループワーク・情報交換

進行 北海道医療大学 看護福祉学部福祉マネジメント学科 准教授 宮本 雅央 氏

事例紹介 重層的支援体制作りに係る取り組みについて ※オンライン

岩手県盛岡市

秋田県湯沢市

グループワーク・他県事例の振り返り・本日のまとめ

進行 北海道医療大学 看護福祉学部福祉マネジメント学科 准教授 宮本 雅央 氏

ウ) アドバイザーの派遣

【市町村・内容】

市町村	期日内容	内容
大間町	令和6年2月28日(水)	・事業説明、打ち合わせほか

6 低所得者等に対する資金の貸付と支援

生活福祉資金貸付事業は、低所得者、障がい者又は高齢者に対し、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、経済的自立及び生活意欲の助長促進等を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的として実施している。

平成27年4月から生活困窮者自立支援制度が施行されたことに伴い、総合支援資金や緊急小口資金等の貸付は原則として自立支援事業の利用が要件化された。生活困窮者自立支援制度による相談支援と綿密な連携を図りながら対応するため、相談窓口を担う市町村社協への理解と協力について推進を図りながら効果的、効率的な貸付となるよう実施している。

(1) 生活福祉資金貸付事業の適切な運営

①貸付相談、申込への対応

・貸付原資

生活福祉資金（コロナ特例以外） 令和6年3月末原資保有額 3,836,019,250 円

生活福祉資金（コロナ特例） 令和6年3月末原資保有額 1,563,625,617 円

臨時特例つなぎ資金 令和6年3月末原資保有額 3,127,260 円

・貸付決定の実績（新型コロナウイルス感染症特例貸付を除く）

資金種類	申込状況		決定状況		申込みに 対する 決定（件数）率	貸付決定 （件数） の構成比
	件数 （件）	金額（千円）	件数 （件）	金額（千円）		
総合支援資金	1	450	1	396	100.0%	11.1%
福祉資金	0	0	0	0	—%	0.0%
緊急小口資金	5	471	5	451	100.0%	55.6%
教育支援資金	5	5,740	5	3,196	100.0%	33.3%
不動産担保型資金	0	—	0	—	—%	0.0%
合 計	11	6,661	11	4,043	100.0%	100.0%

・貸付金の交付

資金種類	交付額（円）
総合支援資金	396,000
福祉資金	435,670
生活復興支援資金	0
緊急小口資金	451,000
教育支援資金	686,000
不動産担保型生活資金	508,461
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	6,106,534
臨時特例つなぎ資金	0
合 計	8,583,665

・償還の実績（コロナ特例以外）

資金種類	償還状況		
	計画額（円）	実績額（円）	償還率（%）
総合支援資金	260,181,043	10,157,511	3.90
更生資金	43,100,934	615,030	1.43
障害者更生資金	17,391,405	222,350	1.28
生活資金	1,161,031	18,000	1.55
福祉資金	36,218,447	4,000,570	11.05
福祉（住宅）資金	18,724,109	1,481,880	7.91
教育支援資金	350,803,018	52,187,662	14.88
療養・介護等資金	4,338,893	136,000	3.13
災害援護資金	1,774,300	19,470	1.10
緊急小口資金	29,643,488	1,352,890	4.56
生活復興支援資金	796,250	0	0.00
離職者支援資金	63,811,088	2,078,530	3.26
不動産担保型生活資金	—	0	—
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	—	10,377,614	—
臨時特例つなぎ資金	974,030	10,000	1.03
合 計	827,944,006	72,269,893	8.73

※合計には不動産・要保護・つなぎの実績額を含まない。

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

・償還の実績（コロナ特例）

資金種類	償還状況		
	計画額（円）	実績額（円）	償還率（%）
総合支援資金	351,979,837	34,496,894	9.80
緊急小口資金	358,184,790	106,841,354	29.83
合 計	710,164,627	141,338,248	19.90

②運営委員会、小委員会の開催

○生活福祉資金運営委員会

制度の大綱、貸付、猶予、免除申請について審査するため、生活福祉資金運営委員会を開催した。

回数	開 催 日	会 場	出 席 者
第1回	令和6年2月19日（月）	県民福祉プラザ2階 「県社協会議室」	11人 （うち専門委員2人）

○生活福祉資金運営委員会小委員会

不動産担保型生活資金及び要保護世帯向け不動産担保型生活資金に関する審査のため、小委員会を開催し審査した。

回数	開 催 日	会 場	出 席 者
第1回	令和6年2月19日（月）	県民福祉プラザ2階「県社協会議室」	5人

③市町村社協事務指導監査の実施

生活福祉資金貸付事務に係る市町村社協の実情を把握し、適正な運営に向けた指導・助言をするため、40市町村社協に対し書面監査を実施した。

④市町村社協事務担当者研修会の開催

生活福祉資金貸付制度の概要や借入相談時の対応等について改めて共通認識を図るほか、他制度についての理解を深め、実際の貸付相談対応においてより効果的な貸付の判断や支援につなげられる機会とすることを目的に市町村社協職員を対象に研修会を開催した。

期 日 令和5年11月9日（木）

場 所 青森県観光物産館アスパム 5階「白鳥」

対象者 市町村社協の生活福祉資金担当職員

参加者 36人

内 容 説明 生活福祉資金貸付制度の概要について 県社協地域福祉課福祉資金係職員
説明 生活保護制度及び母子父子寡婦福祉資金貸付制度について

東青地域県民局 地域健康福祉部 福祉総室 保護課 課長 岸井 淳 氏
福祉調整課 課長 石岡 幸生 氏
主幹 山田 智子 氏

グループ討議 「他制度を活用した相談対応について」

「特例貸付に係るフォローアップ支援等について」

（2）要保護世帯向け不動産担保型生活資金貸付事業の適切な運営

①貸付相談、申込への対応

・貸付決定の実績

資金種類	申込状況		決定状況		申込みに 対する 決定（件数）率
	件数 （件）	金額（千円）	件数 （件）	金額（千円）	
要保護世帯向け 不動産担保型生活資金	3	14,640	3	14,640	100.0%

- ・不動産概算評価の実施状況（不動産担保型生活資金含む）

貸付申込みの判断材料とするため、各福祉事務所からの依頼に基づき、青森県不動産鑑定士協会の協力を得て概算評価を実施した。（実施件数 8 件）

②不動産再評価の実施

貸付金送金中の対象不動産について、3 年毎に不動産の再鑑定評価を実施し、貸付限度額を算定したときと比べて 1 割以上減少した場合には、限度額変更手続きを行うこととしているが、貸付決定時に将来の不動産下落を見込んで貸付限度額を算定しているため、不動産の再評価は単位期間（36 ヶ月毎）の 2 回目から実施する整理をしたことで、令和 5 年度は対象となる不動産はなかった。

③競売案件への対応

相続人不在等の理由により、相続人が対象不動産を売却して償還することができない案件について、本会が設定した根抵当権を実行し、競売手続きに進んだ案件が 2 件あった。

（3）臨時特例つなぎ資金貸付事業の適切な運営

①貸付相談、申込への対応

- ・貸付決定の実績

資金種類	申込状況		決定状況		申込みに 対する 決定（件数）率
	件数 （件）	金額（千円）	件数 （件）	金額（千円）	
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0	— %

（4）償還促進及び長期滞留債権への対応

市町村社協と連携して借受人の死亡等、免除要件に合致した債権について免除を行ったほか、要保護世帯向け不動産担保型生活資金において、根抵当権を実行しても貸付元利金の全額償還が受けられなかった債権について免除を行った。

①償還促進運動の実施

滞納の解消と世帯の実態を把握するために、督促状を送付し取扱市町村社協による面接を実施し滞納解消に努めた。

- ・市町村社協に対する償還促進運動支援

期 間	実施社協	支援対象社協
令和 5 年 9 月～10 月	4 ヶ所	板柳町、弘前市、青森市、つがる市

- ・督促状の送付

令和 5 年 6 月末時点において償還期限を経過し、元利金・延滞利子の残額がある借受人等へ督促状を送付し、滞納分の支払いを求め、県社協及び取扱市町村社協において面接相談を実施した。

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

基準日	督促状 送付数 (通)	内訳（通数）				
		借受人	連帯借受人	連帯保証人	民生委員	債務代行者等
6月末	1,874	1,015	350	258	233	18

・居住地調査の実施

郵便物が返戻となった借受人等関係者について、県内外各市町村役場に住民票を照会し、居住地の調査を行った。

調査件数（件）	内訳（通数）		
	住所判明	死亡判明	該当者なし等
255	206	24	25

・口座振替による償還の促進

貸付金の償還方法は、払込票と口座振替による自動振替を借受人が選択できるが、本会では、事務処理の効率性と償還の確実性から口座振替による償還を積極的に推進し、市町村社協へも働きかけを行った。

令和5年4月～令和6年3月 生活福祉資金口座振替結果（※特例貸付を含む）

振替依頼	40,142 件	304,453,032 円
振替処理	20,536 件	155,186,135 円（件数比 51.2%）
振替不能	19,606 件	149,266,897 円（件数比 48.8%）

②残高通知の送付

令和5年9月末時点において、償還計画に基づく償還額に達していない借受人等に対し、残額確認のために償還残額のお知らせを送付した。

基準日	送付数 (通)	内訳（通数）			
		借受人	連帯借受人	連帯保証人	債務代行者等
9月末	546	309	200	33	4

③償還免除に係る整理

・償還免除件数

資金種類	件数	元金（円）	貸付利子 （円）	延滞利子 （円）	合計（円）
総合支援資金	21	17,516,772	1,498,788	3,032,089	22,047,649
緊急小口資金	17	1,280,370	0	1,369,014	2,649,384
福祉資金	1	157,000	3,630	166,925	327,555
療養・介護等資金	1	825,020	0	1,145,327	1,970,347
要保護世帯向け不動産 担保型生活資金	4	6,666,607	555,604	4,193,712	11,415,923
合 計	44	26,445,769	2,058,022	9,907,067	38,410,858

・延滞利子免除

なし

・貸付金償還猶予

資金種類	件 数	金額（円）	理 由
福祉資金	1	435,670	年金受給前のため
合 計	1	435,670	

④新型コロナウイルス感染症に係る特例貸付の債権管理への対応

- ・令和4年度判定住民税非課税免除

令和4年3月末までに借入申請のあった特例緊急小口資金及び特例総合支援資金(初回貸付)について、令和3年度又は4年度の借受人及び世帯主の住民税が非課税である債権に対し、償還免除を行った。

資金種類	貸付決定数	免除承認数		免除不承認数	
	件数 (件)	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
特例 緊急小口資金	5,188	2,328	428,888,490	85	15,100,000
特例総合支援資金 初回貸付	2,910	1,470	798,422,250	54	28,450,000
合 計	8,098	3,798	1,227,310,740	139	43,550,000

※償還免除開始からの累計

- ・令和5年度判定住民税非課税免除

令和4年4月以降に借入申請のあった特例緊急小口資金及び特例総合支援資金(初回貸付)、並びに特例総合支援資金(延長貸付)について、令和5年度の借受人及び世帯主の住民税が非課税である債権に対し、償還免除を行った。

資金種類	貸付決定数	免除承認数		免除不承認数	
	件数 (件)	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
特例 緊急小口資金	535	222	41,920,000	8	1,600,000
特例総合支援資金 初回貸付	338	157	86,935,000	2	1,050,000
特例総合支援資金 延長貸付	289	154	60,700,250	6	2,559,000
合 計	1,162	533	189,555,250	16	5,209,000

- ・次年度判定住民税非課税免除

償還免除特例判定時期以後において住民税が非課税となっている場合には貸付の一部が償還免除となるため、対象となる債権に対し一部償還免除を行った。

資金種類	免除承認数	
	件数 (件)	金額 (円)
特例緊急小口資金	148	15,720,145
特例総合支援資金 初回貸付	81	39,712,180
合 計	229	55,432,325

- ・任意免除

償還免除申請時に生活保護を受給している、又は精神保健福祉手帳(1級)又は身体障害者手帳(1級又は2級)の交付を受けている債権のほか、借受人が死亡した債権などに対し、償還免除を行った。

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

資金種類	生活保護受給		手帳交付		死亡		自己破産	
	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
特例緊急小口資金	28	4,422,930	8	1,504,170	33	5,821,382	101	18,006,216
特例総合支援資金初回貸付	12	6,132,500	6	3,422,500	20	9,770,000	55	27,130,000
特例総合支援資金延長	0	0	1	516,000	3	1,038,000	7	1,518,207
特例総合支援資金再貸付					3	1,650,000	8	2,007,000
合 計	40	10,555,430	15	5,442,670	59	18,279,382	171	48,661,423

※償還免除開始からの累計

・償還猶予

償還計画通りの償還が難しい借受人に対し、原則1年間、償還を猶予する手続きを行った。

猶予決定 件数	申請理由					
	地震や火災等に被災	病気療養中	失業・離職中	他借入金の償還猶予中	自立相談支援機関から猶予適当と意見あり	県社協会長が償還困難と認める場合
442	1	16	18	0	16	391

※償還免除開始からの累計

※県社協会長が償還困難と認める場合の理由内訳

- ・収入減少や不安定就労等により生活が安定しない：376 件
- ・多重債務があり、債務整理を行う可能性がある：14 件
- ・自然災害等による償還困難：1 件

・償還猶予の延長

償還猶予期間終了後、現時点では償還が困難な状況だが、市町村社協等の支援を継続することと今後償還が見込める可能性がある借受人に対し、償還猶予を延長する手続きを行った。

猶予の延長 決定件数	申請理由				
	収入や増収の見込みあり	他の借入金返済の終了見込みあり	その他	猶予期間が12ヶ月未満	支援期間が6ヶ月未満
9	3	6	0	0	0

・償還猶予後の免除

1年間の償還猶予期間終了後、市町村社協等の支援を受けたうえでなお償還の見込みがない借受人に対し、償還免除を行った。

資金種類	免除承認数	
	件数 (件)	金額 (円)
特例緊急小口資金	48	8,241,690
特例総合支援資金初回貸付	35	18,733,750
合 計	83	26,975,440

・居住地調査の実施

郵便物が返戻となった特例貸付の借受人について、県内外各市町村役場に住民票を照会し、居

住地の調査を行った。

調査件数（件）	内訳（通数）		
	住所判明	死亡判明	該当者なし等
319	310	8	1

（5）生活福祉資金貸付制度の周知

①ホームページへの掲載等 随時実施

②研修会等での周知

期 日	会場	内容	参加者数
令和5年 8月22日（火）	鰯ヶ沢町中央公民館 2階「大会議室」	鰯ヶ沢町民児協 第4回定例会（研修会） 「生活福祉資金貸付制度について」	40人

（6）令和6年能登半島地震災害特例貸付実施に伴う職員派遣 ＜追加＞

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震において全国社会福祉協議会の要請により、緊急小口資金特例貸付受付業務の支援のため下記のとおり職員派遣を行った。

派遣地域	期間	派遣社協名	人数
石川県珠洲市	令和6年 2月12日（月）～16日（金）	県社協 平川市社協	2人

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

7 孤立させない地域づくりの推進

(1) 福祉安心電話中央センターの管理

中央センターの適切な運営、管理のため、相談員の管理及びシステム全般の保守（一部業者委託）を行った。

○中央センター着信状況と会員別内訳

市町村名	高齢者 人口	一人 暮らし 高齢者 (a)	設置 台数 (b)	割合 (b/a)	通知着信状況				対応状況			
					緊急	火災	停電	計	請協力員要	力救急・協 員要請	力消防・協 員要請	計
青森市	87,960	5,945	87	1.46%	12	0	4	16	5	11	0	16
弘前市	54,320	18,261	79	0.43%	4	0	7	11	4	3	0	7
八戸市	70,062	22,493	16	0.07%	0	0	5	5	1	0	0	1
黒石市	11,020	1,023	1	0.10%	0	0	0	0	0	0	0	0
五所川原市	18,789	3,522	21	0.60%	1	0	1	2	1	2	0	3
十和田市	20,473	5,924	17	0.29%	2	0	2	4	1	2	0	3
三沢市	10,446	4,948	51	1.03%	8	0	5	13	1	0	0	1
むつ市	18,562	6,492	0	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0
つがる市	11,951	2,850	174	6.11%	5	0	23	28	6	2	0	8
平川市	10,474	1,191	75	6.30%	4	0	6	10	7	1	1	9
平内町	4,348	560	70	12.50%	5	0	1	6	2	4	0	6
外ヶ浜町	1,305	285	18	6.32%	1	0	1	2	0	2	0	2
今別町	1,088	311	6	1.93%	1	0	2	3	0	1	0	1
蓬田村	2,724	781	28	3.59%	0	0	2	2	2	0	0	2
鱒ヶ沢町	4,036	484	35	7.23%	5	0	15	20	1	0	0	1
深浦町	3,712	582	20	3.44%	0	0	13	13	0	0	0	0
西目屋村	509	54	5	9.26%	0	0	2	2	2	0	0	2
藤崎町	4,854	654	23	3.52%	0	0	0	0	0	0	0	0
大鰐町	3,852	506	10	1.98%	3	0	2	5	3	0	0	3
田舎館村	2,707	247	29	11.74%	4	0	13	17	3	4	0	7
板柳町	4,897	964	41	4.25%	1	0	5	6	2	1	0	3
中泊町	4,537	1,420	62	4.37%	4	0	2	6	4	3	0	7
鶴田町	4,589	1,459	13	0.89%	2	0	7	9	2	1	0	3
野辺地町	4,887	1,138	6	0.53%	0	0	0	0	0	0	0	0
七戸町	6,139	756	26	3.44%	0	0	10	10	2	1	0	3
おいらせ町	3,652	433	29	6.70%	2	0	5	7	3	2	0	5
六戸町	1,693	503	21	4.17%	0	0	3	3	2	0	0	2
横浜町	6,356	1,655	49	2.96%	4	0	16	20	4	4	0	8
東北町	2,752	397	0	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0
六ヶ所村	6,962	1,236	30	2.43%	2	0	2	4	1	2	0	3
大間町	1,770	292	3	1.03%	0	0	0	0	0	0	0	0
東通村	2,231	627	17	2.71%	0	0	0	0	0	1	0	1
風間浦村	772	149	10	6.71%	0	0	0	0	0	0	0	0
佐井村	824	197	3	1.52%	0	0	0	0	0	0	0	0
三戸町	3,915	1,029	24	2.33%	1	0	15	16	6	0	0	6
五戸町	6,656	998	8	0.80%	2	0	2	4	3	0	0	3
田子町	2,215	347	22	6.34%	1	0	10	11	2	1	0	3
南部町	6,690	1,763	19	1.08%	1	0	6	7	1	1	0	2
階上町	4,488	403	10	2.48%	0	0	0	0	0	1	0	1
新郷村	1,098	139	2	1.44%	0	0	3	3	0	0	0	0
野田村	1,567	259	5	1.93%	0	0	9	9	0	0	0	0
合計	421,882	93,277	1,165	1.25%	75	0	199	274	71	50	1	122

○「お誕生日おめでとうコール」の実施

加入者の誕生日にあわせて「お誕生日おめでとう」コールをするほか、緊急通報等のテストを実施した。

(2) 住民参加によるネットワーク活動への支援

①市町村社協担当者会議の開催

開催日時	開催方法	参加者数	内容
令和5年 5月22日(月)	オンライン会議	54人	【報告・説明】 1. 令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画について 2. 福祉安心電話サービス事業に係る事務処理等について 3. 各市町村における取組み及び対応(困難等)事例について 【質疑応答】

②広報・啓発活動

実施件数：0件

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

8 矯正施設退所者の社会復帰支援

高齢または障がい有し、福祉的支援を必要とする矯正施設退所者や被疑者・被告人等で自立した生活を営むことが困難と認められる者に対して、地方検察庁や保護観察所等と協働して、事業の実施体制の整備を図るとともに、釈放後に福祉サービス等を利用できるよう相談・調整等を行い、利用者が地域で自立した日常生活を送れるよう支援した。

(1) 地域生活定着支援センターの運営

① コーディネート業務の実施

開始件数(A)				終了件数(B)			支援継続 (A)－(B)
4 年度 からの 継続	新規		合計	矯正施設退 所後受入先 に帰住	その他	合計	
	保護観察所 からの依頼	他県のセンタ ーからの依頼					
7	9	5	21	15	2	17	4

【帰住調整等の支援状況（21人）】

項目	方法			内容				相手先						
	本人面 接	訪 問	電 話	連 絡 ・ 調 整	の 行 政 手 続 等	ケ ー ス 検 討 会	そ の 他	刑 務 所	保 護 観 察 所	他 県 セ ン タ ー	行 政	施 設 ・ 病 院 等	家 族	そ の 他
合計	59	27	64	144	2	2	3	121	33	43	25	68	5	68

【更生保護施設等利用者（経由者含む）】

更生保護施設	2	自立準備ホーム	5
--------	---	---------	---

【受入先内訳】

グループホーム（障害）	4	医療機関	3
養護老人ホーム	1	戸建住宅、公営住宅	3

② 被疑者等支援業務の実施

開始件数(A)				終了件数(B)			支援継続 (A)－(B)
4年度 からの 継続	新規		合計	釈放後後 受入先に 帰住	その他	合計	
	保護観察所 からの依頼	他県のセンタ ーからの依頼					
1	5	0	6	2	0	2	4

【帰住調整等の支援状況（5人）】

項目	方法			内容				相手先							
	本人面接	訪問	電話	連絡・調整	行政手続き等の 斡旋補助	ケース検討会	その他	検察庁	弁護士	保護観察所	他県センター	行政	等 施設・病院	家族	その他
合計	6	2	4	11	0	0	0	1	1	3	0	2	4	0	11

【更生保護施設等利用者(経由者含む)】

更生保護施設	2	自立準備ホーム	1
--------	---	---------	---

【受入先内訳】

アパート	2	親族宅	1
養護老人ホーム	1	救護施設	1

【施設等入所後の支援状況 (6人)】

項目	方法			内容						相手先					
	訪問	電話	同行	本人面談	連絡・調整	斡旋補助 行政手続等の	打合せ	ケース検討会	その他	検察庁・ 弁護士・ 法テラス	行政	施設・病院等	家族	その他	
合計	24	28	4	20	39	1	0	2	6	5	1	41	5	29	

③フォローアップ業務の実施

開始件数(A)			終了件数 (B)	支援継続 (A)－(B)
4年度 からの継続	新規	合計		
20	12	32	4	28

【施設等入所後の支援状況 (32人)】

項目	方法			内容						相手先					
	訪問	電話	同行	本人面談	連絡・調整	斡旋補助 行政手続等の	打合せ	ケース検討会	その他	保護観察所・ 少年鑑別所	行政	施設・病院等	家族	その他	
合計	235	247	169	151	392	52	4	9	145	55	80	484	7	412	

④相談支援業務の実施

開始件数(A)				終了件数 (B)	支援継続 (A)－(B)
4 年度 からの継続	新規		合計		
	コーディネー トからの継続	関係機関から の相談			
13	0	67	80	53	27

【帰住調整等の支援状況 (8人)】

項目	方法			内容				相手先						
	本人面接	訪問	電話	連絡・調整	行政手続き等の 斡旋補助	ケース検討会	その他	留置場・拘置所	保護観察所	他県センター	行政	施設・病院等	家族	その他
合計	19	9	22	46	0	0	2	19	4	1	4	6	5	41

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

【施設等入所後の支援状況（24人）】

項目	方法			内容						相手先				
	訪問	電話	同行	本人面談	連絡・調整	行政手続等の 幹旋補助	打合せ	ケース検討会	その他	検察庁・ 保護観察所・ 弁護士	行政	施設・病院等	家族	その他
合計	127	287	31	97	291	22	0	4	34	82	72	129	30	222

⑤研修会等センター職員の資質向上

ア) 全国地域生活定着支援センター協議会関係

No.	会議・研修名	期日	場所
1	全国一般社団法人 全国地域生活定着支援センター協議会 定時総会	令和5年6月26日(月)	オンライン会議
2	令和5年度第1回北海道・東北ブロック地域生活定着支援センター所長会議	令和5年7月28日(金)	オンライン会議
3	令和5年度 岩手県地域生活定着支援研修会	令和5年11月21日(火)	オンライン会議
4	人材養成研修(中級職員研修)	令和5年12月25日(月)～ 26日(火)	オンライン会議
5	令和5年度地域生活定着支援センター社協関係者連絡会議	令和6年2月1日(木)	沖縄県総合福祉センター
6	人材養成研修(テーマ別研修)	令和6年2月13日(火)、 16日(金)	オンライン会議
7	北海道・東北ブロック地域生活定着支援センター研修会	令和6年3月6日(水)	オンライン会議
8	令和5年度第2回北海道・東北ブロック地域生活定着支援センター所長会議	令和6年3月18日(月)	オンライン会議

イ) 県内研修等

No.	会議・研修名	期日	場所
1	前田ケイ先生公開講座	令和5年4月25日(火)	青森大学
2	ソーシャルスキルズ・トレーニング	令和5年6月19日(月)	プラザあすなろ
3	令和5年度相談支援事業所との意見交換会	令和5年10月17日(火)	青森刑務所
4	受刑者向け就職求人雑誌「Chance」編集長による受刑者への講話	令和5年12月13日(水)	青森刑務所
5	令和5年度青森県再犯防止推進委員会	令和5年12月18日(月)	新町キューブ
6	刑務所出所者等に対する福祉支援に係る協議会	令和6年2月9日(金)	青森刑務所
7	農福連携意見交換会	令和6年3月5日(火)	青森刑務所

ウ) 県外研修等

No.	会議・研修名	期日	場所
1	令和5年度大船渡榎本クリニックオンライン連続セミナー「性暴力と自死を考える」	令和5年8月25日(金)	オンライン会議
2	2023年度 居住支援研修会	令和5年9月1日(金) 10月13日(金)、25日(水)	オンライン会議
3	令和5年度再犯防止シンポジウム	令和6年2月16日(金)	仙台国際センター
4	令和5年度厚生労働省社会福祉推進事業に係る「報告会」	令和6年3月27日(水)	オンライン会議

エ) 職場内研修

No.	会議・研修名	場所	出席者	開催回数
1	相談援助のコツ&ワザ ～あなたの前に相談者が現れたら～	県民福祉プラザ及 びオンライン会議	27 人	1 回
2	ケース検討	県民福祉プラザ	113 人（延べ）	24 回

⑥事業の普及・啓発活動への取り組み

ア) 令和5年度青森矯正展

期 日：令和5年7月9日（日）

会 場：青森刑務所

内 容：事業概要のパネル展示による事業紹介、パンフレット配布

イ) 令和5年度地域福祉支援検討会

矯正施設退所者の受入れ促進に向けて、福祉施設職員等を対象に福祉的支援を必要としている刑務所退所者の理解、地域において福祉関係者が提供できる支援等について検討会を開催した。

期 日：令和5年10月4日（水）

会 場：三沢市公会堂 3階「8・9集会室」

参加者：23人

内容：講義1「刑事手続きの概要及び入口支援について」（青森地方検察庁）
 講義2「社会復帰を目的とした刑務所内の処遇について」（青森刑務所）
 講義3「更生保護・更生緊急保護制度について」（青森保護観察所）
 講義4「刑務所入所中から行うセンターの支援について」
 （青森県地域生活定着支援センター）
 事例検討会「刑務所退所者への理解と地域における支援について」
 講師 青森大学 教授 船木 昭夫 氏

ウ) 講師派遣等

No.	会議・研修名	期日	会場
1	被疑者等支援研修会	令和5年7月13日（木）	青森県弁護士会会議室
2	社会復帰支援指導	令和5年11月20日（月）	青森刑務所
3	定例職場内研修	令和5年11月28日（火）	社会福祉法人青森県すこやか福祉事業団 養護老人ホーム安生園

エ) 福祉事業者巡回開拓

支援協力者の確保を図り、矯正施設退所者の円滑な地域移行に向けて福祉施設、事業所等を巡回訪問する。地域福祉研修と併せて実施した。（30ヶ所、※複数の事業所が参加）

No.	期日	市町村	巡回先
1	令和5年6月15日（木）	青森市	株式会社巧建
2	令和5年6月28日（水）	青森市	株式会社ケアあおもり
3	令和5年7月27日（木）	黒石市	津軽保健生活協同組合、株式会社ケアプラザなごみ
4	令和5年7月31日（月）	八戸市	一般社団法人八戸市医師会、医療法人清照会、八戸市身体障害者更生館
5	令和5年8月22日（火）	青森市	社会福祉法人喜倖会、特定非営利活動法人 SAN Net 青森

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

6	令和5年9月25日 (月)	十和田市	社会福祉法人新生会、医療法人幸仁会、社会福祉法人義乃会
7	令和5年9月28日 (木)	三沢市	医療法人青仁会、社会福祉法人常光会、特定非営利活動法人障害者地域生活支援センターぴあ三沢
8	令和5年10月19日(木)	十和田市	社会福祉法人恵仁会、社会福祉法人生きがい十和田、社会福祉法人恩和会
9	令和5年12月5日(火)	弘前市	社会福祉法人藤聖母園
10	令和5年12月22日(金)	青森市	株式会社ドリームパレット
11	令和5年12月27日(水)	青森市	株式会社太陽不動産
12	令和6年1月30日(火)	青森市	株式会社巧建、株式会社福祉ステーション
13	令和6年2月7日(水)	青森市	社団法人慈恵会
14	令和6年3月13日(水)	青森市	特定非営利活動法人あおもり24、特定非営利活動法人明星会、株式会社YBS
15	令和6年3月26日(火)	青森市	合同会社あさひ

(2)各関係機関との連携・協働

①総合調整会議の開催

事業の周知及び円滑な事業開始を目的として、青森県、保護観察所、更生保護団体、弁護士会、社会福祉士会、精神保健福祉士協会、地域包括・在宅介護支援センター協議会、県民生委員児童委員協議会、県老人福祉協会等を参集範囲とした総合調整会議を開催した。

期 日：令和5年11月13日(月)

会 場：青森法務総合庁舎3階「会議室」

参加者：28人

内 容：(ア)事件の動向について(青森保護観察所)

(イ)令和4年度青森県地域生活定着支援センター実績報告について

(ウ)矯正施設退所者の就労支援について

①青森刑務所

②青森保護観察所

③更生保護施設プラザあすなろ

④青森公共職業安定所

⑤青森県地域生活定着支援センター

⑥特定相談支援事業所フレンドリープラザ、障害福祉支援プラザ

②処遇困難ケース専門検討委員会の開催

処遇困難ケースについては、当該委員会委員に個別に相談し、支援の方法や方向性についての助言を得たため、委員会の開催までには至らなかった。

③個別ケース検討会の開催

支援対象者13人に対して、支援状況の共有、今後の支援等について検討した。

内 容	出席者数	開催回数
・本人の状況について ・金銭管理について ・医療機関の受診について ・福祉サービスの利用について ・今後の支援について	延べ191人	26回

④特別調整に係る関係機関担当者会議の開催

特別調整等に係る業務の運用について青森刑務所、青森保護観察所、青森県地域生活定着支援センターの担当者が情報交換等を行った。

No.	期日	主催	会場	出席者
1	令和5年5月22日(月)	青森県地域生活定着支援センター	県民福祉プラザ	12人
2	令和5年7月25日(火)	青森保護観察所	青森保護観察所	10人
3	令和5年9月22日(金)	青森刑務所	青森刑務所	11人
4	令和5年11月27日(月)	青森県地域生活定着支援センター	県民福祉プラザ	11人
5	令和6年1月23日(火)	青森保護観察所	青森保護観察所	12人
6	令和6年3月15日(金)	青森刑務所	青森刑務所	12人

⑤刑務所退所者の社会復帰を支える関係機関・団体の連絡協議会(主催：青森保護観察所)

(総合調整会議と併催)

期 日：令和5年11月13日(月)

会 場：青森法務総合庁舎3階「会議室」

参加者：28人

内 容：(ア)事件の動向について(青森保護観察所)

(イ)令和4年度青森県地域生活定着支援センター実績報告について

(ウ)矯正施設退所者の就労支援について

①青森刑務所

②青森保護観察所

③更生保護施設プラザあすなろ

④青森公共職業安定所

⑤青森県地域生活定着支援センター

⑥特定相談支援事業所フレンドリープラザ、障害福祉支援プラザ

⑥被疑者等支援ネットワーク会議等の開催

福祉的支援が必要な被疑者・被告人の状況やどのような福祉的支援が必要とされているか等について刑事司法機関と意見交換等を行った。

No.	期日	機関・団体名	会場	出席者
1	令和5年4月28日(金)	青森県弁護士会	県民福祉プラザ	4人
2	令和5年5月12日(金)	青森地方検察庁	青森地方検察庁	8人
3	令和5年5月18日(木)	青森地方検察庁、青森保護観察所	青森保護観察所	7人
4	令和6年2月28日(水)	青森県弁護士会、青森地方検察庁、青森保護観察所、青森県	青森県弁護士会	10人

9 障がい者虐待防止に向けた支援

障がい者虐待の未然防止や早期発見、迅速な対応、その他適切な支援を行政及び関係機関等と連携して事業を推進した。

(1) 障害者権利擁護センターの運営

①障害者及び養護者からの相談対応、情報提供、助言

専用の電話回線及びメールアドレスを用意し、障害者、その養護者及び関係者等からの障害者虐待の届出、通報及び相談等に対応した。

②虐待に係る通報・届出の受理

○相談等の件数（種類、属性別）

	養護者による虐待	福祉施設従事者等による虐待	事業所の使用等による虐待	その他	合 計
相 談	2	0	0	57	59
届 出	0	0	1	0	1
通 報	0	2	0	0	2
合 計	2	2	1	57	62

③市町村担当部署との連携調整及び助言

施設での虐待事案に係る事案について市町村に対して通報、情報提供を行った。

④虐待防止及び養護者支援に係る情報の収集、分析

ア) 指導者研修会への講師の派遣

①「障害者虐待防止・権利擁護指導者養成研修」への参加

(事業所管理者1人、権利擁護事業所代表理事1人、事務局職員1人)

講義動画の配信：令和5年9月4日(月)～令和6年3月29日(金)

※講義動画は(2)①②③厚生労働省YouTube配信と同内容

演習研修期日：令和5年9月19日(火)～21日(木)

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

⑤権利擁護虐待防止に関する普及啓発

ア) 市町村障害者虐待防止センター窓口調査

- ・新年度の担当窓口等について5月に全市町村に調査を行った。

イ) リーフレット等の作成・配布

- ・障害者虐待防止パンフレット(10,000部)を作成し、市町村、障害福祉サービス提供事業所、県内小中高等学校、特別支援学校(学級)、医療機関、関係機関・団体等に配布した。
- ・障害者虐待防止ポスター(2,000部)を作成し、市町村、障害福祉サービス提供事業所、医療機関、関係機関・団体等に配布した。
- ・「障害者虐待防止カード」(10,000部)、「障害者虐待チラシ」(5,000部)を作成し、市町村、市町村社協、医療機関、特別支援学校、関係機関・団体等へ配布した。
- ・「青森県障害者権利擁護センターによる講師派遣事業」、「青森県障害者虐待防止・権利擁護研究会」のチラシ、案内通知を特別支援学校(学級)、保育所等、放課後児童クラブ、障害福祉

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

サービス提供事業所、医療機関、関係機関・団体等へ送付し周知を図った。

- ・「障害者福祉施設等における障がい者虐待の防止と対応の手引き」（200部）を作成し、令和5年度青森県障害者虐待防止・権利擁護研修会参加者および講師派遣事業等にて配布した。

ウ）法人事業所（養護学校）等での研修会への講師等派遣（6回）

エ）DVD等レンタル研修の実施（3回）

[養護学校1回、施設・事業所3回、社協4回、関係機関1回、参加者236人]

期 日	研修会名等	参加者	種別	市町村
7月7日（金）	① 市町村介護サービス苦情処理担当者研修 青森県国民健康保険団体連合会オンライン研修会	45人	行政	青森市
7月21日（金）	② 職場内研修会（DVD研修） 社会福祉法人豊寿会 障がい者支援施設妙光園	10人	障害	八戸市
8月23日（水）	③ 社協実習生に対する青森県社協事業説明会	7人	社協	青森県内
8月30日（水）	④ 社協実習生に対する青森県社協事業説明会	10人	社協	青森県内
9月21日（水）	⑤ 社会福祉法人藤崎町社会福祉協議会（DVD研修）	7人	社協	藤崎町
10月6日（金）	⑥ 法人職場内研修会 社会福祉法人黒石市社会福祉協議会	64人	社協	黒石市
11月1日（水）	⑦ 高等部障害者権利擁護教育研修会 青森県立弘前第一養護学校	52人	学校	弘前市
2月16日（金）	⑧ 公益財団法人こころすこやか財団職員研修 （DVD研修）	31人	障害	八戸市
3月14日（木）	⑨ 社会福祉法人青森市社会福祉協議会 青森うとうの園職員研修会	10人	障害	青森市
		236人		

オ）障害者施設、事業所虐待防止調査

「令和5年度 施設・事業所における障害者虐待体制整備調査」を実施した。

調査対象 障害者福祉サービス提供事業所(1,065ヶ所)

実施期日 令和5年12月17日～令和6年2月16日

回収率 38% (404/1,065事業所)

（2）障害者虐待防止権利擁護研修会の開催

研修対象別に「障害者虐待防止・権利擁護指導者養成研修」（国研修）および本県作成の「基本講義」の動画配信、障害者福祉施設の設置者及び管理者、管理責任者等研修においては、集合研修を実施しグループ演習、ロールプレイを中心に障害者虐待防止の理解を深めた。

○動画配信期間：令和6年1月16日（火）～令和6年3月22日（金）

※配信期間中は専用ホームページにアクセスし視聴。

① 市町村障害者虐待防止センター等職員研修

対象者 県、市町村職員の障害者虐待防止担当者、労働局職員等

内 容 厚生労働省 YouTube「共通講義」、「自治体コース講義」及び本県動画「基本講義」の視聴。（閲覧者12市町村／26人）

② 障害者福祉施設の設置者及び管理者等対象研修

対象者 障害者福祉施設の設置者及び管理者、サービス管理責任者等

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

内 容 厚生労働省 YouTube「共通講義」「管理者・虐待防止コース講義」及び本県動画「基本講義」の視聴。(閲覧者 337 事業所／ 632 人)

集合研修の実施／演習・グループ討議

期 日：令和6年1月31日(水)

会 場：東奥日報新町ビル3階「NEW‘Sホール」

参加者：132人

③ 障害者福祉施設の従事者対象研修

対象者 障害者福祉施設の従事者等、特別支援教育関係者、放課後児童クラブ等関係者、保育所等関係者、医療機関等関係者等

内 容 厚生労働省 YouTube「共通講義」及び本県動画「基本講義」の視聴。

(閲覧者 315 事業所／1,762 人)

厚生労働省 YouTube「共通講義」講座内容(①②③ 全コース共通)

課 目	時間	内 容
I 障害者虐待総論-成立までの経過、社会的意義 野澤 和弘 氏	30 分	障害者虐待防止総論/成立までの経過、社会的意義
II 障害者虐待防止法の概要 関哉 直人 氏	45 分	「障害者虐待」の定義/障害者福祉施設従事者等による障害者虐待/虐待行為に対する刑事罰
III 当事者の声(身体)(知的)(精神) 当事者の皆さま <厚労省配信期間終了につき今回は配信なし>	45 分	身体・知的・精神、それぞれの障害の被害者の気持ちを知ることによって障害者虐待防止・権利擁護の重要性を理解する。
IV 性的虐待の防止と対応 堀江 まゆみ 氏	30 分	性的虐待が起こる背景と通報における課題/性的虐待の事例と防止のための対応
V 身体拘束の廃止に向けて 厚生労働省	30 分	身体拘束の廃止に向けて/やむを得ず身体拘束を行うときの留意点
VI 通報の意義と通報後の対応 ～通報はすべての人を救う～ 曾根 直樹 氏	35 分	通報義務/立ち入り調査等の虚偽答弁に対する罰則/通報後の通報者の保護/虐待防止の責務と障害者や家族の立場の理解

厚生労働省 YouTube「自治体コース」講座内容(①コース)

課 目	時間	内 容
I-1 養護者による障害者虐待の防止と対応① 野村 政子 氏	30 分	障害者虐待の防止に向けた取組/障害者虐待の早期発見に向けた取組
I-2 養護者による障害者虐待の防止と対応② 谷口 泰司 氏	35 分 25 分	養護者による障害者虐待が発生した場合の対応(初動期対応、対応段階、終結段階)
II 障害者福祉施設従事者等による障害者虐待の防止と対応 遅塚 昭彦 氏	60 分	通報受理から事実確認、虐待判断、対応計画の策定と評価・終結の流れと各段階のポイント/施設等に対する指導助言のポイント
III 使用者による障害者虐待の防止と対応 厚生労働省	30 分	使用者による障害者虐待の現況と虐待防止に向けた対応
IV 事実確認調査における情報収集と面接手法(基礎編) 曾根 直樹 氏	20 分	事実確認調査における情報収集と面接手法/事例を通じた実践準備
V 事実確認調査における情報収集と面接手法(応用編) 曾根 直樹 氏	35 分 25 分	事実確認調査における情報収集と面接手法/事例を通じた実践準備

厚生労働省 YouTube「管理者・虐待防止責任者コース講義」講座内容(②コース)

課 目	時間	内 容
I 法人・事業所の理念と管理者の役割 松上 利男 氏	30 分	障害者虐待防止の意義、障害福祉サービス事業者としての使命、倫理・価値・権利擁護

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

Ⅱ－1 虐待を防止するための日常の取組について① 大平 眞太郎 氏	25 分	日々の事業所の支援の質の向上、情報共有や支援計画の見直し、コミュニケーション、運営オペレート
Ⅱ－2 虐待を防止するための日常の取組について② ～身体拘束・行動制限の廃止と支援の質の向上～ 仁田坂 和夫 氏	30 分	身体拘束廃止に向けた取組、やむを得ず身体拘束を行った際の手続きや検討について
Ⅲ 通報プロセスについて（通報した場合の準備含む） 岩上 洋一 氏	25 分	通報手順、事実確認から指導、処分までの流れ、事業所内の事実確認、事前準備等
Ⅳ 障害者虐待防止委員会、身体的拘束等の適正化委員会と虐待防止責任者の役割 厚生労働省	30 分	障害者虐待防止委員会、身体的拘束等の適正化委員会と虐待防止責任者の役割
Ⅴ 虐待防止委員会の実際の運営について （福）虹会の会 白井 直樹 氏 半田市障がい者相談支援センター 加藤 恵 氏	15 分 15 分	虐待防止委員会の運営の実践報告を通して、その重要性の理解

集合研修（講義・演習）（②コース）

障害者福祉施設の設置者及び管理者、サービス管理責任者等向け集合研修

時 間	内 容	講 師 等
9：20～ 9：50	受付	
9：50～10：00	開会・挨拶・オリエンテーション	
10:00～11：30 (90 分)	演習①虐待が疑われる事案への対応 獲得目標・ねらい - 映像とグループワークを通して虐待が疑われる事案への対応について理解する。 「通報はすべての人を救う」の趣旨を理解する。	障害者虐待防止権利擁護指導者 一般社団法人 田中権利擁護支援事務所 代表理事 田中 宏幸 氏 ファシリテーター 障害者虐待防止権利擁護指導者 社会福祉法人千年会 理事長 小林 大眞 氏 児童入所施設はまゆり学園 園 長 林 美幸 氏 相談支援事業所ホットミルク 管理者 成田 豊 氏 板柳町地域包括支援センター 社会福祉士 宇佐美 大輔 氏
12：15～14：15 (120 分)	演習②虐待防止委員会の活性化（前半） 虐待防止委員会の活性化（後半） 獲得目標・ねらい 事例とグループワークを通して虐待防止のための計画づくり、チェックとモニタリング、虐待が疑われる事案等への対応を、虐待防止委員会を活性させそのように進めていくかを学ぶ	障害者虐待防止権利擁護指導者 青森県精神障害者福祉事業者協会 会長 高橋 孝明 氏 ファシリテーター 障害者虐待防止権利擁護指導者 （上記 4 人）
14:15～15：45 (90 分)	演習③身体拘束適正化委員会の運営（前半） 身体拘束適正化委員会の運営（後半） 獲得目標・ねらい - 身体拘束を実施している事例を通して、同意等の手続きや身体拘束の 3 要件を確認する。 - 行動制限の緩和や解除に向けての動きを理解する	障害者虐待防止権利擁護指導者 社会福祉法人豊寿会 障がい者支援施設妙光園 施設長 大館 章子 氏 ファシリテーター 障害者虐待防止権利擁護指導者 （上記 4 人）

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

青森県版「基本講義」(全受講者) 内容(①②③ 全コース共通)

時 間	内 容	講師等
(5 分)	研修の趣旨説明	県社協
(60 分)	障害者虐待防止法の概要とポイント 障害者虐待防止法の概要 (内容) 障害者虐待防止総論／成立までの経過、 社会的意義／「障害者虐待」の定義／障害者福祉 施設従事者等による障害者虐待／虐待行為に対す る刑事罰	天野法律事務所 弁護士 天野 高志 氏
(60 分)	当事者の声 (内容) 被虐待者の気持ちを知ることによって障害者虐待 防止・権利擁護の重要性を理解する	障害者虐待防止権利擁護指導者 知的障害者福祉協会 会 長 中村 伸二 氏 発表者 中村 美智子 氏
(30 分)	関係機関の役割と連携 (1) 障害者虐待に係る労働局との連携 (使用者による障害者虐待の防止と対応)	青森労働局雇用環境・均等室 雇用環境改善・均等推進管理官 春藤 稔 氏
(30 分)	関係機関の役割と連携 (2) 障害者虐待に係る警察との連携	青森県警察本部生活安全部 人身安全対策課人身安全対策第二 係 課長補佐 戸嶋 美智子 氏
(30 分)	関係機関の役割と連携 (3) 児童(障害児等)虐待に係る児童相談所との連携	青森県健康福祉部こどもみらい課 子育て支援グループ 主幹 武田 真弓 氏

10 福祉関係団体との連携と支援

(1) 各種機関・団体との協働活動の推進

①各種会議・委員会への参画

関係機関・団体の各種事業や会議に積極的に参画し、連携・協働を推進した。

(2) 災害時要援護者支援活動の推進

①青森県災害福祉支援チーム員 登録時研修

開催日	会 場	参加者	内 容
令和 5 年 6 月 30 日(金)	アピオあおもり 大研修室 1	21 人	【講義】 ①災害福祉支援チームについて 災害福祉コーディネーター 鳴海 孝彦 氏 ②青森 DCAT と活動マニュアルについて 県社協地域福祉課 ③青森県における災害福祉支援について 青森県健康福祉部 健康福祉政策課 ④災害救助法や避難所等について 青森県健康福祉部 健康福祉政策課 【シミュレーション訓練】 ・シミュレーション訓練 1 災害福祉コーディネーター 鳴海 孝彦 氏 ほかファシリテーター
7 月 1 日(土)			【シミュレーション訓練】 ・シミュレーション訓練 2、3 災害福祉コーディネーター 鳴海 孝彦 氏 ほかファシリテーター

②スキルアップ研修Ⅰ＜中止＞

③スキルアップ研修Ⅱ

岩手県災害福祉広域支援推進機構主催の「令和 5 年度 岩手県災害派遣福祉チーム員 スキルアップ研修 2」にチーム員 4 人を派遣した。

開催日	会 場	参加者	内 容
令和 5 年 11 月 10 日(金)	岩手県水産会館 5 階 大会議室	参加者 7 人 (岩手 3 人 青森 4 人)	【演習】 ○活動シミュレーション～模擬訓練【応用編】 ・事例を用いた模擬訓練 初動～引継ぎ～ 東北福祉大学 教授 都築 光一 氏 ほかファシリテーター
11 月 11 日(土)		事務局 3 人 (岩手 2 人 青森 1 人)	【演習】 ○活動シミュレーションⅠ、Ⅱ ・事例を用いた模擬訓練 東北福祉大学 教授 都築 光一 氏 ほかファシリテーター
11 月 12 日(日)	MALIOS 18 階 188 会議室	行政 2 人 (岩手 1 人 青森 1 人)	【演習】 ○活動シミュレーションⅠ、Ⅱ ・事例を用いた模擬訓練 東北福祉大学 教授 都築 光一 氏 ほかファシリテーター

④青森県総合防災訓練への参加

開催日	会 場	派遣者	内 容
令和 5 年 8 月 25 日(金)	十和田市 総合体育センタ ー	4 人	【派遣チーム員】 ①社会福祉法人みやぎ会 別宮 貴仁 氏 ②社会福祉法人至誠会 太田 祐 氏 ③社会福祉法人楽晴会 種市 博幸 氏 ④ ” 中平 智弘 氏 【活動内容】

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

			①災害対策本部における避難所等に関する情報収集 ②避難所の代表者等への活動周知 ③避難所における要配慮者のスクリーニング、ニーズ把握、相談対応等 ④福祉避難所への移送訓練
--	--	--	--

⑤災害福祉支援チーム活動に係るチーム員の管理

青森県災害福祉支援チーム員登録者所属の 67 法人へ通知し、登録状況の確認を実施した。

⑥災害支援体制構築連絡会議

青森県健康福祉部主催の「令和 5 年度青森県保健医療調整本部等関係職員研修会」への派遣により実施した。

開催日	開催方法	内 容
令和 5 年 7 月 14 日(金)	オンライン会議	【挨拶】 青森県健康福祉部 健康福祉政策課 課長 工藤 光 氏 【第 1 部 青森県における大規模災害時の体制について】 「青森県における大規模災害時の保健医療活動について」 青森県健康福祉部 健康福祉政策課 主査 藤巻 嵩 氏 【第 2 部 保険医療における各支援チームの活動について】 「近年災害派遣医療チーム(DMAT)が対応した災害の経験から 得られる保健医療調整本部設置の重要性について」 青森県災害医療対策特別顧問 青森県立中央病院 災害医療管理監 小笠原 賢 氏 「災害派遣精神医療チーム(DPAT)の活動について」 青森県健康福祉部 障害福祉課 総括主幹 鹿内 亮一 氏 「災害派遣福祉チーム(DCAT)の活動について」 県社協 地域福祉課 【第 3 部 感染症下における災害対応について】 秋田大学大学院医学系研究科 救急集中治療医学講座 准教授 奥山 学 氏

⑦青森 DCAT(災害派遣福祉チーム)の広報啓発

ア) チラシの作成

チラシを作成し、関係団体へ送付した。

イ) 青森 DCAT(災害派遣福祉チーム)出前講座

実施件数：0 件

⑧青森県災害福祉支援チーム派遣＜追加＞

令和 6 年能登半島地震の発生に伴い、青森県知事からの要請に基づき石川県七尾市、志賀町へ下記の通りチームを派遣した。

○石川県七尾市 令和 6 年 1 月 19 日(金)～2 月 5 日(月)

派遣クール	派遣日程(5 泊 6 日)	派遣人数	備考
1 クール	1 月 19 日～1 月 24 日	3 人	県社協職員 2 人帯同
2 クール	1 月 22 日～1 月 27 日	3 人	
3 クール	1 月 25 日～1 月 30 日	3 人	
4 クール	1 月 28 日～2 月 2 日	3 人	
5 クール	1 月 31 日～2 月 5 日	3 人	
計 5 クール	計 18 日間(移動日含む)	計 15 人	
【活動場所】 石川県七尾市御禊地区コミュニティセンター避難所 【活動概要】 ・避難所環境の整備 ・避難所、避難者アセスメント ・避難所運営者、災害支援団体、行政等との情報共有及び調整、連携 ・他県チームと合同での他避難所巡回 ・子どもの遊び場の提供 ・その他、避難所内活動の補助(体操、食事配膳等)			

○石川県志賀町 令和 6 年 2 月 29 日(木)～3 月 16 日(土)

派遣クール	派遣日程(4 泊 5 日)	派遣人数	備考
1 クール	2 月 29 日～3 月 4 日	2 人	県職員 1 人帯同

2 クール	3 月 3 日～3 月 7 日	2 人	
3 クール	3 月 6 日～3 月 10 日	2 人	
4 クール	3 月 9 日～3 月 13 日	2 人	
5 クール	3 月 12 日～3 月 16 日	2 人	災害福祉コーディネーター 1 人帯同
計 5 クール	計 17 日間(移動日含む)	計 10 人	
【活動場所】 石川県志賀町富来活性化センター避難所 【活動概要】 ・避難所環境の整備 ・避難所、避難者アセスメント ・相談窓口対応 ・避難所運営者、災害支援団体、行政等との情報共有及び調整、連携 ・他県チームと合同での他避難所巡回 ・その他、避難所内活動の補助（体操、食事配膳等）			

(3) 福祉関係団体の事務受託

①青森県民生委員児童委員協議会

【役員会等】

会議名		開催日	会 場	出席者
総 会		令和 5 年 5 月 29 日（月）	青森市ウエディングプラザアラスカ「ダイヤモンド」	141 人
正副会長 会議	第 1 回	令和 6 年 3 月 15 日（金）	青森市 県民福祉プラザ「県社協議室」	5 人
役員会	第 1 回	令和 5 年 4 月 28 日（金）	青森市 県民福祉プラザ 2 階「多目的室 2A」	14 人
	第 2 回	12 月 1 日（金）	青森市 県民福祉プラザ「多目的室 4B」	16 人
	第 3 回	令和 6 年 3 月 15 日（金）	青森市 県民福祉プラザ「多目的室 4B」	18 人
監査会	第 1 回	令和 5 年 4 月 14 日（金）	青森市 県民福祉プラザ 2 階「県社協議室」	4 人
	第 2 回	11 月 8 日（水）	青森市 県民福祉プラザ 2 階「県社協議室」	4 人

【研修会】

研修会名	開催日	会 場	参加者
単位民児協会長 研修会 (県社協と共催)	令和 5 年 5 月 29 日 (月)	青森市 ウエディングプラザアラスカ「ダイヤモンド」	138 人
	・行政説明Ⅰ「地域福祉に関する施策と民生委員活動の動向」 ・行政説明Ⅱ「県内の児童問題の実態と児童委員活動について」 ・講 演 「“地域のつむぎ役” となろう！」 講 師 合同会社泉恵造研修企画工房 代表社員 泉 恵造 氏		
中堅民生委員児 童委員研修会 (県社協と共催)	令和 5 年 7 月 13 日 (木)	青森市 青森県総合社会教育センター	120 人
	・講 演「災害に備える地域づくりと民生委員・児童委員活動」 講 師 オフィス園崎 代表 園 崎 秀 治 氏 ・活動報告「災害時における避難行動要援護者の支援について」 報 告 者 弘前市民生委員児童委員協議会 水木 ちる子 氏 むつ市民生委員児童委員協議会 船木 敏夫 氏 ・グループ討議 「災害に強い地域づくりと民生委員児童委員活動」		
児童委員・主任児 童委員研修会 (県社協と共催)	令和 5 年 10 月 4 日 (水)	青森市 ホテル青森「孔雀の間」	127 人
	・説明「児童福祉の現状と児童委員制度について」 講師 県こどもみらい課 子育て支援グループ		

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

	・講演「子どもの変化」への理解と支援～夢を育てる地域の力～ 講師 弘前市立第三中学校 校長 小笠原 恭史 氏 ・グループ討議テーマ「課題を抱える子どもの支援について」	
相談技法研修会 (県社協と共催)	令和6年1月29日(月)～3月1日(金) オンデマンド配信 ・講演「相談援助の基礎」 講師 八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科 学科長 教授 吉田 守実 氏 ・事例研究 コーディネーター 八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科 学科長 教授 吉田 守実 氏 ・事例発表者 ①ひとり親家庭の支援に関すること 五所川原市民生委員児童委員連絡協議会 鈴木 優美子 氏 ②生活困窮者支援に関すること 八戸市生活自立相談支援センター 山田 忍 氏	369 人
新任民生委員児童委員研修会 (県社協と共催)	令和6年1月9日(火)～2月29日(木) オンデマンド配信 ・説明Ⅰ「民生委員制度に関する事項」 県健康福祉政策課 地域福祉推進グループ 主事 作田 優奈 氏 ・説明Ⅱ「児童委員、主任児童委員に関する事項及び児童相談所の事業概要について」 県こどもみらい課 子育て支援グループ 主事 山本 和輔 氏 ・説明Ⅲ「社会福祉協議会と民生委員活動について」 県社協地域福祉課 ・体験発表 ①中泊町民生委員児童委員協議会 下山 志津子 氏 ②青森市民生委員児童委員協議会 小野 康一郎 氏	156 人
役員・部会等委員 合同研修会	令和6年3月1日(金) 青森市ホテル青森「善知鳥の間」他 ・報告「災害時の福祉支援」～それぞれの活動からできること～ 青森県社会福祉協議会 地域福祉課 ・講義・演習「災害発生時の基礎知識」 ～再確認！わたしの・わが家の防災対策～ くらしの学びサポートオフィス Human Being 代表 菅原 清香 氏	52 人
北海道・東北ブ ロック道県・指定都 市民児協会長等 会議	令和5年6月22日(木)～23日(金) 青森市ホテル青森「善知鳥の間」他 ・基調報告 全社協民生部 熊坂 淳 氏 ・分散会 (1) 民児協の新任委員等に対する活動支援について (2) 子育て・子育てを支える地域づくりのための民児協および 児童委員・主任児童委員の取り組みについて (3) その他 ・全体会 「一斉改選を終えて～新たななりて確保への取り組み～につい て」	62 人

②青森県社会福祉法人経営者協議会

【役員会】

会 議 名	期 日	会 場	出席者
総会	令和5年5月19日(金)	アラスカ	106 法人
第1回正副会長会議	令和5年4月24日(月)	アラスカ	5 人
第2回正副会長会議	令和5年12月5日(火)	アラスカ	5 人
第3回正副会長会議	令和6年3月19日(火)	アラスカ	6 人
第1回役員会	令和5年4月24日(月)	アラスカ	16 人
第2回役員会	令和5年12月5日(火)	アラスカ	18 人
第3回役員会	令和6年3月19日(火)	アラスカ	18 人

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

経営青年会役員会	令和5年5月19日(金)	アラスカ	7人
経営青年会総会	令和5年5月19日(金)	アラスカ	27人
監査会	令和5年4月12日(水)	県民福祉プラザ	3人

【障害福祉委員会】

会議名	期 日	会 場	出席者
第1回委員会	令和5年7月11日(火)	県民福祉プラザ	11人

【児童福祉委員会】

会議名	期 日	会 場	出席者
第1回委員会	令和5年7月11日(火)	県民福祉プラザ	10人

【老人福祉委員会】

会議名	期 日	会 場	出席者
第1回委員会	令和5年7月12日(水)	県民福祉プラザ	11人

【研修会等】

研 修 名	期 日	会 場	参加者
社会福祉法人理事長・役員研修会	令和5年5月19日(金)	アラスカ	53 人
	・講演Ⅰ 「災害福祉支援活動の全体像と、災害福祉支援ネットワーク中央センター事業について」 講師 社会福祉法人全国社会福祉協議会 法人振興部 副部長 大元 格彦 氏 ・講演Ⅱ 「全国経営協の災害支援特命チームの取組み・災害福祉支援ネットワーク中央センター事業についてーその他、香川県における地域公益活動の実践と課題についてー」 講師 全国社会福祉法人経営者協議会 災害支援特命チームリーダー 社会福祉法人サンシャイン会 理事長 川西 基雄 氏		
令和5年度 都道府県経営協セミナー（前期）	令和5年8月18日(金)	アラスカ	63 人
	・講義 「どこもかしこも人がいなくなる!どうする社福」 講師 全国社会福祉法人経営者協議会 PR 戦略特別委員会委員長 全国社会福祉法人経営者協議会 制度・政策委員会 委員 社会福祉法人海望福祉会 総合施設長 大崎 雅子 氏 【全国青年会入会促進 PR】 「新体制発足!これからの全国青年会が目指すこと」 全国社会福祉法人経営青年会(動画配信) 青森県社会福祉法人経営青年会 会長 小田嶋 悟 説明 「物価高騰・報酬改定を乗り越え、持続可能な経営を支えるために～全国経営協の取組」 説明者 全国社会福祉法人経営者協議会 事務局 社会福祉法人全国社会福祉協議会 法人振興部 参事 福野 真美 氏 事業説明 「日本財団支援事業のご紹介」 説明者 公益財団法人日本財団 ドネーション事業部 ファンドレイジングチーム リーダー 佐藤 優至 氏		
令和5年度 災害福祉支援体制構築助成事業による BCP・BCM 策定	令和5年11月13日(月)	ホテル青森	66 人
	・講義 「事業継続計画(BCP)・事業継続マネジメント' (BCM)を学ぶ」 ～基本の活用とその応用～ ・演習 「事業継続計画(BCP)・事業継続マネジメント' (BCM)を学ぶ」 ～実際に学ぶ～		

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

研修会・応用編	① つなげる訓練・機動的管理体制への確認(グループワーク) ② BCP から BCM へ向けた実践的支援(実効性の向上) 講師 プリンシプルコンサルティング BCP 研究所 所長 林田 朋之 氏		
令和5年度 県経営協 AI(人工知能)研修会	令和5年12月18日(月)	アラスカ・オンラインによるハイブリット	23 人
	・講義 1 「これからはじめる 福祉職場のための AI セミナー」 ・講義 2 「文字起こしから契約までオールインワンで提供～AI 議事録取れる君へのご紹介」 講師 株式会社 ALM(エーエルエム) 営業部 足立 圭透 氏		
令和5年度 都道府県経営協セミナー(後期)	令和6年1月16日(火)	アラスカ	50 人
	・講義 1 「どうなる報酬改定と、子ども未来戦略」 講師 全国社会福祉法人経営者協議会制度・政策委員 全国社会福祉法人経営者協議会 高齢者福祉事業経営委員会 委員長 社会福祉法人暁谷会 理事長 柿本 貴之 氏 ・講義 2 「まずは経営協ドック診断を!」 講師 全国社会福祉法人経営者協議会 事務局 社会福祉法人全国社会福祉協議会 部員 猪瀬 達也 氏 【全国青年会入会促進 PR】 「タテとヨコつながり目指す構築を～経営協 磯会長と青年会村木会長の緊急会談」(動画上映) 入会 PR 説明 説明者 青森県社会福祉法人経営青年会 会長 小田嶋 悟 氏 ・説明 「こうなる処遇改善」 説明者 全国社会福祉法人経営者協議会 事務局 社会福祉法人全国社会福祉協議会 部員 猪瀬 達也 氏		
令和5年度 青森県経営協セミナー	令和6年2月5日(月)	アップルパレス 青森	65 人
	・講演 1 「人口減少局面における社会福祉法人経営～地域福祉をまもるための経営戦略を考える～」 講師 全国社会福祉法人経営者協議会 制度・政策委員会 委員長 宮田 裕司 氏 ・講演 2 「人口減少に負けない!地域に根差し、地域を巻き込んだ取組とは」 講師 社会福祉法人奥州いさわ会 法人本部事務局 次長 小原 守 氏		

【深浦町ネットワーク会議】

会 議 名	期 日	会 場	出席者
第1回深浦町ネットワーク会議	令和5年9月15日(金)	深浦町フィットネスプラザ「ゆとり」	12 人

③青森県地域包括・在宅介護支援センター協議会

【役員会等】

会 議 名	期 日	会 場	出席者
通常総会	令和5年6月15日(木)	ウェディングプラザアラスカ「エメラルド」	35 センター (委任状 51 センター)
監査会	令和5年4月11日(火)	県民福祉プラザ	7 人
正副会長・委員長会議	令和5年4月11日(火)	県民福祉プラザ	6 人

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

	令和5年6月15日(木)	ウェディングプラザアラスカ「ガーネット」	6人
	令和6年3月25日(月)	県民福祉プラザ	5人
役員会	令和5年4月11日(火)	県民福祉プラザ	19人
	令和6年3月25日(月)	県民福祉プラザ	20人
青森県地域包括支援センター職員研修打ち合わせ会	令和5年7月13日(木)	県民福祉プラザ	4人
青森県介護予防支援従事者研修講師打ち合わせ会	令和5年8月3日(木)	県民福祉プラザ及びオンライン会議	11人
青森県介護予防支援従事者研修講師打ち合わせ会	令和5年12月19日(火)	県民福祉プラザ及びオンライン会議	11人

【研修会等】

研 修 名	期 日	会 場	出席者
会員研修会	令和5年6月15日(木)	ウェディングプラザアラスカ「エメラルド」	51人
	・行政説明「青森県の高齢者施策について」 青森県健康福祉部高齢福祉保険課 高齢者支援グループ グループマネージャー 築田 陽子 氏 ・講演「今後の地域包括・在宅介護支援センターのあり方」 ～地域包括ケアシステムの構築に向けて～ 全国地域包括・在宅介護支援センター協議会 会長 青木 佳之 氏		
地域包括支援センター職員研修(受託事業)	令和5年12月12日(火)～13日(水)	ウェディングプラザアラスカ「サファイア」	58人 (修了者55人)
	12月12日(火) ① 講 義 「地域包括支援センターの現状と課題」 青森県健康福祉部高齢福祉保険課 高齢者支援グループ 主幹 福沢 奈央子 氏 ② 講 義 「どうする空き家～地域での有効活用を考えよう～」 青森県県土整備部建築住宅課 住宅企画グループ 主幹 石岡 伸吉 氏・技師 新山 将基 氏 ③ 講義・演習 「ヤングケアラーをどう支援するのか」 弘前大学大学院教育学研究科 教職実践専攻(教職大学院) 教授 吉田 美穂 氏 12月13日(水) ① 講義・演習 「自殺対策～気づく、つながる、地域で支えるいのち～」 MHSW藤林事務所 代表 藤林 正雄 氏 <ファシリテーター> 公益社団法人 青森県介護支援専門員協会 副会長 木谷 牧子 氏 特定非営利活動法人 ほほえみの会 理事長 藤林 百合子 氏 ② 講義・演習 「成年後見制度の利用事例について」 あおぞら成年後見相談所 所長 碓井 里紗 氏 <ファシリテーター> 公益社団法人 青森県介護支援専門員協会 副会長 木谷 牧子 氏 青森市地域包括支援センターみちのく 所長 佐々木 央 氏		
介護予防支援従事者研修(受託事業)	令和6年2月7日(水)	オンライン開催	163人 (修了者162人)
	① 講義・演習 「介護予防サービス支援計画作成の実際」 <講 師> 青森慈恵会病院 地域医療介護連携室 村岡 真由美 氏		

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

	<ファシリテーター> ケアプランセンター たまゆら 橘 清子 氏 弘前市第三地域包括支援センター 土岐 浩一郎 氏 ヘルパーステーションさくらの樹 梅村 朋宏 氏 青森市南地域包括支援センター 高杉 紀子 氏 青森市地域包括支援センターすずかけ 田中 愛 氏 居宅介護支援事業所にここプラザ六戸 工藤 千亜姫 氏 青森市地域包括支援センターみちのく 佐々木 央 氏 板柳町地域包括支援センター 葛西 祐子 氏
--	--

【ブロック会議】

会 議 名	期 日	会 場	出席者
第1回東北ブロック在介協会 会長等合同会議	令和5年8月23日(水)	オンライン会議	15人
第2回東北ブロック在介協会 会長等合同会議	令和5年11月2日(木)	オンライン会議	15人
第3回東北ブロック在介協会 会長等合同会議	令和6年1月22日(月)	オンライン会議	14人

④青森県ホームヘルパー連絡協議会

【役員会等】

会 議 名	期 日	会 場	出席者
定例総会	令和5年4月	新型コロナウイルス感染拡大 防止のため書面で開催	182件 (書面参加)
理事会	令和5年4月13日(木)	県民福祉プラザ	7人
	令和5年7月18日(火)	県民福祉プラザ	6人
	令和6年3月6日(水)	県民福祉プラザ	6人
監査会	令和5年4月13日(木)	県民福祉プラザ	5人
表彰審査委員会	令和5年4月13日(木)	県民福祉プラザ	5人

【研修会】

研 修 名	期 日	会 場	参加者
初任者研修会	令和5年6月16日(金)	青森県総合社会教育センター	20人
	講義 「あなたはひとりじゃない～同じ介護の現場で働く悩みを共有しよう～」 グループワーク 「現場で困ったことをみんなで話し合おう」 講師 一般社団法人権利擁護あおい森ねっと 理事 鹿内 葵 氏		
中級者研修会	令和5年9月5日(火)	アピオあおもり	24人
	講義 「アセスメントを基にした個別援助を学ぼう！」 演習 「事例をもとにみんなで考えよう！」 講師 八戸学院大学短期大学部 介護福祉学科 教授 小川 あゆみ 氏		
上級者研修会	令和5年11月16日(木)	青森県総合社会教育センター	30人
	講義 「サービス提供責任者が行う業務の振り返りと負担軽減のコツ」 講義 Q&A 「お悩みにお答えし、一緒に考えます！」 講師 合同会社くらしラボ 代表 橘 友博 氏		

⑤青森県里親連合会

【役員会等】

会議名	期 日	会 場	出席者
総 会	令和5年4月30日（日）	青森市・県民福祉プラザ	38人
役員会	令和5年4月11日（月）	青森市・県民福祉プラザ	9人
	令和5年5月24日（水）	青森市・県民福祉プラザ	9人
監査会	令和5年4月11日（月）	青森市・県民福祉プラザ	4人
表彰選考委員会	令和5年4月11日（月）	青森市・県民福祉プラザ	4人

【研修会】

研修名	期 日	会 場	参加者
会員研修会 （子育て支援フォーラム）	令和5年4月30日（日）	青森市・県民福祉プラザ	46人
	フォーラム 「子どものこころの発達とそれを阻害するもの」 講師 子ども虹情報研修センター 研究部長 増沢 高 氏		
東北地区里親研修会	令和5年7月29日（土）	青森市・県民福祉プラザ	83人
	式典 講演 『「真に」子どもにやさしい国をめざして』 家庭養育による健全な発育確保こそ子どもの権利 元厚生労働大臣 塩崎 恭久 氏		
里親家族交流会	令和5年10月21日（土）	青森市・県民福祉プラザ	25人
	サイエンスショー（実験）・ワークショップ（工作） 講師 三沢航空科学館		

【青森県里親支援機関事業】

事業名	期 日	会 場	参加者
里親家庭への訪問支援事業	令和5年4月～令和5年9月	青森県内各里親家庭訪問等（5回）	
里親支援員研修会	令和5年11月11日（土）	青森市県民福祉プラザ	11人
	「イライラしない子育て講座」 講師 青森県里親連合会 監事 蒔田 登紫行 氏		
相互交流事業	各地区における相互交流に必要な活動を支援するため、東青里親会、県南里親会、中弘前南黒里親会、西北五里親会、下北里親会に交付金を交付		

⑥青森県児童館連絡協議会

【役員会等】

会 議 名	期 日	会 場	出 席 者
総会	令和5年5月19日（金）	県民福祉プラザ	30児童館 （80館中）
理事会	令和5年4月19日（水）	県民福祉プラザ	13人
	令和6年3月15日（金）		7人
監査会	令和5年4月19日（水）	県民福祉プラザ	3人
児童厚生員部会	令和5年4月19日（水）	県民福祉プラザ	12人
	令和5年7月20日（木）		10人
	令和6年2月15日（木）		12人
表彰選考委員会	令和5年4月19日（水）	県民福祉プラザ	5人

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

三役会	令和5年7月20日(木) 令和6年2月15日(木)	県民福祉プラザ	3人 4人
-----	------------------------------	---------	----------

【研修会】

会 議 名	期 日	会 場	出席者
青森県児童館連絡協議会児童館館長・職員研修会	令和5年5月19日(金)	県民福祉プラザ	37人
	会場参加形式 講演「HAPPYWORKING 仕事を楽しむためのルーティーン&コーチング」 講師 NPO 法人 RYOMA 塾代表理事・サードプロデュース代表 メンタルプロコーチ 津村 柁広 氏		
第1回児童厚生二級指導員研修会	令和5年10月3日(火)	青森県総合社会教育センター	21人
	会場参加及びオンライン形式 講義「配慮を要する児童の対応」 講師 青森中央短期大学非常勤講師 松浦 淳 氏 講義(オンライン)「安全指導・安全管理」 講師 新潟県立こども自然王国 係長 梅田 貴仁 氏 実技「ゲーム・運動遊び」 講師 青森県レクリエーション協会 塩谷 彰宏 氏		
第2回児童厚生二級指導員研修会	令和5年10月4日(水)	青森県総合社会教育センター	21人
	会場参加及びオンライン形式 講義「児童の発達理論」 講師 青森明の星短期大学 子ども福祉未来学科准教授 高橋 多恵子 氏 講義と演習(オンライン)「個別援助活動」 講師 八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科教授 野口 和也 氏 実技「表現活動(造形)」 講師 八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科准教授 池田 拓馬 氏		
児童館職員研修会	令和5年11月7日(火)	アピオあおもり	74人
	会場参加及びオンライン形式 講義「気になる子どもへの支援」 講師 東北福祉大学総合福祉学部福祉心理学科 講師 柴田 理瑛 氏 実践紹介1「作業療法士による放課後の場への訪問で分かってきたこと」 講師 青森中央短期大学 非常勤講師 松浦 淳 氏 実践紹介2「さまざまな子どもたちが通う児童館・放課後児童クラブができること」 講師 宮城県名取市下増田児童センター 館長 渡邊 由貴 氏 演習「気になる子どもの放課後支援について考える」		

	ファシリテーター 松浦 淳 氏 助言者 柴田理瑛氏・渡邊由貴氏・ 岩手大学教育学部 准教授 深作 拓郎 氏	
--	---	--

⑦青森県知的障害者福祉協会（青森県知的障害児者生活サポート協会の運営も含む）

【役員会等】

会議名	期 日	会 場	出席者
監査会	令和5年4月21日(金)	県民福祉プラザ	3人
役員会	令和5年4月13日(木)	オンライン開催	15人
	令和5年6月8日(木)	オンライン開催	14人
	令和5年8月7日(月)	オンライン開催	7人
	令和5年8月8日(火)	オンライン開催	5人
	令和6年3月25日(月)	オンライン開催	8人
正副会長会議	令和5年6月1日(木)	オンライン開催	3人
	令和5年8月3日(木)	オンライン開催	3人
	令和6年3月14日(木)	オンライン開催	3人
総 会	令和5年5月9日(火)	アピオあおもりイベントホール他	48人 (委任状51人)
支援スタッフ部会	令和5年6月12日(月)	オンライン・集合(県民福祉プラザ)	12人
	令和5年9月20日(水)	オンライン・集合(県民福祉プラザ)	10人
	令和5年12月5日(火)	オンライン(行事委員会のみ開催)	6人
	令和6年2月16日(金)	オンライン・集合(県民福祉プラザ)	9人
福祉教育開発WT会議	令和5年8月25日(金)	県民福祉プラザ	3人
	令和5年10月11日(水)	県民福祉プラザ	3人
	令和5年11月24日(金)	県民福祉プラザ	3人
	令和6年1月9日(火)	県民福祉プラザ(研修委員3人参加)	6人
人権倫理委員会	令和5年7月25日(火)	オンライン開催	5人
AIG&JIC&サポート協会 三者会議	令和5年9月26日(火)	オンライン開催	9人
部会協議会	令和6年2月29日(木)	アピオあおもり(児童・障害者・日中・相談の4部会)	85人

【全国知的障害児者生活サポート協会】

2023年度定時社員総会 令和5年5月30日(火) 会場：大田区産業プラザ
中村理事長が出席

【東北地区知的障害者福祉協会】

令和5年度定例総会・施設長等連絡会の青森県開催 令和5年6月19日(月)～6月20日(火)
会場：ホテル青森 参加：105人(委任状355人)

【研修会等】

①人権倫理研修会 令和6年10月17日(火) アピオあおもり 31人参加

講師：青森県教育委員会スクールカウンセラー 山田 まり子 氏

テーマ：「スクールカウンセラーを通して障害のある方の権利擁護を考える」

②生産活動・就労支援部会職員研修会(青森障害者就業・生活支援センターすこやか共催)

講師：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構青森支部 青森障害者職業センター

主任障害者職業カウンセラー 西脇 昌宏 氏

基礎研修：令和6年1月12日(金) アピオあおもり 35人参加

実践研修：令和6年1月17日(水) 社会福祉法人ほほえみカリフラワー 9人参加

③青森県手をつなぐ育成会 合同研修会 令和6年2月15日(木) オンライン参加68人
会場参加64人

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

講師：公益社団法人秋田県手をつなぐ育成会 代表理事 田中 勉 氏

テーマ：「親なき後も地域で暮らし続けるために」

④職員研修会 令和6年2月29日（木） アピオあおもり 49人参加

テーマ (1)障がい福祉の変遷 (2)対人援助の基礎① (3)対人援助の基礎②

【その他】

- ・物価高騰に係る事業者団体からの意見聴取（青森県からの要請）への対応
 - ①協会会員事業所にアンケート調査を実施 令和5年7月31日（月）～8月4日（金）
56 会員より回答あり
 - ②青森県健康福祉部障害福祉課にアンケート調査結果を提出 令和5年8月8日（火）
 - ③県障害福祉課によるヒアリングに中村会長・菊池副会長が参加 令和5年8月17日（木）
- ・物価、賃金高騰対策に関する要望書を県内選出の与党国会議員4事務所に提出 令和5年8月22日（火）
- ・青森県知事の訪問 令和5年9月13日（水）
青森県社会福祉協議会と各種別団体代表者5人が宮下知事を訪問。
- ・第9回全国小・中学生障がい福祉ふれあい作文コンクール（主催：公益財団法人日本知的障害者福祉協会）
県内の応募総数は21作品（団体賞2校受賞）
- ・アールブリュット作品展2023（主催：一般社団法人全国知的障害児者生活サポート協会）
県内の応募総数は10作品、入賞なし（応募作品は協会HPに掲示中）
- ・令和6年度報酬改定への対応
 - ①会員事業所に対して報酬改定等に関するアンケートを実施（令和6年1月）
 - ②会員からの要望を東北地区知的障害者福祉協会政策委員に報告 令和6年2月22日（木）
- ・令和6年能登半島地震災害への対応について
 - ・義援金については2月末までに30施設・法人より計757,989円を日本知的障害者福祉協会へ送金。
 - ・障害者施設に対する職員派遣要請については、3月までに5会員より派遣登録申請を受付けし、青森県に報告。

1.1 社会福祉法人による社会貢献活動の推進

(1)「青森しあわせネットワーク」事業の推進

①活動の運営

ア) 推進会議

- 期 日 令和5年12月11日(月)
- 場 所 県民福祉プラザ2階 多目的室2B(オンライン併催)
- 参加者 48人
- 内 容 (1)令和4年度の事業実施状況について
(2)令和5年度の事業について
- 県社協 社会貢献活動推進室
- (3)事例紹介「実際の相談支援の流れと対応について」
- ・社会福祉法人和幸園
 - ・社会福祉法人みちのく福祉会
 - ・六戸町社協

イ) 運営委員会

- 期 日 令和5年10月4日(水)
- 会 場 県民福祉プラザ2階 多目的室2A
- 参加者 委員7人
- 内 容 (1)令和4年度事業報告について
(2)令和5年度事業計画について

ウ) 広報啓発

○活動説明会(オンライン)

- 期 日 令和5年5月23日(火)
- 参加者 55法人
- 内 容 (1)令和4年度青森しあわせネットワーク事業実施状況について
(2)令和5年度の新たな取組や活動の予定について

②基本的な社会貢献活動の展開

ア) 総合相談(トータルサポート)

○コミュニティソーシャルワーカー特別研修

- 期 日 令和6年3月12日(火)
- 会 場 県民福祉プラザ4階 大研修室
- 参加者 16人
- 内 容 講義「これからの地域生活支援とコミュニティソーシャルワーク」
ワークショップⅠ「CSWの視点による個別課題アセスメント」
ワークショップⅡ「CSWの視点による地域アセスメント」
ワークショップⅢ「CSWの視点による社会資源開発プランニング」
- 講 師 菱沼 幹男 氏
- 日本社会事業大学 社会福祉学部福祉計画学科教授
- NPO法人 日本地域福祉研究所理事

イ) 経済的援助(ライフサポート)

- 535世帯に対し、7,153,616円分の支援を実施
(2017年～合計)2,122世帯に対し、40,811,537円分

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

ウ) 食糧等の備蓄・提供（フードサポート）

各法人で、あおもりフードバンク等の寄付品を活用して食料支援を行った。

エ) 就労・社会参加活動の提供（ワークサポート）

新規10人が7事業所で148日間の体験を実施

（2019年～合計）68人が929日間の体験を実施

③保証人問題解決プロジェクト（居住支援法人の活動）

21人と契約（延べ89人と契約）

（2）みんなで青森を豊かにする取組

①「みんなの居場所」プロジェクト

ア) 「みんなの居場所」ネットワークミーティング

期 日 令和5年6月27日（火）

場 所 観光物産館アスパム6階「八甲田」

参加者 55人

内 容 ・みんなの居場所の開設説明

県社協

・パネルディスカッション：「居場所開設」「運営・資金集め」

青森県立保健大学

教 授 反町吉秀氏

弘前大学

教 授 李永俊氏

八戸学院大学

准教授 佐藤千恵子氏

こども食堂・じょいん（青森市）

浅理寿子氏

スマイルサンこども食堂（弘前市）

毛利シゲ子氏

学校法人鳳明学園 夕暮れcafe（八戸市）

鳥海亜里沙氏

チームなないろ憩いの広場ここまる（五所川原市）

川村沙織氏

社会福祉法人桜木会よしのこども園まるっと。（むつ市）

真手めぐみ氏

・各種助成金等のご案内とその他支援の仕組み

県社協

イ) みんなの「居場所」学んで役立つ！制度学習会

期 日 令和5年9月1日（金）

場 所 青森県観光物産館アスパム6階「八甲田」

参加者 41人

内 容 ・説明「食品衛生管理等について」

青森県健康福祉部 保健衛生課 食品衛生グループ

総括主幹 石井 昌史 氏

・説明「生活保護制度について」

青森県健康福祉部 健康福祉政策課 保護・援護グループ

主幹 阪崎 新一 氏

・講義「保護者と子どもを取り巻く貧困」

青森明の星短期大学 子ども福祉未来学科

学科長 最上 和幸 氏

ウ) HANGOUT FESTA～食でつながるフェスタ～

期 日 令和5年11月5日（日）

場 所 八戸まちなか広場「マチニワ」

来場者 1,000人

内 容 子ども食堂のランチ無料提供

トークライブ①「八戸の子ども食堂と語ろう」

講演「あなたにもできる。支援のカタチ」

全国食支援活動協力会

トークライブ②「こどもの居場所を地域の防災拠点に」

「おすそわけ便」～誰でも無料のフードパントリー～

エ)「みんなの居場所」スタートアップ事業

「居場所」を地域に広めようとする13ヶ所に助成等を実施

②あおもり「こどもの居場所」ネットワーク

ア) こども食堂体験会 IN 黒石（行政・社協職員対象）

期 日 令和5年7月7日（金）11時～12時30分

場 所 みんなの勉強室・食堂～くらら～（黒石市元町7旧佐藤酒造（初駒））

参加者 16人

イ) こどもの居場所づくりコーディネーター養成講座（3日目は見学実習）

年 月	講座科目（内容）	講 師
令和5年9月26日 （火） （1日目） 場所：アピオあおもり	オリエンテーション	県社協
	こどもの貧困問題の理解	青森県こどもみらい課
	どんな子どもにも必要な地域の居場所 （サードプレイス）	青森県立保健大学 教授 反町 吉秀 氏
	広がり続ける青森の子ども食堂	八戸学院大学 准教授 佐藤 千恵子 氏
	共に生きる喜び ～人々を支え、コミュニティをつなぐ～	弘前大学 教授 李 永俊 氏
	児童養護施設の現場について	青森県児童養護施設協議会 会長 後藤 辰也 氏
	学校教育の現場について	青森県教育委員会
令和5年10月18日 （水） （2日目） 場所：県民福祉プラザ	保育園・認定こども園の現場について	青森県保育連合会 会長 渡邊 建道 氏
	食品衛生法等の取扱いについて	青森県保健衛生課
	【講義・演習】何のために「こどもの居場所」はある？	認定NPO法人全国こども食堂 支援センター・むすびえ
	【演習】研修テーマと見学・実習計画	県社協
令和6年1月18日 （木） （4日目） 場所：県民福祉プラザ	各種助成金の仕組みと広報について	青森県共同募金会
	地域の人材とネットワークの形成	弘前大学 教育学部 准教授 越村 康秀 氏
	広報・チラシづくり	キャリアカレッジみらいと 今井 真美 氏

・第5日目特別公開セミナー（子どもの居場所のこれからを考えるセミナー）

○期 日 令和2年2月13日（火）

○会 場 県民福祉プラザ4階 大・中研修室

○参加者 86人（養成講座受講者31人、一般参加者55人）

○内 容 ●見学・実習報告会

「見学・実習で学んだことや感じたことを共有しよう！」

●トークセッション

「こどもの居場所」の「これから」を考える

青森県立保健大学 教 授 反町 吉秀 氏

弘前大学 教 授 李 永俊 氏

八戸学院大学 准教授 佐藤 千恵子 氏

全国こども食堂支援センターむすびえ 山角 直史 氏

桜川みんなの食堂（青森市） 鈴木 杏子 氏

こども食堂・じょいん（青森市） 浅理 寿子 氏

みんなの食堂おいでえーる（弘前市） 井澤 淳 氏

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

ふれ愛・あおば食堂（八戸市） 白山 拓弥 氏
ちょうじゃこども食堂（八戸市） 小柴 智美 氏
Family Café あづま〜る（五所川原市） 藤林 秀 氏
●グループセッション

「こどもの居場所」の「これから」を考える

ウ) 青森県こどもの貧困対策ネットワーク会議

期 日 令和5年10月27日

場 所 ユートリー 1階「多目的大ホールA」

参加者 60人

内 容 講 演：「子どもの貧困&ヤングケアラーをめぐる現在の動向」
弘前大学教育学部 助教 松本 恵美 氏
動画視聴：「困難を経験したこども・若者のケース」
説 明：支援ケースを踏まえた教育・福祉の制度解説
弘前大学大学院教育学研究科 教授 吉田 美穂 氏
青森明の星短期大学子ども福祉未来学科長／教授 最上 和幸 氏
グループワーク：「子ども・若者の困難にどう気づき、支えるか？」

③こども宅食おすそわけ便

県内4地域で実施（奇数月：青森・三沢、偶数月：八戸・五所川原）

④あおもりフードバンク

ア) あおもりに還元 社会貢献活動推進説明会（オンライン併催）

期 日 令和5年7月3日（月）

場 所 アピオあおもり2階 イベントホール（青森市中央3丁目17-1）

参加者 70人

内 容 ・青森県社会福祉協議会と一緒にできそうな社会貢献活動」について
県社協 社会貢献活動推進室
・「ミールズ・オン・ホイールズロジシステム（MOWLS）」について
全国食支援活動協力会
・「会社の社会貢献活動の実例」
株式会社モリレイ
・「寄附付自動販売機」の設置について
ダイドードリンコ株式会社
みちのくコカ・コーラボトリング株式会社
アサヒ飲料株式会社
・「あおもりフードバンク」について
県社協 社会貢献活動推進室

イ) あおもりフードバンク活動説明会

期 日 令和6年2月29日（木）

会 場 県民福祉プラザ4階「中研修室」（オンライン併催）

参加者 103人

内 容 (1)「あおもりフードバンク」について
県社協 社会貢献活動推進室
(2)フードバンクとは何か〜フードバンク活動に取り組む意義〜
一般社団法人全国フードバンク推進協議会

(3) あおもりフードバンク (取扱実績)

区分	取扱量 (単位: kg)	取扱件数
(1) 単発の食品寄付	11,648.5	65
(2) コープフードバンク (コープ東北)	※把握無	98
(3) 青森しあわせネットワーク (フードサポート)	0.0	0
(4) コープあおもりの農産品受取	13,953.7	52
(5) こども宅食おすそわけ便	7,401.4	33
(6) みんなの食堂と農林水産業マッチング	※把握無	7
(7) ファミマフードドライブ	35.2	11
(8) Amazon みんなで応援プログラム	1.9	2
(9) コープあおもりフードサポート	457.1	1
(10) 日本非常食支援機構	59.6	8
(11) JA 青森中央会	8,400.0	12
合計	41,957.31	289

①単発の食品寄付

②コープフードバンク (コープ東北)

○市町村社協を通じて、生活困窮者等へ支援

③青森しあわせネットワーク

○参加法人を通じて、生活困窮者等へ支援

④コープあおもりの農産品受取

○15 法人を通じて、福祉施設利用者等に提供

⑤こども宅食おすそわけ便

県社協又は各運営者に食品等の寄贈をいただき、子育て家庭等に提供

定期的に食品を無償提供いただいている方は次のとおり

- ・生活協同組合 コープあおもり
- ・青森県民生活協同組合 (フードドライブ)
- ・株式会社北日本吉野家
- ・LAPANADERIA aomori
- ・階上キューピー株式会社
- ・みちのくコカ・コーラボトリング株式会社
- ・株式会社モリレイ
- ・JA 青森中央会

⑥あおもりみんなの食堂と農林水産業とのマッチング

未利用農林水産物等 (規格外品、余剰品) 等の提供で支援したい個人・団体と、食材を活用したい「みんなの食堂」等が参加するネットワーク

⑦ファミマフードドライブ (ファミリーマート)

各店舗に寄贈いただいた食品を県内 5 市町の 13 団体を通じて、子育て家庭や生活困窮者に提供

⑧Amazon みんなで応援プログラムを通じた寄付品受入

第1 誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

⑨コープあおもりフードサポート

共同購入や各店舗でのフードドライブの食品等をしあわせネットワークの活動へ寄付

⑩日本非常食支援機構を通じた寄付品を受入れ

⑪J A青森中央会から寄贈された米を青森しあわせネットワークの支援法人へ分配

(4) その他

①社会福祉法人運営の基本対策セミナー（オンライン併催）

期 日 令和5年6月9日（金）

会 場 アウガ 5階 AV多機能ホール（青森県青森市新町 1-3-7）

参加者 92人

内 容 ・情報提供「法改正に伴う状況等と県社協の事業について」

県社協 社会貢献活動推進室

- ・説 明「社会福祉法人の運営に係る手続き及び社会福祉法人・社会福祉施設における監査の実施状況等について」

青森県健康福祉政策課 地域福祉推進グループ 主事 高森 勇汰 氏

- ・説 明「社会福祉法人の登記手続について」

青森地方法務局登記部門 総務登記官 鈴木 美紀 氏

- ・講 義「社会福祉法人会計の決算実務のポイント」

公認会計士・税理士 小野寺 高 氏

第2 福祉サービスの利用者と事業者の支援

1 判断能力が低下した方への権利擁護活動の推進

認知症や知的、精神障がい等により判断能力が不十分である方が、日常生活を営む上で必要な福祉サービスを利用し、地域で安心した生活が送れるよう、基幹的社協等との連携、協働により、福祉サービスの利用支援と、それに関わる日常的金銭管理、書類の預かり等の検査等の支援を行った。

(1) 青森県地域福祉権利擁護センター(あっぷるハート)の運営

①基幹的社協等への業務委託

青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市、つがる市、平川市、鯉ヶ沢町、深浦町の各社協と業務委託契約を締結し事業を実施した。

・日常生活自立支援事業の契約件数及び相談件数等

ア) 契約件数

基幹的 社協等	認知症高齢者等		知的障害者等		精神障害者等		そ の 他		合 計	
	件 数	(生活保護)	件 数	(生活保護)	件 数	(生活保護)	件 数	(生活保護)	件 数	(生活保護)
青森市	3	(3)	0	(0)	3	(3)	2	(2)	8	(8)
弘前市	1	(1)	2	(0)	2	(1)	0	(0)	5	(2)
八戸市	2	(0)	4	(1)	2	(1)	0	(0)	8	(2)
黒石市	8	(5)	4	(1)	0	(0)	1	(1)	13	(7)
五所川原市	13	(7)	1	(0)	3	(3)	1	(1)	18	(11)
十和田市	43	(27)	7	(3)	19	(10)	9	(5)	78	(45)
三沢市	8	(5)	0	(0)	1	(1)	0	(0)	9	(6)
むつ市	18	(5)	3	(0)	3	(3)	1	(0)	25	(8)
つがる市	2	(1)	0	(0)	1	(1)	0	(0)	3	(2)
平川市	17	(7)	2	(0)	3	(2)	0	(0)	22	(9)
鯉ヶ沢町	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
深浦町	1	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	1	(0)
合計	116	(61)	23	(5)	37	(25)	14	(9)	190	(100)

イ) 相談経路別契約件数

() 内は、平成 11 年 10 月からの累計

相談経路	契約件数		相談経路	契約件数	
社会福祉協議会	10	(321)	知的障害者福祉施設	4	(45)
生活困窮者自立支援事業 (自立相談窓口)	0	(16)	精神障害者福祉施設	1	(39)
			身体障害者福祉施設	0	(11)
福祉事務所	5	(317)	病院・医療関係	12	(237)
その他の行政機関	5	(79)	在宅介護支援センター	0	(113)
民生委員児童委員	1	(22)	ヘルパー	0	(26)
介護支援専門員	44	(573)	グループホーム (高齢)	0	(49)
本人	3	(51)	グループホーム (障害)	0	(2)
親	0	(4)	生活支援員	0	(6)
子	2	(60)	地域包括支援センター	14	(247)
配偶者	0	(2)	地域生活定着支援センター	0	(2)
兄弟姉妹	1	(33)	基幹的社協移管	5	(191)
親類	4	(76)	代理権付与	64	(70)
隣人・知人	0	(8)	その他 (相談支援事業所等)	10	(114)
高齢者福祉施設	5	(151)	合計	190	(2, 865)

第2 福祉サービスの利用者と事業者の支援

ウ) 相談件数

基幹的社協等	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	その他	合計
青森市	312	175	188	12	687
弘前市	164	94	471	43	772
八戸市	523	258	385	56	1,222
黒石市	307	125	782	41	1,255
五所川原市	476	91	329	55	951
十和田市	783	214	518	85	1,600
三沢市	580	135	53	2	770
むつ市	762	232	100	11	1,105
つがる市	223	268	165	1	657
平川市	775	252	180	4	1,211
鯹ヶ沢町	1	0	0	0	1
深浦町	16	18	5	1	40
合計	4,922	1,862	3,176	311	10,271

エ) 解約件数

基幹的社協等	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	その他	合計
青森市	6	0	1	0	7
弘前市	4	0	6	0	10
八戸市	15	4	7	0	26
黒石市	6	1	1	0	8
五所川原市	20	1	2	2	25
十和田市	41	8	22	12	83
三沢市	13	2	2	0	17
むつ市	8	1	3	1	13
つがる市	1	1	0	0	2
平川市	13	2	2	0	17
鯹ヶ沢町	2	1	0	2	5
深浦町	1	0	0	0	1
合計	130	21	46	17	214

オ) 解約理由

理由	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	その他	合計
本人死去	67	3	8	5	83
代理権付与による再契約	29	8	18	9	64
成年後見人等就任	16	2	3	2	23
本人申出(本事業を必要としない)	4	3	10	0	17
入院・入所先での支援	5	4	3	0	12
親族支援	7	0	2	1	10
移管	1	1	2	0	4
身元保証会社での支援	1	0	0	0	1
合計	130	21	46	17	214

第2 福祉サービスの利用者と事業者の支援

カ) 実利用者数 () 内は、生活保護受給者数

基幹的社協等	契約件数 (累計)	解約件数 (累計)	実利用	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	その他
青森市	316	256	60(39)	34(18)	9(8)	12(10)	5(3)
弘前市	193	166	27(19)	8(8)	5(2)	12(8)	2(1)
八戸市	309	230	79(32)	30(9)	20(8)	27(13)	2(2)
黒石市	98	32	66(36)	36(26)	14(4)	9(4)	7(2)
五所川原市	520	435	85(55)	53(33)	6(3)	23(17)	3(2)
十和田市	654	549	105(63)	54(35)	9(4)	29(16)	13(8)
三沢市	216	168	48(28)	37(24)	7(3)	4(1)	0(0)
むつ市	169	127	42(16)	34(12)	5(2)	2(2)	1(0)
つがる市	114	87	27(13)	8(4)	11(4)	8(5)	0(0)
平川市	256	182	74(34)	54(28)	13(1)	6(4)	1(1)
鰺ヶ沢町	7	7	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
深浦町	13	2	11(3)	6(2)	4(1)	1(0)	0(0)
合計	2,865	2,241	624(338)	354(199)	103(40)	133(80)	34(19)

キ) 支援回数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
有料世帯	311	296	306	303	324	289	291	280	296	276	289	268	3,529
無料世帯	440	444	442	394	459	430	446	417	454	416	425	430	5,197
合計	751	740	748	697	783	719	737	697	750	692	714	698	8,726

②契約締結審査会の開催

期 日	会 場	参加者	内 容
令和5年 5月22日(月)	県民福祉プラザ2階 「県社協会議室」	委員4人 事務局3人	(1)令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画について (2)個別契約の実施状況について (3)契約締結審査会改選期に係る委嘱について
10月23日(月)	県民福祉プラザ2階 「県社協会議室」	委員4人 専門員1人 事務局3人	(1)委員改選に伴う組織会 (2)事業説明 (3)報告 ①令和5年度上半期事業報告 ②要綱・様式等の一部改正について (4)審査案件1件 「利用者失踪に係る対応について」

③預かり書類等現物検査の実施

日常生活自立支援事業の適切な運営を推進するため、預かり書類等のあるすべての基幹的社協等及び管内市町村社協に対して、現物検査及び内部けん制体制や検認等の実施状況について実地検査を行い、必要に応じて文書による改善指導を行った。

調査年月日	調査対象
令和5年 6月14日(水)	青森市社協浪岡支部
6月28日(水)	つがる市社協車力支所、つがる市社協稲垣支所、つがる市社協柏支所
6月29日(木)	平川市社協、平川市社協碓ヶ関支所、大鰐町社協
7月6日(木)	むつ市社協、むつ市社協大畑支所
7月10日(月)	八戸市社協
7月12日(水)	深浦町社協

第2 福祉サービスの利用者と事業者の支援

7月14日(木)	階上町社協、おいらせ町社協
7月19日(水)	六戸町社協、三沢市社協
7月28日(金)	横浜町社協、六ヶ所村社協
8月7日(月)	平内町社協
8月16日(水)	弘前市社協、西目屋村社協
8月22日(火)	つがる市社協
8月24日(木)	三戸町社協、五戸町社協
8月29日(火)	五所川原市社協市浦支所、五所川原市社協金木支所、中泊町社協、鶴田町社協
9月5日(火)	七戸町社協、東北町社協、野辺地町社協、田子町社協、南部町社協
9月7日(木)	藤崎町社協、田舎館村社協
9月8日(金)	青森市社協、外ヶ浜町社協
9月19日(火)	佐井村社協、大間町社協
9月20日(水)	東通村社協
9月26日(火)	黒石市社協
9月28日(木)	五所川原市社協

④基幹的社協等連絡会議の開催

期 日	会 場	参加者	内 容
令和5年 5月12日(金)	アピオあおもり 「大研修室1」	専 門 員 17 人 県担当者 1 人 事 務 局 3 人	(1) 令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画について (2) 業務委託契約について (3) 実施状況調査について (4) 預かり書類等現物検査スケジュールについて (5) 不適正事案の事例共有について (6) キャッシュレス決済について (7) 事務処理について
11月30日(木)	アピオあおもり 「大研修室1」	専 門 員 17 人 県担当者 1 人 事 務 局 3 人	(1) 令和5年度上半期事業報告 (2) 日常生活自立支援事業に係る要綱様式等の一部改正について (3) 預かり書類等現物検査について (4) 関係機関向けパンフレットについて (5) 意見交換（上半期相談対応、その他）
令和6年 3月8日(金)	アピオあおもり 「大研修室1」	専 門 員 16 人 県担当者 1 人 事 務 局 3 人	(1) 事業に係る運営・事務処理等について (2) 関係機関向けパンフレットについて (3) 各金融機関での対応について (4) その他（事務連絡、意見交換等） (5) 事例検討会

⑤関係機関連絡会議の開催

期 日	会 場	参加者	内 容
令和5年 9月22日(金)	オンライン会議	居宅介護支援 事業所 50 人 専門員 14 人 事務局 3 人	対象：居宅介護支援事業所の介護支援専門員 (1) 日常生活自立支援事業の役割と実施状況について (2) 情報交換（グループワーク） ①判断能力の低下した利用者について ②日常生活自立支援事業に対する認識・疑問 ③その他 (3) 全体共有

(2) 従事者等の資質向上のための取り組み

①専門員・生活支援員研修会の開催

期 日	会 場	参加者	内 容
令和5年 7月4日(火)	アピオあおもり 「大研修室1」 (オンライン併用)	専門員 15人 市町村社協 19人 生活支援員 60人	(1)事務説明 「日常生活自立支援事業の実施状況等について」 (2)講義 「合理的配慮とコミュニケーション」 講師：特定非営利活動法人ら・ぼると 理事長 平川 大輔 氏 (契約締結審査会 委員) (3)演習 生活支援員 「合理的配慮としてのコミュニケーション」 講師：特定非営利活動法人ら・ぼると 理事長 平川 大輔 氏 専門員 「初期相談からの対応について」 講師：弘前圏域権利擁護支援センター 相談員 藤田 博美 氏

(3) 事業の普及・啓発活動への取り組み

①広報・啓発活動

期 日	会 場	参加	内 容
令和5年 7月21日(金)	つがる市木造福祉交流センター	10人	・令和5年度日常生活自立支援事業「生活支援員委嘱状交付式並びに研修会」 説明「日常生活自立支援事業について」
8月23日(水)	県社協会議室	6人	令和5年度社協実習生に対する事業説明① 説明「日常生活自立支援事業について」
8月30日(水)	県社協会議室	9人	令和5年度社協実習生に対する事業説明② 説明「日常生活自立支援事業について」
10月17日(火)	青森市福祉増進センター	23人	青森市地域包括支援センター連絡会社会福祉士専門分科会研修 説明「日常生活自立支援事業について」
10月18日(水)	オンライン研修会	172人	令和5年度介護サービス情報の公表制度「10の研修テーマ」に係る研修会(Bコース) 説明「日常生活自立支援事業と成年後見制度について」
令和6年 3月1日(金)	青森市福祉増進センター	11人	令和5年度日常生活自立支援事業生活支援員連絡会 説明「日常生活自立支援事業生活支援員の役割について」

(4) 成年後見制度への取り組み

青森県内における成年後見制度のより一層の普及を目的として、成年後見監督人、保佐監督人として受任している5件について、成年後見人等の活動状況の監督や関係機関との連絡調整等、後見等監督業務を実施した。

また、市民後見人登録者フォローアップ研修や成年後見事業連絡会議等、成年後見制度の概要

第2 福祉サービスの利用者と事業者の支援

や後見業務の理解を深めることを目的とした事業を開催した。

①市民後見人登録者のためのフォローアップ研修会

期 日	会 場	参加者	内 容
令和5年 11月30日(木)	アピオあおもり 「大研修室1」	登録者 6人 専門員 18人	講義「相続・遺言の基礎知識」 講師：わかば法務事務所 青森オフィス 司法書士 葛西 祥子 氏 (契約締結審査会 委員)

②市民後見人の後見監督業務の実施

- ・受任件数 5件（後見類型4件・市民後見人／保佐類型1件・五所川原市社協）
- ・業務内容 後見人及び保佐人からの相談対応・助言、関係機関との連絡調整、後見活動の定期報告の確認、家庭裁判所への報告等

③後見監督業務審査会の開催

県社協の後見等監督業務を適切かつ円滑に実施することを目的として、市民後見人及び市町村社協が行う被後見人等の身上監護・財産管理、困難事例に関する対応方策等への指導・助言を行う成年後見アドバイザーを設置した。（審査案件：0件）

④成年後見事業連絡会議の開催

期 日	会 場	参加者	内 容
令和6年 2月26日（月）	オンライン会議	参加者 34人 事務局 3人	(1) 講義 ①青森家庭裁判所管内における成年後見制度の利用状況等について 講師：青森家庭裁判所 主任書記官 工藤 章 氏 ②「任意後見制度」の概要 講師：青森公証人合同役場 公証人 中川 一人 氏 (2) 情報交換 ①法人後見事業の実施体制について ②その他

⑤地域連携ネットワークづくりへの参画＜新＞

期日	会場	内容
令和5年 7月12日（水）	むつ市役所 「大会議室B」	成年後見制度に関する意見交換会（主催：県高齢福祉保険課） (1) 中核機関の広域設置について (2) 市民後見人の養成研修について (3) 圏域単位での協議会の設置について
7月31日（月）	五所川原市生 き活きセンタ ー	つがる西北五圏域権利擁護研修会（主催：五所川原市社協、鯉ヶ沢町社協） (1) 講演 「中核機関設置における自治体と社協の役割」 愛知県豊田市福祉部福祉総合相談課 権利擁護支援担当長 (元厚生労働省社会・援護局地域福祉課成年後見制度利用促進室 係長) 安藤 亨 氏 (2) 情報交換会

第2 福祉サービスの利用者と事業者の支援

8月10日（木）	鰯ヶ沢町総合 保健福祉セン ター「会議室」	令和5年度第1回権利擁護センターあじがさわ運営協議会（主催：鰯ヶ沢町社協） (1) 令和4年度事業実施報告について
令和6年 1月25日（木）	青森家庭裁判 所「大会議室」	令和5年度家事関係機関との連絡協議会（主催：青森家庭裁判所） (1) 冒頭説明 「家庭裁判所と福祉・行政の相互理解と連携について」 青森家庭裁判所 訟廷管理官 丹 裕樹 氏 (2) 発表 「弘前圏域における受任調整会議の活動状況及び今後の課題等について」 弘前市福祉部福祉総務課 主事 小枝 純暉 氏 弘前圏域権利擁護支援センター相談員 社会福祉士 藤田 博美 氏 (3) 協議 ① 県内における日常生活自立支援事業の現況及び日常生活自立支援事業と成年後見制度の併用について ② 後見人等候補者の圏域を超えた調整について ③ 受任者調整会議等において後見人等候補者となり得る者の属性の実情について
1月26日（金）	県民福祉プラ ザ2階「多目 的室2A」	成年後見制度に関する意見交換会（主催：県高齢福祉保険課） (1) 各町村における中核機関の実施状況について (2) 中核機関の広域実施及びソーシャルネットあおもりへの委託について (3) 市民後見人の養成について
3月18日（月）	鰯ヶ沢町総合 保健福祉セン ター「会議室」	令和5年度第2回権利擁護センターあじがさわ運営協議会（主催：鰯ヶ沢町社協） (1) 令和6年度事業計画について (2) 事例報告
3月25日（月）	オンライン会 議	令和5年度青森県成年後見制度全体協議会（主催：県高齢福祉保険課） (1) 市町村における体制整備及び県の取組等の状況 (2) 成年後見制度に関するアンケート結果 (3) 令和6年度スケジュール (4) 意見交換等

第2 福祉サービスの利用者と事業者の支援

2 運営適正化委員会事業の推進

青森県運営適正化委員会は、福祉サービスの利用者の利益を保護するため、福祉サービス利用援助事業の適正な運営を確保するとともに、福祉サービスに関する利用者等からの苦情を適切に解決する中立公平な機関として次の事業を実施した。

(1) 運営適正化委員会の運営

①運営適正化委員会の開催

期 日	会 場	出席者	内 容
令和6年 3月27日(水)	青森市 県民福祉プラザ およびオンライン	委 員 10 人 事務局 3 人	・令和5年度運営適正化委員会事業の実施状況について ・令和6年度事業計画(案)について ・その他

②運営適正化委員会委員選考委員会の開催

開催なし

③運営適正化委員会事業研究協議会等への参加

期 日	会 場	参加者	内 容
令和5年 7月12日(水)	全社協	事務局1人	・「社会福祉を取り巻く状況と苦情解決の仕組みの取り組み方針」 厚生労働省社会・援護局福祉基盤課 ・「運営適正化委員会事業のあり方に関する検討会報告書について」 立教大学 教授 平野 方紹 氏 ・各運営適正化委員会の実施状況と令和5年度の本会の取り組みについて」 全社協政策企画部 ・「日常生活自立支援事業の現状と課題・今後の運営について」 全社協地域福祉部 ・実践報告「運営適正化委員会事業における実践報告」 (1) 事業所支援への取り組み(岩手県) (2) 運営監視業務における現地調査の工夫(徳島県) ・グループ協議 (1) 事業所支援への取り組み (2) 運営監視業務における現地調査の工夫 (3) 行政(都道府県/市町村)との連携について (4) 相談支援機関との連携について

④活動状況報告書の作成・配布

- ・令和4年度運営適正化委員会事業報告書の作成(200部)

送付先 県担当課、各地域県民局福祉総室、全社協、各都道府県運営適正化委員会、各市町村、県内福祉大学、県内総合病院、関係機関、運営適正化委員会委員等

(2) 苦情解決機能の充実・強化に向けて活動の展開

①苦情解決部会(苦情解決事業)の開催

第2 福祉サービスの利用者と事業者の支援

期 日	会 場	出席者	内 容
令和5年 5月26日(金)	青森市 県民福祉プラザ	委 員 5人 事務局 3人	・個別苦情ケース検討 (9件) ・巡回訪問について ・苦情解決関係者等研修会の開催について
令和5年 7月25日(火)	青森市 県民福祉プラザ	委 員 5人 事務局 3人	・個別苦情ケース検討 (4件) ・苦情解決関係者等研修会の開催について ・令和4年度事業報告書について
令和5年 9月27日(水)	青森市 県民福祉プラザ	委 員 5人 事務局 3人	・個別苦情ケース検討 (9件) ・苦情解決関係者等研修会の開催について
令和5年 11月24日(金)	青森市 県民福祉プラザ	委 員 4人 事務局 3人	・個別苦情ケース検討 (6件) ・令和5年度福祉サービス苦情解決体制整備 状況調査について
令和6年 1月25日(木)	青森市 県民福祉プラザ	委 員 5人 事務局 3人	・個別苦情ケース検討 (5件) ・苦情解決関係者等研修会のアンケート結果 について
令和6年 3月27日(水)	青森市 県民福祉プラザ	委 員 5人 事務局 3人	・個別苦情ケース検討 (8件) ・令和5年度福祉サービス苦情解決体制整備 状況調査の結果について

・苦情相談件数 (種類、属性別)

属性 種別	利用者本人		家 族		職 員		その他		合 計	
	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談
高齢者	6	22	3	31	1	6	0	12	10	71
障害者	7	75	2	12	0	9	0	16	9	112
児 童	0	0	5	11	0	2	0	5	5	18
その他	2	16	0	0	0	5	0	10	2	31
合 計	15	113	10	54	1	22	0	43	26	232

・苦情のサービス種類別 (全26件)

高齢者福祉サービス (全10件)

サービス種類	件 数
特別養護老人ホーム	1
短期入所生活介護	1
有料老人ホーム	2
養護老人ホーム	1
通所介護	3
訪問介護	2

障害者福祉サービス (全9件)

サービス種類	件 数
就労継続支援B型	4
相談支援事業所	2
共同生活介護	1
短期入所	1
重度訪問介護	1

児童福祉サービス (全5件)

サービス種類	件 数
保育所 (認定こども園)	1
障害児相談支援事業所	1

第2 福祉サービスの利用者と事業者の支援

障害児入所施設	2
児童発達支援センター	1

その他（全2件）

サービス種類	件数
日常生活自立支援事業	1
生活福祉資金貸付	1

市町村等事業所所在地別

市町村（市部）	件数	市町村（郡部）	件数
青森市	8	東津軽郡	0
弘前市	5	西津軽郡	0
八戸市	3	南津軽郡	2
黒石市	1	北津軽郡	0
五所川原市	1	上北郡	0
十和田市	0	三戸郡	1
三沢市	1	下北郡	0
むつ市	1		
つがる市	3		
平川市	0	合 計	26

・苦情処理状況

結果区分

解 決	不 調	他解決機関紹介	自己解決（取り下げ）	次年度へ（継続中）	合 計
17	0	5	3	1	26

解決処理（件数重複）

事情調査	当事者協議 ・調整	助 言	他機関照会	通 報 ・情報提供	その他 （取り下げ）	延べ 対応回数
2	0	20	17	11	2	52

②広報・啓発

ア) 事業所等への巡回訪問 ※一部オンライン

期 日	市町村	種別	訪問先 事業所名
6月28日（水）	①七戸町	高齢	社会福祉法人美土里会 特別養護老人ホーム美土里荘
6月28日（水）	②十和田市	障害	NP0 法人ここから 就労継続支援 B 型事業所吉エ門
7月26日（水）	③青森市	障害	社会福祉法人清隆厚生会 児童発達支援事業所 toi toi toi
7月26日（水）	④青森市	障害	社会福祉法人清養会 障がい者支援施設幸養苑
7月27日（木）	⑤青森市	障害	有限会社大裕 相談支援事業所ホットミルク
8月24日（木）	⑥八戸市	障害	八戸市 障害者地域生活支援センターハピア
1月17日（水）	⑦八戸市	障害	社会福祉法人みつは会 多機能型事業所はあぐみ〜ききょうの
1月17日（水）	⑧八戸市	障害	社会福祉法人ぶさん会 柿の木苑
1月18日（木）	⑨深浦町	高齢	社会福祉法人西寿会 特別養護老人ホームはまなす荘
1月18日（木）	⑩八戸市	高齢	社会福祉法人白銀会 ケアハウス八戸グリーンハイツ
2月26日（月）	⑪青森市	児童	社会福祉法人五誓会 南栄町保育園
2月26日（月）	⑫おいらせ町	障害	社会福祉法人誠友会 就労継続支援事業所工房あぐりの里
2月26日（月）	⑬青森市	障害	特定非営利活動法人明星会 指定就労継続支援 A 型事業所くいーる作業所・花園
2月27日（火）	⑭青森市	児童	社会福祉法人共愛会 幼保連携型認定こども園いしえこども園
2月27日（火）	⑮おいらせ町	障害	一般社団法人みちびき グループホームフルハウス A
3月4日（月）	⑯おいらせ町	障害	社会福祉法人互支会 就労継続支援 B 型事業所ワークハウスサポート

第2 福祉サービスの利用者と事業者の支援

3月4日(月)	⑰青森市	障害	株式会社ハッピーフィールド ヘルパーステーションめりい
3月7日(木)	⑱青森市	高齢	社会福祉法人里見ヶ丘福祉会 デイサービスセンター里見ヶ丘ホーム
3月11日(月)	⑲青森市	障害	EMPRESS G-roup 合同会社 就労継続支援B型事業所 ALIVE
3月11日(月)	⑳青森市	障害	合同会社スマイルファミリーズ 放課後等デイサービスエジソンキッズ青森西

イ) 運営適正化委員会リーフレット等の配布

運営適正化委員会リーフレット、広報用カード、ポスターを研修会等で配布した。

他機関発行の各種相談窓口一覧表への掲載。

ウ) 苦情対応トータルブックの配布

福祉サービス事業者のための苦情トータルブック、第三者委員のための苦情対応ハンドブックを配布した。

エ) 福祉サービスの苦情相談事例集の作成、配布＜新＞

福祉サービスの苦情相談事例集～運営適正化委員会の220事例～〈増補版〉を作成し、苦情解決関係者等研修会参加者へ配布した。

オ) 苦情解決状況調査の実施

調査期間：令和6年1月

調査基準日：令和5年12月1日(金)

調査対象数：高齢者福祉サービス提供事業所1,512ヶ所

回答事業所数：645事業所／1,512ヶ所(回収率：42.7%)

	事業所数	苦情受付担当者 設置済事業所数	苦情解決責任者 設置済事業所数	第三者委員 設置済事業所数	オンブズマン 設置済事業所数
高齢福祉 事業所	645ヶ所	591ヶ所 91.6%	534ヶ所 82.8%	318ヶ所 49.3%	27ヶ所 4.2%

③相談機能の強化

ア) 相談対応スーパービジョンの実施

※青森県福祉サービス苦情解決関係機関連絡会議にて実施

期 日	会 場	参加者	内 容
令和5年 9月12日 (火)	青森市 青森県国民健康保険 団体連合会内会議室	健康福祉部 4人 国保連 7人 運営適正化委員 会 1人 事務局 3人	・苦情解決の取り組み状況等について ・契約等に係る制度の改正点等について ・その他、苦情解決の円滑な実施等について ・関係機関との連携により支援した事例 (対応に苦慮した事例)

イ) 法人施設内研修会への講師等派遣／ウ) DVD等レンタル研修の実施

[障害(養護学校)2回、社協3回、国保連1回、その他(DVDレンタル)3回]

期 日	研修会名等	参加者	種別	市町村
7月7日(金)	①市町村介護サービス苦情処理担当者研修会 (オンライン研修会)	45人	行政	青森県内
7月21日(金)	②社会福祉法人豊寿会 障がい者支援施設妙 光園 職場内研修会 DVDレンタル	10人	障害	八戸市
8月23日(水)	③社協実習生に対する青森県社協事業説明会	7人	社協	青森県内
8月30日(水)	④社協実習生に対する青森県社協事業説明会	10人	社協	青森県内
9月21日(木)	⑤社会福祉法人藤崎町社会福祉協議会 第三	7人	社協	藤崎町

第2 福祉サービスの利用者と事業者の支援

	者委員研修会 DVD レンタル			
10月6日(金)	⑥社会福祉法人黒石市社会福祉協議会 職場内研修会	64人	社協	黒石市
11月1日(水)	⑦青森県立弘前第一養護学校高等部研修会	52人	学校	弘前市
2月16日(金)	⑧公益財団法人こころすこやか財団 職場内研修会 DVD レンタル	31人	障害	八戸市
3月14日(木)	⑨社会福祉法人青森市社会福祉協議会 青森うとうの園 職場内研修会	10人	障害	青森市
		236人		

ウ) DVD 等レンタル研修の実施

※青森県福祉サービス苦情解決関係機関連絡会議にて実施

期 日	会 場	参加者	内 容
令和5年 9月12日 (火)	青森市 青森県国民健康保険 団体連合会内会議室	健康福祉部 4人 国保連 7人 運営適正化委員会 1人 事務局 3人	・苦情解決の取り組み状況等について ・契約等に係る制度の改正点等について ・その他、苦情解決の円滑な実施等について ・関係機関との連携により支援した事例 (対応に苦慮した事例)

④苦情解決関係者等研修会の開催

(福祉サービス事業所等における苦情受付担当者、苦情解決責任者向け研修)

期 日	会 場	参加者	内 容
11月13日(月)～ 12月22日(金) (動画配信)	—	3分野共通	・動画講演「福祉サービスにおける苦情とその対応」 講師 早稲田大学 人間科学学術院 教授 岩崎 香 氏
11月28日(火) ～30日(木)	青森県水産 ビル7階 大 会議室	障害者分野 140人 高齢者分野 92人 児童分野 27人	・挨拶 青森県運営適正化委員会委員長 沼田 徹 氏 ・11月28日 障害者分野(事例検討) 「障がい児、者施設・事業所での苦情解決対応方法」 講師 青森県運営適正化委員会苦情解決部会 副部会長 藤林 正雄 氏 ・11月29日 高齢者分野(事例検討) 「高齢者施設、事業所での苦情解決対応方法」 講師 青森県運営適正化委員会苦情解決部会 部会長 木村 隆次 氏 ・11月30日 児童分野(事例検討) 「児童施設での苦情解決対応方法」 講師 八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科 教授 野口 和也 氏

(第三者委員等向け研修/ 第三者委員、社会福祉事業者等の経営者等)

期 日	会 場	参加者	内 容
(動画配信) 11月13日(月)～ 12月22日(金)	—	動画 視聴者 91人	(講演)「福祉サービスにおける苦情とその対応」 講師 早稲田大学人間科学学術院 教授 岩崎 香 氏 (講演)「第三者委員の役割と使命」 講師 青森県運営適正化委員会委員長 (沼田法律事務所 弁護士) 沼田 徹 氏

			(講演)「第三者委員の実際の活動について」 —第三者委員活動動画 講師 元青森明の星短期大学子ども福祉未来学科 丸本 富勝 氏
--	--	--	--

⑤関係機関との連携強化

ア) 県福祉サービス苦情解決関係機関連絡会議の開催(再掲)

期 日	会 場	参加者	内 容
令和5年 9月12日 (火)	青森市 青森県国民健康保険 団体連合会内会議室	健康福祉部 4人 国保連 7人 運営適正化委員 会 1人 事務局 3人	・苦情解決の取り組み状況等について ・契約等に係る制度の改正点等について ・その他、苦情解決の円滑な実施等について ・関係機関との連携により支援した事例 (対応に苦慮した事例)

イ) 関係会議等への出席

・北海道・東北ブロック運営適正化委員会担当学会議

期 日	会 場	参加者	内 容
令和5年11月 21日(火)～ 22日(水)	ホテルキャッス ル山形	7道県運適	・全社協からの説明 全国社会福祉協議会 政策企画部 ・協議・情報交換 ①事務局運営に係る協議・情報交換 ②運営監視合議体に係る協議・情報交換 ③苦情解決合議体に係る協議・情報交換

・市町村介護サービス苦情処理担当者研修会—国保連主催

期 日	会 場	出席者	内 容
令和5年 7月7日(金)	青森市 青森県共同 ビル1階 「大会議室」	市町村 40人 関係者 5人 事務局 2人	(オンデマンド配信) 7月21日～8月31日まで配信 ・「苦情解決(処理)関係法令について」 青森県健康福祉部高齢福祉保険課 ・「運営適正化委員会における苦情解決事業等について」 青森県運営適正化委員会事務局 ・「事例から考える苦情解決」 国保連顧問弁護士

・青森県消費者トラブル防止ネットワーク会議—県消費者協会主催

期 日	会 場	出席者	内 容
令和5年 6月9日(金)	青森市 アピオあ おもり	事務局 1人	(1) 正副会長選出 (2) 「令和4年度青森県内の消費生活相談受付状況」報告 (3) 最近の相談事例紹介 ・自動音声のアンケート ・人気ブランド品の偽サイト (4) 情報交換
令和5年 9月8日(金)	青森市 県民福祉 プラザ	欠席	(1) 「令和5年4-6月青森県内の消費生活相談受付状況」報告 (2) 最近の相談事例紹介 ・火災保険を使い住宅の修理をしないかと勧誘する特定業者 ・インターネット取引のID・パスワード (3) 情報交換
令和5年 12月11日(月)	青森市 県民福祉 プラザ	事務局 1人	(1) 「令和5年4-9月青森県内の消費生活相談受付状況」報告 (2) 最近の相談事例紹介 ・強引な訪問買取 ・簡単に稼げるという副業

第2 福祉サービスの利用者と事業者の支援

			(3) 情報交換
令和6年 3月15日(金)	青森市 県民福祉 プラザ	事務局 1人	(1) 「令和5年4-12月青森県内の消費生活相談受付状況」報告 (2) 最近の相談事例紹介 ・「〇〇ペイで返金します」に注意 ・多重債務 (3) 情報交換

⑥相談員の資質向上

ア) 運営適正化委員会相談員研修会への参加

期 日	会 場	参加者	内 容
令和5年 10月30日(月) ～ 10月31日(火)	全国社会福 祉協議会5 階「第3～ 5会議室」	事務局1人	・「運営適正化委員会の現状と今後の取り組み」 全社協政策企画部 ・「障害者施設における苦情相談への対応と福祉サービスの質の向上の取り組み」 社会福祉法人佐賀西部コロニー 多良岳福祉園 施設長 中尾 富嗣 氏 ・「運営適正化委員会の現状と今後に向けて」 立教大学 平野 方紹 氏 ・「苦情相談対応—精神障害者の理解と相談援助の知識・技術の生かし方—」 愛知淑徳大学 教授 滝 誠 氏

(3) 福祉サービス利用援助事業の適正な運営に向けた支援

①運営監視部会（運営監視事業）の開催

期 日	会 場	出席者	内 容
令和5年 7月25日(火)	青森市 県民福祉プラザ	委 員8人 県社協3人 市社協1人 事務局3人	・青森県運営適正化委員会事業実施状況について ・令和5年度運営監視部会現地調査について ・日常生活自立支援事業実施状況について ・基幹的社協（むつ市）における日常生活自立支援事業の実施状況及び困難ケースについて
令和5年 12月14日(木)	青森市 県民福祉プラザ	委 員7人 県社協3人 市社協1人 事務局3人	・青森県運営適正化委員会事業実施状況について ・令和5年度運営監視部会現地調査報告について ・日常生活自立支援事業実施状況について ・基幹的社協（青森市）における日常生活自立支援事業の実施状況及び困難ケースについて ・日常生活自立支援事業への苦情案件について
令和6年 3月27日(水)	青森市 県民福祉プラザ およびオンライ ン	委 員6人 県社協3人 市社協2人 事務局3人	・日常生活自立支援事業実施状況について ・基幹的社協（平川市）における日常生活自立支援事業の実施状況及び困難ケースについて ・日常生活自立支援事業への苦情案件について

②日常生活自立支援事業の実施状況の把握

期 日	基幹的社協等	内 容
令和5年7月25日(火)	むつ市社協	実施状況等を運営監視部会で聞取り
令和5年12月14日(木)	青森市社協	実施状況等を運営監視部会で聞取り
令和6年3月27日(水)	平川市社協	実施状況等を運営監視部会で聞取り

③処遇困難ケース事例への助言

期 日	基幹的社協等	内 容
令和5年7月25日(火)	むつ市社協	知的障害者の子育て世帯の支援について

令和5年12月14日（木）	青森市社協	知的障害者の支援について
令和6年3月27日（水）	平川市社協	精神障害者の支援について

④現地訪問調査活動の実施

※地域福祉権利擁護センターの現物検査への同行

期 日	基幹的社協	訪問者	内 容
令和5年 8月16日（水）	弘前市社協	委 員 1 人 事務局 2 人	現物検査の確認のほか、利用者宅を訪問して、実施状況を確認
8月22日（火）	つがる市社協	委 員 1 人 事務局 2 人	現物検査の確認のほか、利用者宅を訪問して、実施状況を確認
9月1日（金）	十和田市社協	委 員 1 人 事務局 2 人	現物検査の確認のほか、利用者宅を訪問して、実施状況を確認
9月26日（火）	黒石市社協	委 員 1 人 事務局 2 人	現物検査の確認のほか、利用者宅を訪問して、実施状況を確認

第2 福祉サービスの利用者と事業者の支援

3 社会福祉事業の経営への支援

社会福祉施設・団体の適正かつ安定した経営を図り、利用者への質の高い福祉サービスを提供することを目的に基金による貸付のほか、経営に関する各種相談に対して経営相談員が助言、指導を行った。

(1) 福祉施設経営相談事業の実施

①市町村社協及び社会福祉施設等に対する相談支援

・相談件数（件）

区 分	施設経営一般	会計・税務	入所者処遇	職員待遇	安全防災	衛生管理	施設整備	人材確保対策	労使問題	法律	地域交流	その他	合 計
来所相談	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
電話文書	0	18	0	1	0	0	1	0	1	0	0	49	70
合 計	0	19	0	1	0	0	1	0	1	0	0	49	71

②専門相談員（税務・法律・労務）及び常勤相談員による助言・指導

福祉施設等からの各種経営相談に対し、常勤相談員 1 人、専門相談員 3 人を配置して、電話・来所・文書等で対応した。

・相談日・相談時間及び相談員

区 分	相談日	相談時間	相談員
一般相談	月～金	10：00～15：00	常勤相談員 1 人
労務管理相談	第 1 火曜日	10：00～12：00	専門相談員（社会保険労務士）
会計・税務相談	第 2 火曜日	10：00～12：00	専門相談員（税理士・公認会計士）
法律相談	第 3 火曜日	10：00～12：00	専門相談員（弁護士）

・相談件数（件）

区 分	施設経営一般	会計・税務	入所者処遇	職員待遇	安全防災	衛生管理	施設整備	人材確保対策	労使問題	法律	地域交流	その他	合 計
専門相談	0	5	0	6	0	1	0	0	1	14	0	1	28

・施設種別毎相談実績（件） ※①及び②の相談件数の合計

区 分	社協	身障施設	知的施設	児童施設	老人施設	その他	法人本部	合計
来所相談	6	0	0	0	0	0	2	8
電話・文書相談	77	1	0	0	2	0	11	91
合 計	83	1	0	0	2	0	13	99

(2) 社会福祉施設の経営を支援する事業の実施

①法人運営セミナーの開催

新たな制度への対応や職場の人材育成等、法人支援を目的とした「法人運営セミナー」を開催した。

内 容	期 日	会 場	講 師	参加者
ア) 福祉の職場の接遇セミナー (新人編)	7月26日 (水)	オンライン開催	株式会社エイデル研究所 京都支社 部長 櫻井 園子 氏	29人
イ) 開始直前！福祉事業者に特 化したインボイス制度と電 子帳簿保存法	8月28日 (月)	オンライン開催	大沢英夫税理士・行政書士 事務所 所長 税理士 工藤 貴志 氏	25事業 所 (41人)
ウ) もう悩まない！イライラし ない！部下も、後輩も、自分 も活きるコーチング講座	11月27日 (月)	アスパム	株式会社アライブ・ワン 代表 後藤 美香 氏	45人

(3) 福祉サービス第三者評価の実施

受審事業者の募集・評価業務等を行ったほか、調査経験のない調査者には実際の調査に同行して調査の流れやポイントを学習する評価調査者実地研修を行った。

○認証第三者評価機関

認 証 機 関 名：県社協

認 証 期 間：令和4年4月1日～令和6年3月31日

評価実施種別：・福祉サービス全般
・社会的養護関係施設

① 福祉サービス第三者評価の実施

契約事業所数：5事業所（保育所2件、児童養護施設2件、訪問介護事業所1件）

訪問調査実施事業所数：5事業所（保育所2件、児童養護施設2件、訪問介護支援事業所1件）

評価結果公表事業所数：4事業所（保育所2件、児童養護施設2件）

※通年、県社協ホームページで公開

② 第三者評価審査委員会の開催（外部委員5人）

期 日	会場	参加者	内 容
令和6年1月26日（金）	県民福祉プラザ2階 「県社協会議室」	4人	・福祉サービス第三者評 価調査結果について

③ 評価調査者連絡会議の開催

実施方法	Zoomによるオンライン
期 日	令和5年7月31日（月）
参加者	18人
内 容	・説明 「令和4年度事業報告及び調査の振り返り」 「令和5年度事業計画と留意事項について」 「新規評価調査者を対象にした実地研修の開催について」 県社協施設支援課施設支援係 ・講義 「第三者評価事業の動向と課題 評価調査者に求められる役割」

第2 福祉サービスの利用者と事業者の支援

	講師：全国福祉サービス第三者評価調査者連絡会 副会長／ 岩手県社協福祉サービス運営適正化委員会 事務局長 右京 昌久 氏
--	--

④ 評価調査者の実地研修の開催及び外部研修への派遣＜新＞

青森県福祉サービス第三者評価推進委員会主催の社会的養護関係施設第三者評価調査者養成研修及び評価調査者継続研修に本会の評価調査者を派遣したほか、調査経験のない評価調査者を対象とした評価調査者実地研修を行った。

- ・社会的養護関係施設第三者評価事業評価調査者養成研修会派遣者数 5人
- ・評価調査者継続研修派遣者数 15人
- ・評価調査者実地研修参加者数 4人

⑤ パンフレット等の作成・配布

県社協ホームページにチラシを掲載し事業のPRをした。

⑥ 第三者評価事業の訪問による個別説明の実施

児童養護施設2件、訪問介護事業所1件

(4) 地域密着型サービスの外部評価事業の実施

指定認知症対応型共同生活介護事業所（認知症高齢者グループホーム）のサービスの質の向上を図る取り組みの一環として、平成14年10月から認知症高齢者グループホーム外部評価事業が実施されてきた。

本年度は、隔年実施により外部評価を受審する認知症高齢者グループホームの数が少ない年度であり、コロナ禍での事業所の状況に配慮しながら調査を実施した。

①外部評価の実施

契約締結事業所数：55事業所（通年）

訪問調査実施事業所数：55事業所

評価結果公開済事業所数：49事業所

外部評価調査員：51人

審査委員会

期 日	会 場	参加者	内 容
令和6年3月4日（月）	県民福祉プラザ2階 「県社協会議室」	10人	・令和5年度事業実施状況について ・令和6年度事業計画（案）について

②評価調査員の継続研修の実施

※新型コロナウイルス感染拡大防止のためハイブリットにより開催した。

期 日	令和5年7月14日（金）
参加者	17人
内 容	・「令和4年度事業報告」及び「令和5年度の実施方法・留意事項について」 県社協施設支援課施設支援係 ・演習「項目を再チェックしてみよう！」 ファシリテーター：大間町社協 事務局長 林 誠 氏 助言者：特定非営利活動法人ほほえみの会 就労指導員 藤林 秀 氏

③受審促進用パンフレットの配布及び情報提供

- ア) 受審促進用パンフレットの配布
認知症高齢者グループホーム 126 ヶ所にパンフレットを配布（令和 5 年 5 月）した。
- イ) 事業所への情報提供
県社協のホームページを通じて情報提供した。

(5) 青森県指定介護サービス情報公表センターの運営

①介護サービス情報の公表センターの運営

- ア) 介護サービス情報の公表
令和 5 年 7 月から、県が策定した公表計画（2,632 件）に基づき、介護サービス情報の報告依頼をし、提出された情報を受理している。また、新たに介護サービス事業所の指定を受けた事業所（71 件）及び再開事業所（2 件）に対して、介護サービス情報の調査票の提出依頼をし、提出された情報の受理及び公表を行った。
- イ) 制度に係る広報啓発活動
当該事業の周知や PR、利用者のホームページ閲覧の向上を図るため、介護サービス情報の公表に関するパンフレットを新たに作成し、40 市町村、地域包括支援センター（73 件）、県内病院（90 件）、県内図書館（37 館）、県内公民館（45 館）に配布した。

ウ) 介護サービス情報公表事業等推進委員会

期日	会場	参加者	内 容
令和 6 年 3 月 8 日 (金)	県民福祉プラザ 2 階 「県社協会議室」	10 人	・ 令和 5 年度事業実施状況について ・ 令和 6 年度事業実施計画（案）について

②事業説明会の開催

県と協議の上、新規指定事業所及び再開事業所を対象とした説明会は不要と判断して開催しないこととし、指定の通知を受け次第、他事業所と同様に報告依頼をした。

(6) 青森県指定調査機関の運営と調査員の資質向上

①指定調査機関の運営

指定調査機関として、訪問調査を希望した事業所（2 件）に対し、介護保険法に基づく調査を実施した。

②調査員連絡会議の開催

期日	参加者	内 容
令和 5 年 9 月 27 日(水) (ハイブリット形式)	5 人	1 令和 4 年度の事業実施状況について 2 令和 5 年度のシステム変更点及び実施方法について 3 訪問調査を行った事業所からの報告 4 【質疑応答・情報交換】 令和 4 年度の調査実施報告について 令和 4 年度の推進委員会の報告 公表制度の周知方法について

第2 福祉サービスの利用者と事業者の支援

4 福祉サービス提供者の質の向上に向けた支援

介護サービスや障害福祉サービス等の質の向上に向け、従事する専門職の資格取得を支援し、良質で健全な事業者とこれに従事する人材の育成のため、各種研修会等を実施する。

(1) 社会福祉研修事業の実施

①介護サービス情報の公表制度「10の研修テーマ」に係る研修会の開催（9～11月に実施）

介護保険事業所及び福祉サービス事業所等を対象に、制度の普及・啓発及び資質向上に資するとともに、事業所支援を目的として開催している。

【Aコース】

実施方法	オンライン	参加者
期 日	令和5年9月28日（木）	133人
内 容	講義Ⅰ「感染症、食中毒の予防及び蔓延の防止について」 講師：青森県立保健大学 健康科学部栄養学科 准教授 井澤 弘美 氏 講義・演習Ⅱ、Ⅲ「リスクマネジメントの考え方についてⅠ、Ⅱ」 講師：青森県立保健大学 健康科学部社会福祉学科 教授 工藤 英明 氏	

【Bコース】

実施方法	オンライン	参加者
期 日	令和5年10月18日（水）	169人
内 容	講義Ⅰ「介護現場におけるプライバシー保護」 講義Ⅱ「福祉現場における倫理及び法令遵守」 講師：沼田法律事務所 弁護士 沼田 徹 氏 講義Ⅲ「認知症の理解とケアのあり方について」 講義Ⅳ「身体拘束の理解と排除に向けた取り組みについて」 講師：社会福祉法人 緑風会 特別養護老人ホーム緑青園 理事長・施設長 成田 和博 氏 講義Ⅴ「日常生活自立支援事業と成年後見制度について」 講師：県社協 地域福祉課 地域福祉係	

【Cコース】

実施方法	オンライン	参加者
期 日	令和5年11月2日（木）	124人
内 容	講義・演習Ⅰ、Ⅱ「介護サービスにおける接遇と コミュニケーションの基本・応用」 講師：青森大学 社会学部 教授 船木 昭夫 氏	

【Dコース】

実施方法	オンライン	参加者
期 日	令和5年11月17日（金）	159人
内 容	講義Ⅰ「ターミナルケアへの取り組みと精神的ケアについて」 講師：みどりの風訪問看護ステーション 代表理事・管理者 太田 緑 氏 講義・演習Ⅱ、Ⅲ「高齢者虐待防止の理解と職員の役割」 講師：弘前医療福祉大学短期大学部 救急救命学科 教授 戸来 睦雄 氏	

(2) 介護支援専門員実務研修受講試験の実施

①介護支援専門員実務研修受講試験

試験期日 令和5年10月8日(日) 午前10時開始

合否発表期日 令和5年12月4日(月)

試験会場、受験申込者数、受験者数は下記のとおり

会場名	申込者数	欠席者数	受験者実数
青森会場① 東奥学園高等学校	498 人	38 人	460 人
青森会場② 青森東高等学校	490 人	62 人	428 人
計	988 人	100 人	888 人

(参考) これまでの実施状況(単位:受験者数、合格者数、研修修了者数は[人]、合格率は[%])

年度	県内			全国		
	受験者数	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
30	1,105	66	6.0	49,332	4,990	10.1
1	—	—	—	30,509	5,644	18.5
	756	96	12.7	10,540	2,374	22.5
2	788	94	11.9	46,415	8,200	17.7
3	884	153	17.3	54,290	12,662	23.3
4	850	95	11.2	54,406	10,328	19.0
5	888	128	14.4	56,494	11,844	21.0

(3) 障害福祉サービス等人材育成事業の実施

平成29年5月から、県障害福祉課が実施していた「青森県障害福祉サービス等人材育成事業」の業務委託を受け、障害福祉サービス提供事業所の職員の資質の向上を図るほか、事業所が提供するサービス等の質の確保に必要な知識、技能を有する職員の養成を行うため、「相談支援従事者研修」「サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修」「強度行動障害支援者養成研修」「青森県同行援護従業者養成研修」の研修の企画・運営を検討し、実施した。

①相談支援従事者養成研修

地域の障がい者等の意向に基づく地域生活を実現するために必要な保健、医療、福祉、就労、教育などのサービスの総合的かつ適切な利用支援等の援助技術を習得すること及び困難事例に対する支援方法について助言を受けるなど、日常の相談支援業務の検証を行うことにより相支援に従事する者の資質の向上を図ることを目的に実施した。

ア) 相談支援従事者初任者研修(講義)

期日	令和5年8月1日(火)～14日(月)
開催方法	eラーニングによるオンライン配信
研修修了者	194人
講師	社会福祉法人 藤聖母園 相談支援事業所藤 管理者・主任相談支援専門員 長谷川 さとみ 氏 他

相談支援従事者初任者研修(演習)

期日	① 令和5年9月21日(木)～22日(金) ② 令和5年10月20日(金) ③ 令和5年11月21日(火)～22日(水)
会場	① 青森県水産ビル7階「大会議室」 ② 青森県水産ビル7階「大会議室」 ③ 青森県水産ビル7階「大会議室」
研修修了者	76人

第2 福祉サービスの利用者と事業者の支援

講 師	社会福祉法人 藤聖母園 相談支援事業所藤 管理者・主任相談支援専門員 長谷川 さとみ 氏 他
-----	---

イ) 相談支援従事者現任研修

期 日	講義：令和5年7月19日（水） 演習：令和5年7月20日（木）、8月18日（金）、9月8日（金）
開催方法等	講義：青森県水産ビル7階「大会議室」 演習：青森県水産ビル7階「大会議室」
研修修了者	69人
講 師	株式会社 士楽舎 代表 大場 匡人 氏 他

ウ) 相談支援従事者研修及びサービス管理責任者等専門コース別研修（合同開催）

期 日	令和6年1月21日（日）
会 場	アスパム4階「十和田」
研修修了者	64人
講 師	一般社団法人 権利擁護あおい森ねっと 相談支援事業所陽だまり 管理者 藤森 健吾 氏 他

エ) 相談支援従事者養成研修ワーキング会議

講師及び事務局で研修の企画・運営を検討するために開催した。

回 数	期 日	開催方法等	出席者
第1回	令和5年4月10日（月）	県民福祉プラザ2階「県社協会議室」 及びオンライン会議（ハイブリッド開催）	20人
第2回	令和5年4月24日（月）	県民福祉プラザ2階「ボランティアルーム」 及びオンライン会議（ハイブリッド開催）	13人
第3回	令和5年5月19日（金）	県民福祉プラザ2階「県社協会議室」 及びオンライン会議（ハイブリッド開催）	16人
第4回	令和5年6月16日（金）	県民福祉プラザ2階「ボランティアルーム」 及びオンライン会議（ハイブリッド開催）	12人
第5回	令和5年7月7日（金）	オンライン会議	14人
第6回	令和5年8月9日（水）	県民福祉プラザ2階「ボランティアルーム」 及びオンライン会議（ハイブリッド開催）	17人
第7回	令和6年2月14日（水）	県民福祉プラザ2階「県社協会議室」 及びオンライン会議（ハイブリッド開催）	20人

オ) 相談支援従事者養成研修及びサービス管理責任者等研修合同ワーキング会議

講師及び事務局で研修の企画・運営を検討するために開催した。

回 数	期 日	開催方法等	出席者
第1回	令和5年5月10日（水）	県民福祉プラザ2階「県社協会議室」 及びオンライン会議（ハイブリッド開催）	11人
第2回	令和5年7月28日（金）	オンライン会議	7人
第3回	令和5年9月26日（火）	オンライン会議	10人

カ) 国研修「相談支援従事者指導者養成研修」への派遣

「相談支援従事者指導者養成研修」

期 日	第1回：令和5年6月7日（水）～6月9日（金） 第2回：令和6年3月15日（金）
-----	---

会 場	第1回：国立障害者リハビリテーションセンター学院（埼玉県所沢市） 第2回：オンライン研修（Zoom 使用）
派遣者	第1回：3人（研修講師等） 第2回：3人（研修講師等）

② サービス管理責任者等研修

障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法の適切かつ円滑な運営に資するため、サービスや支援の質の確保に必要な知識、技能を有するサービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者を養成することを目的に実施した。

ア) サービス管理責任者等基礎研修

講義

期 日	令和5年10月2日（月）～16日（月）
開催方法	WEB 講義（YouTube による動画配信）
講 師	一般社団法人 権利擁護あおい森ねっと 相談支援事業所 陽だまり 管理者 藤森 健吾 氏 他

演習

期 日	令和5年11月25日（土）
会 場	アスパム5階「あすなろ」 他
研修修了者	193人
講 師	特定非営利活動法人 夢 理事長 前田 淳裕 氏 他

イ) サービス管理責任者等更新研修

期 日	1回目：令和5年12月16日（土） 2回目：令和5年12月17日（日） 3回目：令和6年1月20日（土）
開催方法	オンライン開催（Zoom 使用）
研修修了者	1回目：122人 2回目：120人 3回目：124人 合 計：366人
講 師	特定非営利活動法人 夢 理事長 前田 淳裕 氏 他

ウ) サービス管理責任者等実践研修

期 日	令和6年2月10日（土）～2月11日（日）
会 場	アスパム5階「あすなろ」 他
研修修了者	121人
講 師	特定非営利活動法人 夢 理事長 前田 淳裕 氏 他

エ) サービス管理責任者等研修ワーキング会議

講師及び事務局で研修の企画・運営を検討するために開催した。

回 数	期 日	開催方法	出席者
第1回	令和5年4月26日（水）	県民福祉プラザ2階「県社協会議室」	7人
第2回	令和5年6月12日（月）	オンライン会議	8人
第3回	令和5年7月28日（金）	オンライン会議	7人
第4回	令和5年9月26日（火）	オンライン会議	6人
第5回	令和5年11月24日（金）	アスパム9階「津軽」	5人

第2 福祉サービスの利用者と事業者の支援

第6回	令和5年11月24日（金）	アスパム9階「津軽」	21人
第7回	令和5年12月15日（金）	アスパム5階「白鳥」	3人
第8回	令和5年12月15日（金）	アスパム5階「白鳥」	22人
第9回	令和6年2月9日（金）	アスパム6階「八甲田」	4人
第10回	令和6年2月9日（金）	アスパム6階「八甲田」	19人

オ) 国研修「サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者指導者養成研修」への派遣

期 日	① 令和5年9月12日（火） ② 令和5年9月13日（水）～9月15日（金）
開催方法等	① オンライン研修 ② 国立障害者リハビリテーションセンター学院（埼玉県所沢市）
派遣者	① 5人（研修講師等） ② 3人（研修講師等）

③強度行動障害支援者養成研修

自傷、他害行為など、危険を伴う行動を頻回に示すことなどにより、日常生活において困難が生じている強度行動障害を有する方が安定した日常生活を送ることができるよう、支援に必要な基礎的な知識と技術を習得し、障害特性の理解に基づく適切な支援を行う職員を養成することを目的に実施した。

ア) 強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）

期 日	第1回：令和5年10月5日（木）～6日（金） 第2回：令和5年10月26日（木）～27日（金）
会 場	第1回：青森県水産ビル7階「大会議室」 第2回：青森県水産ビル7階「大会議室」
研修修了者	第1回：87人 第2回：88人
講 師	一般社団法人 プロップ 理事長 沼山 重明 氏 社会福祉法人 青森県すこやか福祉事業団 ライフサポートあおば 所長 前中 貴次 氏 他

イ) 強度行動障害支援者養成研修（実践研修）

期 日	令和6年2月27日（火）～28日（水）
会 場	青森県水産ビル7階「大会議室」
研修修了者	146人
講 師	一般社団法人プロップ 理事長 沼山 重明 氏 社会福祉法人 青森県すこやか福祉事業団 ライフサポートあおば 所長 前中 貴次 氏 他

ウ) 強度行動障害支援者養成研修ワーキング会議

講師及び事務局で研修の企画・運営を検討するために開催した。

回 数	期 日	開催方法	出席者
第1回	令和5年4月14日（金）	オンライン会議	10人
第2回	令和5年6月29日（木）	県民福祉プラザ2階「ボランティアルーム」	10人
第3回	令和5年9月4日（月）	オンライン会議	11人
第4回	令和5年12月7日（木）	オンライン会議	10人

エ) 国研修「強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践）指導者研修」への派遣

期 日	基礎研修：①令和5年5月29日（月）～30日（火） 基礎研修：②令和5年6月12日（月）～13日（火） 実践研修：①令和5年6月1日（木）～2日（金） 基礎研修：②令和5年6月15日（木）～16日（金）
開催方法	オンライン研修
派遣者	2人（研修講師）

④同行援護従業者養成研修

ア）同行援護従業者養成研修（一般課程）

視覚障がいにより、移動に著しい困難を有する障がい者等に対して、移動に必要な情報の提供、移動の援護、排せつ及び食事等、外出時に必要な援助を行うことに関する一般的な知識及び技術を習得することにより、県内の同行援護事業に従事する職員の養成とサービスの質の向上を図ることを目的に実施した。

期 日	令和5年6月21日（水）～23日（金）
会 場	青森県観光物産館アスパム5階「あすなろ」 他
研修修了者	25人
講 師	特定非営利活動法人 神奈川県視覚障害者福祉協会 理事長 鈴木 孝幸 氏／事務局長 福喜多 恭子 氏 インストラクター：棟方 洋子 氏 他

イ）同行援護従業者養成研修（応用課程）

青森県同行援護従業者養成研修（一般課程）において習得した知識及び技術を深め、特に重度の視覚障害者（児）の障害及び疾病の理解や場面別における同行援護技術等を習得することにより、同行援護事業に従事する職員の養成とサービスの質の向上を図ることを目的に実施した。

期 日	令和5年7月11日（火）～12日（水）
会 場	青森県観光物産館アスパム5階「あすなろ」 JR 青森駅、JR バス東北（株）青森支店駐車場内、他
研修修了者	16人
講 師	特定非営利活動法人 神奈川県視覚障害者福祉協会 理事長 鈴木 孝幸 氏／事務局長 福喜多 恭子 氏 インストラクター：棟方 洋子 氏 他

ウ）同行援護従業者養成研修ワーキング会議

講師及び事務局で研修の企画・運営を検討するために開催した。

回 数	期 日	開催方法等	出席者
第1回	令和5年4月18日（火）	県民福祉プラザ2階「ボランティアルーム」及びオンライン会議（ハイブリッド開催）	9人
第2回	令和5年6月20日（火）	アスパム5階「あすなろ」	2人
第3回	令和5年7月10日（月）	アスパム5階「あすなろ」	2人

第3 福祉を担う人材の確保と養成

1 福祉人材センター事業等の推進

良質かつ効果的な福祉サービスを提供するために高い専門性を備えた人材の確保・養成が必要なことから、これから福祉の業務に従事しようとする人及び福祉従事者、経営者に対する各種研修等を実施するとともに、働きがいのある職場づくりを支援した。

(1) 福祉人材情報システムを活用した無料職業紹介

①福祉人材情報システムを活用した無料職業紹介事業の実施

区分	有効 求職者数	有効 求人数	有効 求人件数	紹介数	採用人数	求人 相談件数	求職 相談件数
青森県福祉 人材センター	1,641	3,862	2,343	115	68	1,788	1,799
弘前福祉 人材バンク	266	707	283	26	17	96	130
八戸福祉 人材バンク	395	1,329	700	39	27	65	187
計	2,302	5,898	3,326	180	112	1,949	2,116

ア) 福祉人材情報(COOL)システムによる情報提供(求人情報提供、通年)

イ) 求職登録者の意識調査

福祉分野への就職を希望する求職者の意向やニーズを把握し、今後のきめ細やかな無料職業紹介事業につなげることを目的に実施した。

調査対象者：128人(令和5年12月15日時点で本センターに登録している有効求職者)

回答者：31人(回答率24.2%)

(2) 福祉人材養成校及び福祉施設・事業所と連携した求人・求職の開拓

①介護の支え手「介護サポーター」採用事業

介護職員が専門的な知識・技術を必要とする業務に専念できるよう、家事的な業務を行う介護サポーターを雇用することで、介護現場の作業効率の向上を図るとともに、介護人材の更なる確保や定着促進等につなげてもらえるよう支援した。

ア) 実施希望法人との打合せ

期日	開催方法	出席法人	内容
令和5年 9月6日(水)	オンライン	17法人	(1) 本事業のスケジュール及び実施内容について (2) お仕事説明会について

イ) 参加法人 16法人

- | | | |
|------------|------------------|--------------|
| ・社会福祉法人心和会 | ・社会福祉法人諏訪ノ森会 | ・社会福祉法人虹 |
| ・社会福祉法人宏仁会 | ・社会福祉法人青森社会福祉振興団 | |
| ・社会福祉法人嶽陽会 | ・社会福祉法人つがる三和会 | ・社会福祉法人鶴松会 |
| ・社会福祉法人緑風会 | ・社会福祉法人八陽会 | ・社会福祉法人スプリング |
| ・医療法人青仁会 | ・社会福祉法人愛桂会 | ・社会福祉法人奥入瀬会 |
| ・社会福祉法人吉幸会 | ・社会福祉法人徳望会 | |

ウ) 地域住民への周知

介護サポーター募集のチラシを、ポスティング（190,273 世帯）及び新聞折込み（58,490 世帯）により毎戸配布した。

エ) 採用状況等

介護サポーター申込者	77 人
職場体験実施者	67 人
面接実施者 ※3 ヶ月間の有期パート雇用	47 人 → うち、採用は 23 人
継続雇用者	17 人 介護サポーター12 人、介護職 5 人

②無料職業紹介事業における福祉施設、事業所への巡回訪問

福祉施設・事業所等へ巡回訪問し、求人状況等について情報収集するとともに、求職者のニーズに基づいた求人開拓に努めた。

また、福祉人材センター・バンクの事業を周知するほか、各種研修事業等の情報提供を行い、求人の確保とマッチングの促進につなげた。

ア) 巡回事業所数

のべ 352 ヶ所（うち求人登録数 116 件）※感染症拡大防止のため架電等での対応を含む。

施設種別	件数	施設種別	件数
特別養護老人ホーム	16	介護老人保健施設	8
グループホーム（高齢）	42	有料老人ホーム	83
通所施設（高齢）	66	その他（高齢）	57
障害分野	80		

イ) 就業後のフォローアップ件数 34 件

ウ) 福祉のお仕事ホームページ（福祉人材情報システム）の活用

- ・求人票ネット登録促進チラシの配布

③福祉人材養成校への巡回訪問

県内福祉養成校への巡回訪問により、就職及び進学状況等について情報収集するとともに、福祉人材無料職業紹介事業に係るイベント等を情報提供し、学生に対する求職登録の促進や福祉分野への関心を高め、福祉・介護人材の確保とマッチングの促進を目的として実施した。

訪問数：12 ヶ所

期日	訪問先
令和 5 年 5 月 17 日（水）	青森県立保健大学、青森明の星短期大学
令和 5 年 6 月 6 日（火）	青森大学、青森中央短期大学
令和 5 年 6 月 16 日（金）	弘前医療福祉大学短期大学部
令和 5 年 7 月 6 日（木）	弘前厚生学院、弘前学院大学
令和 5 年 7 月 28 日（金）	八戸学院大学、八戸学院大学短期大学部
令和 6 年 1 月 16 日（火）	青森明の星短期大学
令和 6 年 1 月 26 日（金）	青森大学
令和 6 年 1 月 30 日（火）	青森中央短期大学

第3 福祉を担う人材の確保と養成

④福祉・介護の人材確保に係る学校巡回訪問

高等学校：9ヶ所

期日	訪問先
令和5年6月28日（水）	県立八戸東高校
令和5年7月4日（火）	県立青森西高校
令和5年7月11日（火）	県立第二高等養護学校
令和5年7月28日（金）	八戸工業大学第二高校、八戸学院光星高校
令和5年10月26日（木）	青森県立青森北高等学校
令和5年11月2日（木）	青森県立弘前南高等学校
令和6年2月1日（木）	青森県立第二高等養護学校
令和6年2月20日（火）	青森県立第二高等養護学校

中学校：5ヶ所

期日	訪問先
令和5年6月27日（火）	青森市立筒井中学校
令和5年6月28日（水）	新郷村立新郷中学校
令和5年7月14日（金）	弘前市立第一中学校
令和5年9月20日（水）	青森市立佃中学校
令和5年10月24日（火）	藤崎町立藤崎中学校

小学校：4ヶ所

期日	訪問先
令和5年7月6日（木）	弘前市立常盤野小学校
令和5年7月14日（金）	弘前市立福村小学校
令和5年9月15日（金）	青森市立浦町小学校
令和5年10月20日（金）	黒石市立黒石東小学校

⑤県内介護員養成研修事業者への巡回訪問（求職開拓）

介護職員初任者研修等事業所に対し、研修の実施状況について聞き取り等を行った。

実施事業所 23ヶ所

- ・株式会社日本教育クリエイト三幸福祉カレッジ青森教室
- ・株式会社ニチイ学館青森本町教室、弘前教室、八戸校
- ・株式会社JMTC 青森教室、弘前教室
- ・株式会社ケア・グー
- ・株式会社善世会
- ・合同会社ビリーフケア
- ・株式会社ジョブメイト
- ・株式会社リブライズ
- ・株式会社スパイラル・アップ
- ・株式会社ソフトキャンパス
- ・株式会社ミライフ
- ・社会福祉法人青森社会福祉振興団
- ・医療法人泰仁会十和田第一病院
- ・社会福祉法人宏仁会
- ・社会福祉法人寿栄会
- ・社会福祉法人楽晴会
- ・社会福祉法人生きがいの十和田
- ・社会福祉法人七峰会
- ・学校法人東奥学園東奥学園高等学校
- ・公益財団法人介護労働安定センター青森支部

（3）求職者（潜在的有資格者、資格を有しないものを含む）等を対象とした講習会の開催

①福祉施設就労支援・体験講習会「ふくしを学ぼう！体験講習会」

『無理なく安全に 介護現場で役立つ介護技術の基本～移乗介助・ベッド上での起居動作の介助を学ぼう～』をテーマに講座を実施した。また、キャリア支援専門員による個別相談会も実施した。

期日	参加者	相談者	新規求職登録者	会場	講師
令和5年 8月22日(火)	15人	2人	4人	県民福祉プラザ	一般社団法人慈恵会 青森慈恵会病院職員
令和5年 9月7日(木)	5人	0人	1人	八戸市 総合福祉会館	医療法人藤仁会 介護老人保健施設えぼし職員
令和5年 11月9日(木)	5人	4人	2人	弘前市 社会福祉センター	有限会社ケアサポートかがやき 有料老人ホームかがやき職員
計	25人	6人	7人		

②有資格者等職場体験事業

体験者 45 人、施設数 26 ヶ所、体験日数 55 日

(4) 各種就職相談会等による求職者の開拓と就労支援

①福祉の仕事相談フェア

期日	会場	参加法人	参加者	相談 のべ件数	新規求職 登録者数
令和5年 7月1日(土)	青森市東奥日報新町ビル New's ホール	28 法人	36 人 (うち学生 5 人)	120 件	13 人
令和5年 12月9日(土)	八戸市総合福祉会館	20 法人	27 人 (うち学生 1 人)	61 件	6 人
令和5年 12月18日(月)	弘前市ヒロロ	14 法人	4 人 (うち学生 0 人)	7 件	0 人
令和6年 3月2日(土)	青森市 ウエディングプラザアラスカ	26 法人	58 人 (うち学生 15 人)	177 件	11 人
計		88 法人	125 人 (うち学生 21 人)	365 件	30 人

②福祉の仕事一日移動相談

ア) 福祉・保育の仕事一日移動相談(青森県福祉人材センター主催)

期日	会場	相談者	うち学生	新規求職登録者
毎月1回	イトーヨーカドー青森店	20 人	1 人	9 人

イ) 福祉のしごと移動相談(弘前福祉人材バンク主催)

期日	会場	相談者	うち学生	新規求職登録者
令和5年5月17日(水)	五所川原市エルム	1 人	0 人	0 人
令和5年5月23日(火)	弘前市ヒロロ	8 人	0 人	4 人
令和5年10月13日(金)	五所川原市エルム	5 人	2 人	5 人
令和5年11月24日(金)	つがる市イオン柏	0 人	0 人	0 人
計		14 人	2 人	9 人

ウ) 福祉の仕事1日移動相談(八戸福祉人材バンク主催)

期日	会場	相談者	うち学生	新規求職登録者
令和5年6月6日(火)	八戸市ラピア	3 人	0 人	1 人
令和5年6月13日(火)	おいらせ町イオンモール下田	4 人	0 人	2 人
令和5年10月11日(水)	おいらせ町イオンモール下田	2 人	0 人	0 人
令和5年10月17日(火)	八戸市イトーヨーカドー	6 人	0 人	0 人
計		15 人	0 人	3 人

(5) 労働局等関係機関との連携による福祉人材確保の推進

①福祉人材バンクの設置

第3 福祉を担う人材の確保と養成

ア) 委託先

- ・弘前市社協（弘前福祉人材バンク）
- ・八戸市社協（八戸福祉人材バンク）

- イ) 業務内容
- ・福祉人材無料職業紹介事業
 - ・福祉サービスに関する啓発・広報事業
 - ・社会福祉事業従事者の確保に資する事業

ウ) 福祉人材センター・バンクマッチング会議

毎月 1 回、人材センターとバンクの実績を把握するほか、今後のマッチング等に向けた検討や事例検討などを行った。

②福祉人材センター運営委員会

期日	会場	出席者	内容
令和 5 年 8 月 30 日 (水)	青森県総合社会 教育センター	10 人	(1) 委員長及び副委員長の選任について (2) 令和 4 年度事業報告について (3) 令和 5 年度事業計画及び実施状況について (4) 青森県介護現場向上総合相談センター（仮称） 開設について【情報提供】 (5) 青森県保育士・保育所支援センターの事業実施 状況について【情報提供】
令和 6 年 2 月 29 日 (木)	Zoom による オンライン開催	9 人	(1) 令和 5 年度事業進捗状況について (2) 令和 6 年度事業計画案について (3) あおもり介護生産性向上相談センター開設に ついて【情報提供】 (4) 青森県保育士・保育所支援センターの事業実施 状況について【情報提供】

③ハローワーク（人材確保対策コーナー）との連携

ア) 福祉のお仕事ガイド入門セミナー

ハローワークと連携して、福祉の職場への就職や転職を検討されている方を対象に、福祉のお仕事ガイド入門セミナーを開催した。福祉の仕事の必要性や仕事内容、資格などについて周知したほか、個別相談も実施した。

青森県福祉人材センター

期日	会場	参加者	個別相談	新規求職登録者
毎月 1 回	青森公共職業安定所	145 人	18 人	5 人

八戸福祉人材バンク

期日	会場	参加者	個別相談	新規求職登録者
毎月 1 回	八戸公共職業安定所	162 人	12 人	0 人

イ) 福祉人材センター・ハローワーク青森との連携事業

○求人情報の提供や福祉施設等との面接会、各種セミナー等について、福祉人材センター及びハローワーク青森が連携して支援を実施した。

連携事業同意者数 364 人（うち、人材センター登録者数 224 人）

就職者数 163 人（うち、人材センター紹介者数 29 人）

○福祉人材センター・ハローワーク連携事業担当者調整会議

担当者間でケース検討や情報交換を行ったほか、相互研修を開催した。

【調整会議】四半期に1回開催

【相互研修】

期日	会場	内容・講師	参加対象
令和5年 11月24日(金)	青森公共 職業安定所	「青森県福祉人材センター 業務内容説明会」 講師：青森県福祉人材 センター職員	ハローワーク職員
令和5年 12月4日(月)	県民福祉 プラザ	「求職者のアセスメントの ポイントを学ぶ」 講師：青森公共職業安定所職員	青森県福祉人材 センター職員

【その他、関係機関との連携】

ア) 介護基本技術講習（介護労働安定センター主催）での事業等説明

期日	会場	参加者	相談者	新規求職登録者
令和5年8月24日(木)	八戸市津波防災センター	16人	0人	0人
令和5年9月4日(月)	三沢市国際交流教育センター	3人	0人	0人
令和5年11月9日(木)	十和田市民文化センター	7人	1人	0人
令和5年11月30日(木)	八戸市津波防災センター	24人	0人	0人
令和6年1月11日(木)	県民福祉プラザ	46人	0人	15人
計		96人	1人	15人

イ) 介護労働講習（実務者研修含む）（介護労働安定センター主催）での事業等説明

期日	会場	参加者	相談者	新規求職登録者
令和5年11月17日(金)	青森市はまなす会館	25人	0人	10人

④教職員向け福祉分野理解促進事業

中学校、高校の教員向けに、福祉の仕事への参入促進の必要性を伝えるとともに、福祉人材センターの業務について周知した。

期日	会場	周知対象等	参加者
令和5年 7月6日(木)	青森県総合社会教育センター	青森県中学校長会研究対策委員会	15人
令和5年 7月11日(火)	青森県総合学校教育センター	青森県中学校技術・家庭部会研究会	15人
令和5年 8月31日(木)	青森県総合学校教育センター	中学校、高校の家庭科教員 講義・演習 「高齢者の理解や接し方等を取り 入れた家庭科の授業について」	13人

(6) 効果的なイメージアップ等広報啓発活動の推進

①福祉人材センター・バンク周知用ポスター・チラシ・リーフレットの作成・配布

ア) 福祉人材センター・バンク周知用ポスター・チラシ

- ・作成枚数 ポスター180枚、チラシ12,000枚
- ・配布先 469ヶ所

(市町村社協、市町村役場、中学校、高等学校、福祉人材養成校、介護員養成研修実施事業所、公共職業安定所、ジョブカフェ、ショッピングセンター、図書館等)

第3 福祉を担う人材の確保と養成

イ) 福祉施設職場体験事業ポスター・チラシ

- ・作成枚数 ポスター600枚、チラシ13,800枚
- ・配布先 507ヶ所

(中学校、高等学校、市町村社協、市町村役場、福祉人材養成校、介護員養成研修実施事業所、公共職業安定所、ジョブカフェ、ショッピングセンター、図書館等)

ウ) 福祉・保育・医療のしごと合同相談会(7月)ポスター・チラシ

- ・作成枚数 ポスター350枚、チラシ7,000枚
- ・配布先 670ヶ所

(高等学校、市町村社協、福祉人材養成校、介護員養成研修実施事業所、公共職業安定所、ジョブカフェ、ショッピングセンター、図書館、市民センター、保育士・保育所支援センター求職登録者、福祉人材センター求職登録者等)

エ) 福祉の仕事“あれこれ”出前講座チラシ

- ・作成枚数 チラシ3,500枚
- ・配布先 785ヶ所

(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、福祉養成校、市町村社協)

オ) 青森県福祉人材センター・バンク及び介護の資格届出制度周知用リーフレット

- ・作成枚数 リーフレット2,000枚

カ) 青森県民間社会福祉事業職員共済事業の退会者への資格届出制度周知用リーフレットの配布、福祉人材センター・バンク及び保育士・保育所支援センターの周知

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	629人	130人	58人	93人	86人	76人	104人	73人	57人	89人	86人	63人	1,544人

キ) 介護員養成研修受講費補助事業チラシ

- ・作成枚数 チラシ 一般用：5,000枚、私立高校用：3,000枚
- ・配布先 129ヶ所

(市町村社協、介護員養成研修事業所、私立高校、公共職業安定所、図書館)

ク) 介護職員育児支援事業費補助事業チラシ

- ・作成枚数 チラシ1,000枚
- ・配布先 47ヶ所(青森県介護サービス事業所認証取得事業所)

ケ) ふくしを学ぼう！体験講習会(福祉施設就労支援・体験講習会)ポスター・チラシ

- ・作成枚数 ポスター210枚、チラシ7,300枚
- ・配布先 281ヶ所

(福祉人材バンク、公共職業安定所、ジョブカフェ、市民センター、県民生協、図書館、公民館、書店、福祉人材センター求職登録者)

コ) 福祉・保育の仕事一日移動相談ポスター・チラシ

- ・作成枚数 ポスター50枚、チラシ3,000枚
- ・配布先 33ヶ所

(福祉人材バンク、公共職業安定所、福祉養成校、ジョブカフェ、ショッピングセンター、市民センター、図書館、福祉人材センター求職登録者等)

サ) 福祉・保育・医療のしごと合同相談会（3月）ポスター・チラシ

- ・作成枚数 ポスター500枚、チラシ9,000枚
- ・配布先 520ヶ所

（高等学校、市町村社協、福祉人材養成校、介護員養成研修実施事業所、公共職業安定所、ジョブカフェ、ショッピングセンター、図書館、市民センター、保育士・保育所支援センター求職登録者、福祉人材センター求職登録者等）

シ) その他、広報紙等を活用した周知

- ・福祉・保育の一日移動相談：クリッパー6回、広報あおもり5回
- ・福祉・保育、医療のしごと合同相談会（7月）：広報あおもり1回、市営バス広告、ATV「わっち」出演
- ・ふくしを学ぼう！体験講習会：広報あおもり2回、広報はちのへ1回、広報ひろさき1回
- ・福祉・保育・医療のしごと合同相談会（3月）：広報あおもり1回、インスタグラム広告、Workin 1回、チラシ毎戸配布226,094世帯
- ・人材センター、無料職業紹介周知：東奥日報「介護職応援企画」広告、むつ市公共交通時刻表広告

②SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を利用した広報活動

青森県福祉人材センターフェイスブック及びX（旧ツイッター）、LINE@の更新内容

- ・新着求人 10回
- ・福祉・保育・医療のしごと相談フェスタ 6回
- ・ふくしを学ぼう！体験講習会 5回
- ・福祉施設職場体験事業 1回
- ・福祉職員キャリアパス対応生涯研修 2回

（7）若年層向け福祉に対する理解促進事業の推進

①学生等対象職場体験事業

体験者95人（うち学生59人）、施設数42ヶ所、体験日数のべ122日

②福祉の仕事あれこれ出前講座

小中高生に対して、福祉・介護の現場で働く職員が仕事の魅力ややりがい伝えるほか、車いす体験や介護技術等に関する演習を行うことで、学生・生徒が福祉への理解や関心を深め、将来の職業選択につなげてもらう機会とした。

また、中学校、高校については、希望により職場見学・体験も実施している。

圏域別実施校数：37校

	東青	西北	中南	三八	上北
	講話・演習	講話・演習	講話・演習	講話・演習	講話・演習
小学校	2	2	10	4	1
中学校	3	0	3	2	1
高等学校	2	0	2	0	1
特別支援学校	1	1	1	1	0
合計	8	3	16	7	3

※実施のべ回数：45回、参加生徒・学生数：1,397人

うち、職場体験実施校：2校（中学校1校、高校1校）

第3 福祉を担う人材の確保と養成

【小・中・高校生対象福祉施設体験講習会】

八戸福祉人材バンク ※小学生対象

期日	令和5年7月27日（木）
会場	特別養護老人ホーム瑞光園
参加者	13人（小学生11人、保護者2人）
内容	しあわせをつくる ふくしのお仕事探検！ 福祉に関する講話や車いす等の体験のほか、施設見学やレクリエーション交流を行った。 講師：社会福祉法人同伸会 特別養護老人ホーム瑞光園職員

八戸福祉人材バンク ※高校生対象

期日	令和5年8月17日（木）～18日（金）
会場	特別養護老人ホーム瑞光園
参加者	20人（高校生17人、社協実習大学生3人）
内容	夏休み福祉体験スクール 1日目 福祉に関する講話や車いす等の体験、施設見学のほか、福祉系大学へ進学した大学生からのメッセージをいただいたり、職員との交流を図った。 講師：社会福祉法人同伸会 特別養護老人ホーム瑞光園職員 八戸市社協の実習生 2日目 施設で体験学習

弘前福祉人材バンク ※高校生対象

期日	①講義編：令和6年2月13日（火） ②体験編：令和6年2月29日（木）
会場	①講義編：弘前学院聖愛高等学校 ②体験編：デイサービスセンター高館山温泉
参加者	33人
内容	高校生対象福祉のお仕事魅力発見セミナー 介護の仕事に関する講話のほか、職場の雰囲気を知ってもらうために施設見学を行った。 講師：①講義編 株式会社善世会 取締役部長 ②体験編 デイサービスセンター高館山温泉職員

弘前福祉人材バンク ※中学生対象

期日	令和6年3月14日（木）
会場	聖愛中学高等学校体育館
参加者	37人（聖愛中学校1、2年生）
内容	中学生対象福祉のお仕事魅力発見セミナー 介護の仕事に関する講話のほか、車椅子操作体験や高齢者疑似体験を行った。 講師：弘前市社協職員

（8）福祉従事者向け生涯研修等の実施

①福祉職員キャリアパス対応生涯研修

職員各々のキャリアパスの段階に応じて求められる能力を体系的に習得してもらうとともに、法人・事業所が職員の育成に取り組む体制作りを支援した。

ア）初任者コース

期日	令和5年6月22日（木）～23日（金）
会場	青森県観光物産館アスパム
対象	・新卒入職後3年以内の職員 ・他業界から福祉職へ入職後3年以内の職員
参加者	67人（修了者66人）
講師	株式会社エイデル研究所 経営支援部 青森オフィス 主任コンサルタント 野土谷 諒 氏

イ) 管理職員コース

期日	令和5年8月24日（木）～25日（金）
会場	オンライン研修
対象	・近い将来管理者の役割を担うことが想定される指導的立場の職員 ・現に小規模事業管理者・部門管理者等に就いている職員
参加者	32人（修了者32人）
講師	日本女子大学 教授 久田 則夫 氏

ウ) 中堅職員コース

期日	令和5年11月1日（水）～2日（木）
会場	青森市アウガ
対象	・担当業務の独力遂行が可能なレベルの職員 （入職後概ね3～5年程度の節目の職員）
参加者	56人（修了者55人）
講師	株式会社エイデル研究所 人材育成支援部 チーフコーディネーター 増田 直哉 氏

エ) チームリーダーコース

期日	令和5年11月21日（火）～22日（水）
会場	青森市新町キューブ
対象	・近い将来チームリーダー等の役割を担うことが想定される中堅職員 ・現に主任・係長等に就いている職員
参加者	70人（修了者70人）
講師	株式会社エイデル研究所 取締役 鈴木 政彦 氏

(9) 経営者及び研修担当者向け福祉・介護人材の確保、定着促進研修等の実施

①初任者研修受講費補助の促進

福祉人材センター・バンク等への求職登録者等で介護員養成研修を受講した者に対して、1人あたり8万円を上限として受講費を補助し、質の高い新規参入者の確保を目指した。

・交付件数 96件、5,782,008円（うち、高校生21件、1,612,800円）

②育児支援サービス利用等補助の促進

青森県介護サービス事業所認証評価を取得した事業所等が、子育て中の介護職員が育児支援サービス等を利用する場合の費用を負担した場合、その費用の一部を補助することを通じて、子育てをしながら働き続けることができる環境整備を支援した。

・交付件数 5件、48,500円

③職場研修担当者研修

職場における研修計画の策定方法や研修技法等を習得してもらうことを目的に実施した。

期日	令和6年1月23日（火）～24日（水）
会場	オンライン研修

第3 福祉を担う人材の確保と養成

参加者	23 人（修了者 23 人）
講師	株式会社エイデル研究所 取締役 鈴木 政彦 氏

④経営者支援セミナー

人材確保対策の一環として、職場の環境整備や職員のメンタルヘルスの向上を図ることを目的に実施した。

【コース1 離職防止環境整備研修会】

期日	令和6年2月16日（金）
会場	オンライン研修
参加者	40 人
講師	・人が育ち定着する職場作りをしていくためのポイントとヒントを学ぶ 日本女子大学 教授 久田 則夫 氏

【コース2 メンタルヘルス研修会】

期日	令和6年2月22日（木）
会場	オンライン研修
参加者	68 人
講師	・メンタルヘルス対策の進め方や部下への関わり方、早期発見から職場復帰支援までのポイントを学ぶ 桜美林大学 教授 種市 康太郎 氏

⑤福祉人材確保支援セミナー、⑥福祉人材確保研究会

福祉業界の経営に求められる採用力アップや人材定着のための業務改善等を促進することを目的に実施した。

【福祉人材確保支援セミナー】

期日	令和6年1月30日（火）
会場	オンライン研修
参加者	27 人
講師	・「採用活動の秘訣」セミナー ～成果につながる採用の糸口と伝え方の秘訣～ 株式会社エイデル研究所 京都支社 事業企画部 部長 櫻井 園子 氏

【福祉人材確保研究会】

期日	令和6年2月5日（月）
会場	オンライン研修
参加者	17 人
講師	・福祉業界の人材定着を考える研究会 ～定着に向けた職場環境と問題の解決方法～ 株式会社 TRAPE 代表取締役 鎌田 大啓 氏

2 保育士確保及び子育て環境づくりの推進

(1) 青森県保育士・保育所支援センターの運営

職業安定法に基づく無料職業紹介事業の許可を得て、平成27年9月から保育士・保育所支援センターを運営し、また、保育士再就職支援コーディネーターを配置し、青森県保育士人材バンクシステムを活用して業務を行った。

①保育士、潜在保育士等の就労・再就職支援・相談助言等

ア) 求人・求職の相談及び登録受付等件数

相談件数	728 件
求職相談	286 件
求人相談	157 件
就業上の相談	1 件
その他	284 件
求人登録件数	187 件
求職登録件数	92 件
紹介状発行件数	43 件
面接件数	44 件
就職件数	70 件（うち紹介状あり 40 件）
求職登録者宛て情報提供（求人情報送付）	延べ 37 回 686 件

イ) 青森県保育士人材バンクの運営

保育所への就職を希望する保育士の求職登録、保育人材を求める保育所等の求人登録がホームページで行える「青森県保育士人材バンク」システムを運用した。

また、「青森県保育士人材バンク」内「研修・お知らせ」ページに現任の保育士、潜在保育士向けの研修会や相談フェア開催の情報及び離職保育士届出制度等の情報を掲載した。

ウ) 保育士・保育所支援センターマッチング会議の開催

センター職員全員が求職登録者と求人事業所について把握し、より良いマッチングに繋げることを目的としてマッチング会議を開催し、求職者の状況把握、求人事業所とのマッチングについて協議を行った。

また、求職者の多様なニーズに対応するため、ニーズ検討を行い、求職者登録者や求人の確保、周知方法等について協議した。

期 日	内 容
【1回目】令和5年4月27日（木）	・求職者・新規バンク登録者について ・求人について ・出張相談会について ・今年度の研修について ・養成校の挨拶回りの日程調整について ・出張相談会時のファミリーサポートセンター巡回について
【2回目】令和5年5月24日（水）	・求職者・新規バンク登録者について ・求人について ・各種研修について
【3回目】令和5年6月22日（木）	・求職者・新規バンク登録者について ・求人について ・令和5年度 保育のおしごと出張相談会 Part2 の開催予定について ・むつハローワーク訪問の報告

第3 福祉を担う人材の確保と養成

【4回目】令和5年7月28日(金)	・求職者・バンク登録者について ・求人について ・令和5年度 保育のおしごと出張相談会 Part2 の開催予定について ・離職保育士届出の促進について
【5回目】令和5年8月31日(木)	・求職者・バンク登録者について ・求人について ・離職保育士届出の促進について ・SNS の活用について
【6回目】令和5年9月25日(月)	・求職者・バンク登録者について ・求人について ・これからの研修について ・Instagram投稿について
【7回目】令和5年10月25日(水)	・求職者・バンク登録者について ・わくわく研修について
【8回目】令和5年11月22日(水)	・求職者・バンク登録者について ・求人について ・わくわく研修について
【9回目】令和5年12月27日(水)	・求職者・バンク登録者について ・リーフレットのリニューアルについて ・出張及び研修の係員配置について ・求職登録削除について
【10回目】令和6年1月29日(月)	・求職者・バンク登録者について
【11回目】令和6年3月25日(月)	・求職者・バンク登録者について

エ) 保育士養成校への巡回訪問

県内保育士養成校（大学・短期大学・専修学校）7ヶ所への巡回訪問により、就職、進学状況等の把握及び求職登録の依頼の確認を実施し、チラシの配布による情報提供を行った。

期 日	訪問先	訪問数
令和5年4月20日(木)	弘前市 柴田学園大学	1ヶ所
令和5年4月21日(金)	弘前市 弘前厚生学院	1ヶ所
令和5年4月25日(火)	八戸市 八戸学院大学短期大学部	1ヶ所
令和5年4月28日(金)	弘前市 柴田学園大学 短期大学部	1ヶ所
令和5年5月12日(金)	青森市 青森明の星短期大学、東奥保育・福祉専門学院	2ヶ所
令和5年5月15日(月)	青森市 青森中央短期大学	1ヶ所
計		7ヶ所

オ) 青森県保育士・保育所支援センターニュースの作成・配布

	名 称	発行月	内 容	配布先
求職者版	保育士として働きたい人のための青森県保育士・保育所支援センターニュース 令和5年度第1号	令和5年4月	①求職者の皆様へ ②研修計画のお知らせ！ ③再就職事例	求職登録者 228人

	保育士として働きたい人のための青森県保育士・保育所支援センターニュース 令和5年度第2号	令和5年 12月	①求職者の皆様へ ②Instagram始めました ③保育士就職準備金貸付 ④再就職事例	求職登録者 288 人
保育所版	保育所等のための青森県保育士・保育所支援センターニュース 令和5年度第1号	令和5年 7月	・求職・求人登録状況 ・学生さんの登録が増えています！ ・相談会で質問のあった「こんな求人ありませんか？」 ・令和5年度研修・相談会予定 ・求人情報の登録をお願いします	609 ケ所／保育所 197 ケ所、認定こども園 303 ケ所、小規模保育施設等 69 ケ所、市町村役場（市町村保育所担当部課）40 ケ所
	保育所等のための青森県保育士・保育所支援センターニュース 令和5年度第2号	令和5年 12月	・求職・求人登録状況 ・無料職業紹介について ・活用しませんか「事業所 PR シート」 ・県内各地で出張相談会を開催 ・研修会報告	610 ケ所／保育所 194 ケ所、認定こども園 304 ケ所、県内認可外保育施設 60 ケ所、県内病児保育所 12 ケ所、市町村役場（市町村保育所担当部課）40 ケ所

カ) 事業周知用ポスター・チラシ等の作成・配布

事業名	作成枚数	配布先
『令和5年度 保育のお仕事出張相談会 Part1』周知用ポスター・チラシ (令和5年4月)	ポスター 300 枚、 チラシ 9,000 枚	送付：529 ケ所 保育士養成校、関係機関（子育て支援機関）、書店、青森労働局、公共職業安定所、ジョブカフェ、マザーズコーナー、ショッピングセンター、図書館、公民館、県民生協、マエダ、紅屋商事株式会社グループ、市町村役場、弘前福祉人材バンク、八戸福祉人材バンク、求職登録者
『令和5年度 保育士向け就職サポート講座&相談会』周知用ポスター・チラシ (令和5年8月)	ポスター 290 枚、 チラシ 7,000 枚	送付：584 ケ所 関係機関（子育て支援機関）、書店、青森労働局、公共職業安定所、ジョブカフェ、マザーズコーナー、ショッピングセンター、図書館、公民館、株式会社ユニバース、県民生協、紅屋商事株式会社グループ、求職登録者（チラシのみ送付）、市町村役場
『令和5年度保育のおしごと出張相談会 Part2』周知用ポスター・チラシ (令和5年9月)	ポスター 300 枚、 チラシ 9,000 枚	送付：276 ケ所 保育士養成校、関係機関（子育て支援機関）、書店、青森労働局、公共職業安定所、ジョブカフェ、マザーズコーナー、ショッピングセンター、図書館、公民館、県民生協、紅屋商事株式会社グループ、求職登録者（チラシのみ送付）、市町村役場
『令和5年度 保育士向け就職サポート講座&相談会』 (令和5年9月)	ポスター 300 枚、 チラシ 7,000 枚	送付：577 ケ所 保育士養成校、関係機関（子育て支援機関）、書店、青森労働局、公共職業安定所、ジョブカフェ、マザーズコーナー、ショッピングセンター、図書館、公民館、県民生協、紅屋商事株式会社グループ、株式会社ユニバース、求職登録者（チラシのみ送付）、市町村役場

第3 福祉を担う人材の確保と養成

『令和5年度 保育士向け就職サポート等オンデマンド講座』 (令和5年9月)	ポスター 300枚、 チラシ 7,000枚	送付：267ヶ所 保育士養成校、関係機関（子育て支援機関）、書店、青森労働局、公共職業安定所、ジョブカフェ、マザーズコーナー、ショッピングセンター、図書館、公民館、県民生協、紅屋商事株式会社グループ、株式会社ユニバース、求職登録者（チラシのみ送付）、市町村役場
『令和5年度保育のおしごと出張相談会 Part3』	ポスター 300枚、 チラシ 9,000枚	送付：272ヶ所 保育士養成校、関係機関（子育て支援機関）、書店、青森労働局、公共職業安定所、ジョブカフェ、マザーズコーナー、ショッピングセンター、図書館、公民館、県民生協、紅屋商事株式会社グループ、求職登録者（チラシのみ送付）、市町村役場

キ) 事業周知用フリーペーパー等への掲載

事業名	名 称	作成枚数	配布・設置先
『令和5年度 保育のおしごと出張相談会 Part1』事業周知	LINE (令和5年4月17日)	74人	青森県保育士・保育所支援センター公式 LINE お友達登録者
『令和5年度 保育のおしごと出張相談会 Part1』周知フリーペーパー	CLIPPER [クリッパー] (2023年5月号 vol.251)	132,400部	青森市、弘前市管内 (ポスティング含む)
『保育士再就職準備金等貸付』周知	LINE (令和5年5月15日)	72人	青森県保育士・保育所支援センター公式 LINE お友達登録者
『令和5年度 保育のおしごと出張相談会 Part1』周知フリーペーパー	Plus[プリュス]5月27日号 (2023年5月26日発行 vol.198)	100,000部	八戸市内他
『令和5年度 保育のおしごと出張相談会 Part1』周知	LINE (令和5年6月7日)	74人	青森県保育士・保育所支援センター公式 LINE お友達登録者
『令和5年度福祉・保育・医療のしごと 相談フェスタ』ブース参加周知	LINE (令和5年6月28日)	75人	青森県保育士・保育所支援センター公式 LINE お友達登録者
『令和5年度 保育のおしごと出張相談会 Part1』周知広報	広報ごしよがわら (令和5年5月号)	市内全戸	五所川原市内
	広報ひろさき (令和5年5月15日号)	市内全戸	弘前市内
	広報はちのへ (令和5年6月号)	市内全戸	八戸市内
	広報おいらせ (令和5年6月号)	町内全戸	おいらせ町内
	広報むつ (令和5年5月号)	市内全戸	むつ市内
『保育者の学びのニーズに応じた研修～「保育って楽しい」～』研修案内	LINE (令和5年7月7日)	75人	青森県保育士・保育所支援センター公式 LINE お友達登録者
『令和5年度 福祉・保育の仕事 一日移動相談』周知	LINE (令和5年7月18日)	76人	青森県保育士・保育所支援センター公式 LINE お友達登録者

『令和5年度 保育士向け就職サポート講座&相談会』周知広報	広報ひろさき (令和5年8月15日号)	市内全戸	弘前市内
	広報はちのへ (令和5年9月号)	市内全戸	八戸市内
	広報あおり (令和5年9月15日号)	市内全戸	青森市内
『令和5年度 福祉・保育の仕事 一日移動相談』周知	LINE (令和5年8月18日)	77人	青森県保育士・保育所支援センター公式 LINE お友達登録者
『令和5年度 保育士向け就職サポート講座&相談会』周知	LINE (令和5年8月28日)	78人	青森県保育士・保育所支援センター公式 LINE お友達登録者
『令和5年度 保育士向け就職サポート講座&相談会』周知フリーペーパー	CLIPPER [クリッパー] (2023年9月号 vol. 255)	132,400部	青森市、弘前市管内 (ホースティング含む)
	Plus[プリュス]9月8日号 (2023年9月8日発行 vol. 205)	100,000部	八戸市内他
『令和5年度 福祉・保育の仕事 一日移動相談』周知	LINE (令和5年9月15日)	78人	青森県保育士・保育所支援センター公式 LINE お友達登録者
『令和5年度 保育のおしごと出張相談会 Part2』周知フリーペーパー	Plus[プリュス]9月22日号 (2023年9月22日発行 vol. 206)	100,000部	八戸市内他
『令和5年度 保育のおしごと出張相談会 Part2』周知	LINE (令和5年9月29日)	77人	青森県保育士・保育所支援センター公式 LINE お友達登録者
『令和5年度 保育のおしごと出張相談会 Part2』周知フリーペーパー	CLIPPER [クリッパー] (2023年10月号 vol. 256)	132,400部	青森市、弘前市管内 (ホースティング含む)
『令和5年度 保育のおしごと出張相談会 Part2』周知広報	広報ごしょがわら (令和5年10月号)	市内全戸	五所川原市内
	広報おいらせ (令和5年10月号)	町内全戸	おいらせ町内
	広報はちのへ (令和5年10月号)	市内全戸	八戸市内
『令和5年度 保育のおしごと出張相談会 Part2』周知	LINE (令和5年10月16日)	79人	青森県保育士・保育所支援センター公式 LINE お友達登録者
『令和5年度 保育士向け就職サポート等オンデマンド講座』案内	LINE (令和5年11月10日)	82人	青森県保育士・保育所支援センター公式 LINE お友達登録者
『映画こどもかいぎ上映会 in はちのへ』周知	LINE (令和5年11月10日)	84人	青森県保育士・保育所支援センター公式 LINE お友達登録者
『令和5年度 保育士試験(後期実施分)実技試験』事業周知	リーフレット配布 (令和5年12月10日)	受験者	青森市内受験会場
『令和5年度 保育のおしごと出張相談会 Part2』周知	LINE (令和5年12月11日)	83人	青森県保育士・保育所支援センター公式 LINE お友達登録者

第3 福祉を担う人材の確保と養成

	Instagram (令和5年12月11日)	44人	青森県保育士・保育所 支援センター公式 Instagram フォロワー
『令和5年度 保育士向け 就職サポート等オンデマ ンド講座』案内	LINE (令和5年12月20日)	82人	青森県保育士・保育所 支援センター公式 LINE お友達登録者
『令和5年度 病児・病後 児保育研修』周知	LINE (令和6年1月1日)	81人	青森県保育士・保育所 支援センター公式 LINE お友達登録者
『令和5年度 保育のおし ごと出張相談会 Part3』周知	Instagram (令和6年1月16日)	62人	青森県保育士・保育所 支援センター公式 Instagram フォロワー
	LINE (令和6年1月17日)	83人	青森県保育士・保育所 支援センター公式 LINE お友達登録者
『令和5年度 保育のおし ごと出張相談会 Part3』周知 広報	広報ひろさき (令和6年1月15日号)	市内全戸	弘前市内
	広報ごしょがわら (令和6年2月号)	市内全戸	五所川原市内
	広報おいらせ (令和6年2月号)	町内全戸	おいらせ町内
	広報はちのへ (令和6年2月号)	市内全戸	八戸市内
	広報むつ (令和6年2月)	市内全戸	むつ市内
	CLIPPER [クリッパー] (2024年2月号 vol.260)	132,400部	青森市、弘前市管内 (ホースティング含む)
	Plus[プリュス]1月26日号 (2024年1月26日発行 vol.214)	100,000部	八戸市内他
	Instagram (令和6年2月6日)	66人	青森県保育士・保育所 支援センター公式 Instagram フォロワー
令和5年度福祉・保育・医 療のしごと相談フェスタ	LINE (令和6年2月8日)	86人	青森県保育士・保育所 支援センター公式 LINE お友達登録者
	Instagram (令和6年2月28日)	66人	青森県保育士・保育所 支援センター公式 Instagram フォロワー
『青森県保育士・保育所支 援センター』周知広報	CLIPPER [クリッパー] (2024年3月号 vol.261)	132,400部	青森市、弘前市管内 (ホースティング含む)
	Plus[プリュス]2月9日号 (2024年2月9日発行 vol.215)	100,000部	八戸市内他
	東奥日報 (令和6年3月2日)		青森県全域
	デイリー東北 (令和6年3月2日)		青森県南部 岩手県北部

『令和5年度 保育のおしごと出張相談会 Part3』周知広報	Instagram (令和6年3月15日)	66人	青森県保育士・保育所支援センター公式 Instagram フォロワー
	LINE (令和6年3月15日)	86人	青森県保育士・保育所支援センター公式 LINE お友達登録者
『保育士就職準備金貸付制度』周知広報	Instagram (令和6年3月22日)	66人	青森県保育士・保育所支援センター公式 Instagram フォロワー
	LINE (令和6年3月22日)	110人	青森県保育士・保育所支援センター公式 LINE お友達登録者

ク) 他関係機関・団体主催会議・研修等への参加

期 日	会 場	内 容
令和5年4月21日(金)	ZOOM(オンライン)	令和5年度 福祉人材センター業務・法令研修
令和5年6月27日(火)	平川市 平賀保育園	『令和5年度 平賀保育園園内研修』 「青森県保育士・保育所支援センターの事業について」 「保護者との対応・マナー(電話のポイント)について」
令和5年6月29日(木)	ZOOM(オンライン)	令和5年度 青森県人材確保対策推進協議会
令和5年9月22日(金)	ZOOM(オンライン)	令和5年度 第1回青森県待機児童対策協議会
令和6年1月15日(月)	ZOOM(オンライン)	令和5年度 東北ブロック保育士・保育所支援センター事業実施県社協情報交換会

②保育士再就職支援活動の周知等説明会、再就職相談会等の開催

ア) センター主催事業の開催

期 日	会 場	参加者	内 容
令和5年 4月1日～ 令和6年 3月31日	ZOOM(オンライン)	0人	『保育のお仕事オンライン相談会』 ・個別相談 ・保育求人閲覧・紹介
令和5年 4月28日(金)	青森市 イトーヨーカドー 青森店正面玄関入口	0人 うち保育士0人	『福祉・保育の仕事一日移動相談』 ・個別相談 ・保育求人閲覧・紹介
令和5年 5月17日(水)	五所川原市 ELM 1階カプリチョーザ横	1人 うち保育士1人	『令和5年度 保育のおしごと出張相談会 Part1』 ・個別相談 ・保育求人閲覧・紹介
令和5年 5月23日(火)	弘前市 ヒロロ 3階ヒロ ロスクエアイベントス ペース	8人 うち保育士6人	
令和5年 5月25日(木)	青森市 イトーヨーカドー 青森店正面玄関入口	2人 うち保育士2人	
令和5年 6月6日(火)	八戸市 八戸ショッピング センターラピア 1階ファ ッションストリート入口	3人 うち保育士1人	
令和5年 6月13日(火)	おいらせ町 イオンモ ール下田 1階 ウェルカム コート	4人 うち保育士3人	
令和5年 6月21日(水)	むつ市 マエダ本店 1階 休憩スペース	0人 うち保育士0人	

第3 福祉を担う人材の確保と養成

令和5年 6月28日(水)	青森市 イトーヨーカドー ー青森店正面玄関入口	1人 うち保育士1人	
令和5年 7月28日(金)	青森市 イトーヨーカドー ー青森店正面玄関入口	1人 うち保育士0人	『令和5年度 福祉・保育の仕事一 日移動相談』 ・個別相談 ・保育求人閲覧・紹介
令和5年 8月28日(月)	青森市 イトーヨーカドー ー青森店正面玄関入口	2人 うち保育士1人	
令和5年 9月12日(火)	弘前市 ヒロロ 多世代 交流室2	4人 うち保育士4人	
令和5年 9月20日(水)	県民福祉プラザ 2階 多 目的室2B	3人 うち保育士3人	『令和5年度 保育士向け就職サポ ート講座&相談会』 ・個別相談 ・保育求人閲覧・紹介
令和5年 9月26日(火)	VISIT はちのへ ユートリ ー 異業種交流室	3人 うち保育士2人	
令和5年 9月28日(木)	青森市 イトーヨーカドー ー青森店正面玄関入口	2人 うち保育士1人	
令和5年 10月11日(水)	おいらせ町 イオンモー ル下田 1階 クリスタル スペース	1人 うち保育士1人	『令和5年度 保育のおしごと出張 相談会 Part2』 ・個別相談 ・保育求人閲覧・紹介
令和5年 10月13日(金)	五所川原市 ELM 1階カプリチョーザ前	8人 うち保育士4人	
令和5年 10月17日(火)	八戸市 ピアドウ八戸 1 階 B棟 EV前イベントス ペース	5人 うち保育士2人	
令和5年 10月18日(水)	青森市 イトーヨーカドー ー青森店正面玄関入口	2人 うち保育士2人	
令和5年 11月28日(火)	青森市 イトーヨーカドー ー青森店正面玄関入口	0人 うち保育士0人	
令和5年 12月18日(月)	青森市 イトーヨーカドー ー青森店正面玄関入口	0人 うち保育士0人	
令和5年 12月20日(水)	青森市 イトーヨーカドー ー青森店正面玄関入口	4人 うち保育士3人	
令和6年 1月18日(木)	青森市 イトーヨーカドー ー青森店正面玄関入口	0人 うち保育士0人	『令和5年度 保育のおしごと出張 相談会 Part3』 ・個別相談 ・保育求人閲覧・紹介
令和6年 1月23日(火)	弘前市 ヒロロ 3階ヒロ ロスクエアイベントス ペース	2人 うち保育士0人	
令和6年 2月9日(金)	八戸市 ピアドウ八戸 1 階 B棟 EV前イベントス ペース	4人 うち保育士3人	
令和6年 2月13日(火)	つがる市 イオンモール 下田 1階 クリスタルス ペース	2人 うち保育士2人	
令和6年 2月22日(木)	おいらせ町 イオンモー ル柏 1階 モーリーファ ンタジー前	2人 うち保育士2人	
令和6年 2月28日(水)	青森市 イトーヨーカドー ー青森店正面玄関入口	1人 うち保育士0人	

令和6年 3月5日(火)	むつ市 むつ来さまい館 1階 会議室	1人 うち保育士1人	『令和5年度 保育のおしごと出張 相談会 Part3』 ・個別相談 ・保育求人閲覧・紹介
令和6年 3月18日(月)	青森市 イトーヨーカド ー青森店正面玄関入口	1人 うち保育士0人	
計		67人 うち保育士 45人	

イ) 他関係機関・団体主催事業への参加

期 日	会 場	参加者	内 容
令和5年 7月1日(土)	青森市 東奥日報新町ビ ル New's ホールホール	36人 うちブース来場 3人 (保育士2人)	『令和5年度 福祉・保育・医療の しごと 相談フェスタ』 ・個別面談相談会 ・ブース参加
令和5年 11月6日(月)	むつ市 むつ来さまい館	18人 うちブース来場 0人 (保育士0人)	『青森お仕事相談会(むつ会場)』 ・個別面談 ・保育求人閲覧・紹介
令和5年 11月8日(水)	八戸市 ラピア	44人 うちブース来場 1人 (保育士1人)	『青森お仕事相談会(八戸会場)』 ・個別面談 ・保育求人閲覧・紹介
令和5年 12月6日(水)	弘前市 ヒロロ	19人 うちブース来場 0人 (保育士0人)	『青森お仕事相談会(弘前会場)』 ・個別面談 ・保育求人閲覧・紹介
令和5年 12月9日(土)	八戸市 八戸市総合福祉 会館 2階 多目的ホー ル	26人 うちブース来場 1人 (保育士1人)	『福祉のしごと 就職総合フェア 2023』 ・個別面談相談会 ・ブース参加
令和5年 12月18日(月)	弘前市 ヒロロ 4階市 民文化交流館ホール	4人 うちブース来場 1人 (保育士0人)	『令和5年度 福祉の仕事 相談フ ェア』 ・個別面談相談会 ・ブース参加
令和6年 3月2日(土)	青森市 ウェディングブ ラザアラスカ 地下1階サファイア	58人 うちブース来場 2人 (保育士0人)	『令和5年度 福祉・保育・医療の しごと 相談フェスタ』 ・個別面談相談会 ・ブース参加
計		205人 うち保育士4人	

③離職保育士のセンターへの届出の勧奨

離職保育士の届出をハガキで行えるリーフレットを県内公共職業安定所等に送付することで、離職保育士届出制度を周知した。

また、「青森県保育士人材バンク」内「研修・お知らせ」及び県社会福祉協議会ホームページにチラシ等を掲載し、併せて、青森県民間社会福祉事業職員共済事業の「退職所得の源泉徴収票・特別徴収票」の裏刷り広告に掲載し、離職保育士届出の勧奨に努めた。

ア) 受付件数

離職保育士届出件数	69件
-----------	-----

第3 福祉を担う人材の確保と養成

イ) 離職保育士向け情報誌作成・配布

名 称	発行月	内 容	配布先
青森県離職保育士情報局 令和5年度版	令和6年2月	① 見学・体験・就職について ② 就職準備金貸付 ③ 保育のお仕事出張相談会 Part3	離職保育士 119人

④病児・病後児保育研修の実施

期 日	令和6年1月27日(土)、2月3日(土)
実施方法	オンライン
参加者	44人(うち修了証書発行43人)
内 容	『令和5年度病児・病後児保育研修』 ①病児・病後児保育の概要 青森県健康福祉部こどもみらい課 主事 鎌田 孝治 氏 ②リスクマネジメント(アレルギー・SIDS) 全国病児保育協議会安全対策委員会 保坂小児クリニック院長 枚方病児保育室くるみ 保坂 泰介 氏 ③薬に関する知識 株式会社なの花東北 ブロック長 薬剤師 尾崎 絵理奈 氏 ④病児・病後児保育における感染症対策 ⑤リスクマネジメント(子どもの一次救命措置法) 全国病児保育協議会感染症対策委員会 あらいこどもクリニック/眼科クリニック 院長病児保育室きりん 荒井 宏治 氏 ⑥病児・病後児の発達・心理を理解したうえでの遊び 青森中央学院大学 看護学部 教授 齋藤 美紀子 氏 ⑦病児・病後児保育を利用する子どもの主な症状と対応 全国病児保育協議会研修委員会 横井小児科内科医院 病児保育室こりすの里 横井 透 氏 ⑧子どもが病気の時の保護者支援 全国病児保育協議会 病児保育専門士資格認定委員長 みるく病児保育センター 永野 和子 氏

⑤保育士人材の確保に係る研修の実施

ア) 保育士養成施設学生等対象研修

保育士養成校卒業生の県内就職・定着を促進するため、県内の各保育士養成校の学生を対象に、就職に向けたセミナーを実施した。

期 日	会 場	参加者	内 容
令和5年 7月5日 (水)	青森市 青森中央短期 大学	27人	『令和5年度保育士養成施設学生等対象研修』 ・事業説明「青森県保育士・保育所支援センターの取り組みについて」 ・講話「保育士としてのスタートを切ろう！～保育士になる皆さんへ～」
令和5年 10月4日 (水)	青森市 青森明の星短 期大学	42人	
令和5年 10月18日 (水)	八戸市 八戸学院大学 短期大学部	63人	
計		132人	

また、保育分野への就職に関心のある者に対し、保育所及び認定こども園等での職場体験の調整等を行った。

(再掲) 体験者数 11人、体験施設数 8施設、延べ 13日間

イ) 就業継続支援研修 保育所に就業している保育士等を対象に、保育に関する知識や技術のほか、就業継続に必要な内容の研修を実施した。

期 日	令和5年10月30日(月)
実施方法	ZOOM(オンライン)及び会場(ホテル青森)参加
参加者	75人(オンライン27人 会場48人)
内 容	『めざせ！スーパー保育者！！わくわく研修』 講義・演習「明日の保育がもっと楽しくなる！自分らしい保育の見つけ方」 講師 株式会社ぎゅぎゅっとハッピー 代表 三原 勇気 氏 講義「コロナ5類移行のいま、配慮すべき保育と虐待防止」 講師 青森県保育連合会 研修研究部会長 進藤 昭仁 氏 講義・演習「自分も相手も大切にする自己表現と聞き方」 講師 青森明の星短期大学 保育専攻 教授 手塚 理香子 氏

ウ) 潜在保育士再就職支援研修

期 日	会 場	参加者等	内 容
令和5年 9月12日(火)	弘前市 ヒロロ 多世代交流室2	2人	『令和5年度 保育士向け就職サポート講座&相談会』 ・「知ったく情報提供」 ・「子どもと楽しめる！作って楽しいハロウィーン製作」
令和5年 9月20日(水)	県民福祉プラザ 2階 多目的室2B	4人	
令和5年 9月26日(火)	VISIT はちのへ ユートリー 異業種交流室	3人	
【配信期間】 令和5年 11月1日(水) ～30日(木)	動画配信	個人22人 事業所5ヶ所 視聴回数 32回	『令和5年度 保育士向け就職サポートオンライン講座』 【第1回】「子どもと共に楽しむ保育製作」 講師 訪問保育士・インフルエンサー わたこ先生 氏
【配信期間】 令和5年 12月1日(金) ～28日(木)	動画配信	個人29人 事業所9ヶ所 視聴回数 34回	『令和5年度 保育士向け就職サポートオンライン講座』 【第2回】「発達の偏りのある子どもの理解と対応について」 講師 発達凸凹共育会「はぐとも」 代表 小澤 幸恵 氏
【配信期間】 令和6年 1月5日(金) ～31日(水)	動画配信	個人30人 事業所9ヶ所 視聴回数 46回	『令和5年度 保育士向け就職サポートオンライン講座』 【第3回】「やる気を引き出す子どもとの関わり方」 講師 青森中央短期大学 幼児保育学科 准教授 兼平 友子 氏

エ) 管理者研修

期 日	【1日目】令和5年8月22日(火) 【2日目】令和5年8月23日(水)
方 式	ZOOM(オンライン)
参加者	【1日目】 28人 【2日目】 25人

第3 福祉を担う人材の確保と養成

内 容	【1日目】 [講義・演習] 保育所におけるキャリアパスの実際と、人事考課制度との連携 [講義・演習] 人事考課制度の類型を学び、事業所に合った仕組みを考える [講義・演習] 事例から学ぶ保育所における人事考課制度の必要性 [講義・演習] 人事考課制度の構築や見直しの手法、運用のポイントを学ぶ 株式会社エイデル研究所 経営支援部 次長 鷹木 大輔 氏
	【2日目】 [講 義] キャリアパスと心理的安全性 [講義・演習] 情報共有のみならず価値観のすり合わせをするスキル [講義・演習] 心理的安全性のある職場を目指す 株式会社エイデル研究所 人材育成支援部 チーフコーディネーター 増田 直哉 氏

⑥ニーズに応じた研修

期 日	令和5年9月2日（土）
方 式	ZOOM（オンライン）及び会場参加
参加者	講義1 62人 講義2 61人 講義3 57人 講義4 55人 シンポジウム 40人
内 容	「保育者の学びのニーズに応じた研修～「保育って楽しい！」を実感するために～」 講義1『子どもと響き合いながら、遊びや生活を共に創る保育の展開』 講師 八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科 教授 今 清孝 氏 講義2『落ち着きのない子への具体的な支援』 講師 札幌市立手稲中央幼稚園 園長 坪井 康彦 氏 講義3『幼児教育の面白さと喜び』 講師 札幌市立きくすいもとまち幼稚園 園長 松井 泰子氏 講義4『子どもの眼差しから考える造形理解』 講師 八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科 准教授 池田 拓馬 氏 シンポジウム『保育が楽しくなる実践研究のススメ』 実践発表 美郷こども園 保育教諭 葛西 幸恵 氏 シンポジスト・助言 札幌市立手稲中央幼稚園 園長 坪井 康彦 氏 札幌市立きくすいもとまち幼稚園 園長 松井 泰子 氏 コーディネーター 八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科 教授 差波 直樹 氏

[その他]

・ハローワーク巡回

期 日	会 場	内 容
令和5年6月21日（水）	ハローワークむつ	保育士の求職活動状況の情報収集
令和5年7月25日（火）	ハローワーク三沢	
	ハローワーク八戸	

・青森県ナースセンター訪問

期 日	会 場	内 容
令和5年8月23日(水)	青森県看護協会	離職保育士の促進に係る青森県看護協会での潜在ナースの離職届出の聞き取り調査

・求職登録者、求人事業所に対する状況調査アンケート

青森県保育士・保育所支援センターに求職、求人登録している情報について現在の状況等を確認するため、アンケート調査を実施した。

期 日	調査名	対象	調査数
1回目 令和5年4月13日(木)	求職登録者アンケート調査	求職登録者	235人
1回目 令和5年5月11日(木)	求人情報の状況調査	求人事業所	148ヶ所
2回目 令和5年9月14日(木)	求職登録者アンケート調査	求職登録者	236人
2回目 令和5年9月14日(木)	求人情報の状況調査	求人事業所	183ヶ所
3回目 令和5年12月14日(木)	求職登録者アンケート調査	求職登録者	260人
3回目 令和5年12月14日(木)	求人情報の状況調査	求人事業所	189ヶ所

(2) 放課後児童支援員認定資格研修の実施

期 日	[1日目] 令和5年11月27日(月) [2日目] 令和5年11月28日(火) [3日目] 令和5年12月4日(月) [4日目] 令和5年12月5日(火)
会 場	青森市 リンクステーションホール青森(青森市文化会館)5階 大会議室
参加者	143人
内 容	1 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)の理解 (1)放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容 講師 青森県健康福祉部 こどもみらい課 児童施設支援グループ 主事 北谷紀恵 氏 (2)放課後児童健全育成事業の一般原則と権利擁護 (3)子ども家庭福祉施策と放課後児童クラブ 講師 八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科 教授 天摩 雅和 氏 2 子どもを理解するための基礎知識 (1)子どもの発達理解 講師 青森明の星短期大学 子ども福祉未来学科保育専攻 准教授 高橋 多恵子 氏 (2)児童期(6歳～12歳)の生活と発達 講師 青森明の星短期大学 子ども福祉未来学科保育専攻 講師 櫻本 和也 氏 (3)障害のある子どもの理解 (4)特に配慮を必要とする子どもの理解 講師 青森中央短期大学 幼児保育学科 非常勤講師 松浦 淳 氏 3 放課後児童クラブにおける子どもの育成支援 (1)放課後児童クラブに通う子どもの育成支援 講師 岩手大学 教育学部 学校教育科 准教授 深作 拓郎 氏 (2)子どもの遊びの理解と支援 講師 青森明の星短期大学 子ども福祉未来学科保育専攻 准教授 高橋 多恵子氏 (3)障害のある子どもの育成支援 講師 青森中央短期大学 幼児保育学科 非常勤講師 松浦 淳 氏 4 放課後児童クラブにおける保護者・学校・地域との連携・協力

第3 福祉を担う人材の確保と養成

	(1)保護者との連携・協力と相談支援 (2)学校・地域との連携 講師 八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科 教授 差波 直樹 氏 5 放課後児童クラブにおける安全・安心への対応 (1)子どもの生活面における対応 (2)安全対策・緊急時対応 講師 東京海上日動火災保険株式会社 公務第二部 課長 堀 吉聡 氏 6 放課後児童支援員として求められる役割・機能 (1)放課後児童支援員の仕事内容 講師 岩手大学 教育学部 学校教育科 准教授 深作 拓郎 氏 (2)放課後児童クラブの運営管理と運営主体の法令の遵守 講師 放課後児童クラブわくわくクラブ 斎藤 憲法 氏
--	--

(3) 放課後児童支援員等資質向上研修事業

放課後児童支援員の資質向上を目的に“初任者コース”と“中堅者コース”の2コースの研修を実施した。

	初任者コース	中堅者コース
期 日	令和5年12月8日(金)	令和5年12月14日(木)
会 場	青森市 リンクステーションホール青森 4階中会議室	青森市 リンクステーションホール青森 4階中会議室
対 象	放課後児童クラブ従事者で、放課後児童支援員認定資格研修修了者かつ勤務経験年数5年未満の職員	放課後児童クラブ従事者で、放課後児童支援員認定資格研修修了者かつ勤務経験年数5年以上の職員
参加者	40人(修了証書発行 40人)	70人(修了証書発行 69人)
内 容	講義・演習 「子どもの放課後を本気で考えるⅠ」 ①放課後児童支援員として備えるべき資質 健全な心身、観察力、柔軟性、倫理観、センス、感性等 ②子どもの育成支援に必要な専門的知識及び技術 育成支援の内容理解と計画の考え方、実践事例検討等 講義・演習 「子どもの放課後を本気で考えるⅡ」 ①子どもの育成支援に必要な専門的知識及び技術 子どもの育成支援、障害のある子ども及び特に配慮を必要とする子どもへの対応等 ②地域や学校、保護者との連携 家庭への連絡の必要性の理解と工夫、学校との情報交換等の工夫、実践事例検討等 【講師】 国立大学法人岩手大学 教育学部 学校教育科 准教授 深作 拓郎 氏	講義・演習 「障害及び認知のアンバランスさのある子どもも含んだ、環境構成とかかわりの工夫」 ①障害のある子ども一人ひとりに即した理解と育成支援の工夫 障害（発達障害を含む）のある子どもの理解と支援、家庭の状況の把握と養育支援等 ②各関係機関との連携 地域の障害児関係の専門機関等の機能及び役割の理解と連携等 【講師】 青森中央短期大学 幼児保育学科 非常勤講師 松浦 淳 氏 講義・演習 「多機関連携・地域連携によってできること」 ① 児童虐待への対応と関係機関との連携 ② 各関係機関との連携 ③ 家庭の状況を理解することの必要性・保護者とのコミュニケーションのあり方 【講師】 八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科 教授 差波 直樹 氏

3 有資格者の就労定着に向けた支援

(1) 介護福祉士修学資金等貸付事業の実施

①介護福祉士修学資金等貸付事業の貸付

将来県内において介護福祉士及び社会福祉士としてその業務に従事しようとする方を対象に、修学資金の貸付を実施するため、各養成校を通じて募集を行った。

また、貸付決定者のうち在学中の者に対し毎月貸付金を送金するとともに、業務従事状況の確認、返還免除要件に合致する者の対応を図ったほか、自己都合により返還が生じた者への必要な手続きを行った。

ア) 貸付状況（過去5年間の実績・令和6年3月末現在）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計 (事業開始時～)
介護福祉士	21人	20人	11人	16人	32人	415人
社会福祉士	7人	2人	3人	2人	5人	43人
合 計	28人	22人	14人	18人	37人	458人

イ) 返還免除者数（令和6年3月末現在）

・・・資格取得後、返還免除対象業務に5年（過疎地3年）以上、従事した者

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計(事業開始時～)
9人	30人	21人	32人	19人	234人

ウ) 貸付予約者の募集

将来の介護福祉士等の確保に資することを目的に、本県に在住する高校3年生を対象に、修学資金の貸付予約を実施した。周知活動として、県社協ホームページへ掲載するとともに各施設、関係機関等へチラシ等の配布を行った。

- ・作成枚数 1,200枚
- ・配布先 県内高高等学校、県内介護福祉士等養成校、市町村社協、市町村
- ・予約募集締切日 令和6年1月31日

これまでの予約申込者数（令和6年3月末現在）

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計
12人	5人	12人	19人	8人	71人

②介護福祉士実務者研修受講資金の貸付

県内外の介護福祉士実務者研修施設に在学し、介護福祉士の資格取得を目指す学生を対象に、実務者研修受講資金の貸付を実施するため、県社協ホームページでの募集を図ったほか、早期に貸付が可能となるよう介護福祉士実務者研修施設と円滑な連携を図った。

また、貸付決定者に対し貸付金を送金するとともに、資格取得者の業務従事状況の確認のほか、自己都合により返還が生じた者への必要な手続きを行った。

ア) 貸付状況（過去5年間の実績・令和6年3月末現在）

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計(事業開始時～)
76人	81人	75人	61人	71人	556人

イ) 返還免除者数（令和6年3月末現在）・・・返還免除対象業務に2年以上従事した者

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計(事業開始時～)
5人	45人	64人	72人	72人	258人

③再就職準備金の貸付

介護職としての一定の知識及び経験を有する方に対して再就職するための準備金の貸付を実施するため、県社協ホームページでの募集を図ったほか、周知活動として各施設、関係機関等へチラシの配布を行った。

また、貸付決定者に対し貸付金を送金するとともに、業務従事状況の確認のほか、自己都合により返還が生じた者への必要な手続きを行った。

ア) 貸付状況（過去5年間の実績・令和6年3月末現在）

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計（事業開始時～）
15人	24人	31人	11人	8人	140人

イ) 返還免除者数（令和6年3月末現在）・・・介護業務に2年以上従事した者

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計（事業開始時～）
26人	17人	12人	22人	25人	104人

ウ) 事業周知用チラシの配布

周知活動として、事業周知用チラシを県内商業施設に配布、設置した。

④福祉系高校修学資金の貸付

県内の福祉系高校に在学し、介護福祉士の資格取得を目指す学生を対象に、修学資金等の貸付を実施するため、養成校を通じて募集を行った。周知活動として県社協ホームページへ掲載するとともに県内各中学校等へチラシの配布を行った。

また、貸付決定者に対し貸付金を送金するとともに、業務従事状況の確認を行った。

ア) 貸付状況（令和6年3月末現在）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計 （事業開始時～）
1年生	0人	0人	0人	0人
2年生	3人	3人	0人	6人
3年生	14人	4人	12人	30人
合計	17人	7人	12人	36人

イ) 事業周知用チラシの配布

・配布先 県社協会員施設会員、市町村社協等

⑤介護分野就職支援金の貸付

他業種で働いていた方等で、一定の研修を修了し、介護分野に就労しようとする方に対する就職準備金の貸付を実施するため、県社協ホームページへ掲載するとともに各施設、関係団体等へチラシの配布を行った。

また、貸付決定者に対し貸付金を送金するとともに、業務従事状況の確認のほか、自己都合により返還が生じた者への必要な手続きを行った。

ア) 貸付状況（令和6年3月末現在）

令和4年度	令和5年度	累計 （事業開始時～）
9人	21人	30人

イ) 事業周知用チラシの配布

・配布先 県社協会員施設、市町村社協等

⑥障害福祉分野就職支援金の貸付

他業種で働いていた方等で、一定の研修を修了し、障害福祉分野に就労しようとする方に対する就職準備金の貸付事業を実施するため、県社協ホームページへ掲載するとともに各施設、関係団体等へチラシの配布を行った。

ア) 貸付状況（令和6年3月末現在）

令和5年度	累計 (事業開始時～)
4人	4人

イ) 事業周知用チラシの配布

- ・配布先 県社協会員施設会員、市町村社協等

(2)保育士修学資金等貸付事業の実施

①保育士修学資金の貸付

青森県内の保育士養成施設に在学し、保育士の資格取得を目指す学生を対象に、修学資金の貸付を行うため、保育士養成施設を通じて募集を行った。

また、平成28年度からの貸付決定者のうち在学中の者に対し毎月貸付金を送金するとともに、在籍状況の確認を行った。

・貸付者数（令和6年3月末現在）

平成28年度から令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計
63人	29人	23人	27人	26人	168人

・返還免除者数（令和6年3月末現在）

令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計
2人	6人	7人	15人

・保育士養成校への巡回訪問

県内保育士養成校（大学・短期大学・専修学校）7ヶ所を巡回訪問し、保育士修学資金貸付者に対する情報提供や就職支援について説明した。

期 日	訪問先	訪問数
令和5年4月20日(木)	弘前市 柴田学園大学	1ヶ所
令和5年4月21日(金)	弘前市 弘前厚生学院	1ヶ所
令和5年4月25日(火)	八戸市 八戸学院大学短期大学部 青森市 青森中央短期大学	2ヶ所
令和5年4月26日(水)	青森市 青森明の星短期大学	1ヶ所
令和5年4月28日(金)	弘前市 柴田学園大学短期大学部	1ヶ所
令和5年5月12日(金)	青森市 東奥保育・福祉専門学院	1ヶ所
計		7ヶ所

②就職準備金の貸付

保育士資格を持ちながら、保育士として働いていない方の再就職支援のため、再就職に必要な費用の貸付を実施している。

また、周知活動として、県社協ホームページへ掲載するとともに、青森県保育士・保育所支援センター求職登録者へチラシを配布した。

第3 福祉を担う人材の確保と養成

- ・貸付決定状況（令和6年3月末現在）

平成28年度から令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計
54人	18人	22人	14人	13人	121人

- ・返還免除者数（令和6年3月末現在）・・・保育士業務に2年以上従事した者

平成30年度から令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計
18人	8人	13人	13人	26人	78人

ア) 事業周知用チラシの配布・周知

- ・配布先 青森県保育士・保育所支援センター求職登録者174人
- ・周知 県社協ホームページへ掲載し、募集を行った

③未就学児をもつ保育士の子どもの預かり支援

未就学児を持つ保育士の子どもの預かり支援に必要な費用の一部貸付を実施している。

また、周知活動として、県社協ホームページへ掲載するほか、青森県保育士・保育所支援センターの求職相談時にチラシを配布し、募集を行った。

(3) ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業の実施

①ひとり親家庭高等職業訓練促進資金の貸付

高等職業訓練促進給付金を活用して養成施設に在学し、就職に有利な資格の取得を目指すひとり親家庭の親に対して高等職業訓練促進資金の貸付を実施した。

- ・貸付状況（令和6年3月末時点）

貸付種類	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計 (事業開始時～)
入学準備金	3人	13人	7人	5人	3人	6人	3人	7人	47人
就職準備金	0人	8人	2人	4人	2人	2人	5人	2人	25人

ア) 裁量免除

貸付種類	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計
入学準備金	1人	0人	2人	2人	5人
就職準備金	0人	0人	0人	1人	1人

イ) 返還完了

貸付種類	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計
入学準備金	1人	0人	1人	1人	3人
就職準備金	0人	0人	0人	1人	1人

ウ) 当然免除

貸付種類	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計
入学準備金	0人	0人	0人	2人	2人
就職準備金	0人	0人	7人	2人	9人

②ひとり親家庭高等職業訓練促進資金（住宅支援資金）の貸付

ひとり親家庭の親の自立の促進を図ることを目的として、児童扶養手当の支給を受けている者（同等の水準の者を含む）で、母子・父子自立支援プログラムの策定を受けている者に対し、入居している住宅の家賃の実費（上限月4万円）を貸付する事業を実施するため、要綱・様式等を整備し、

県内福祉事務所に周知した。

・貸付状況（令和6年3月末時点）

令和4年度	令和5年度	合計 (事業開始時～)
3人	1人	4人

第3 福祉を担う人材の確保と養成

4 介護啓発・福祉機器普及センター事業の推進

介護の魅力発信や介護人材の育成を図るとともに介護ロボット等の普及を図り、介護環境の整備を推進した。

また若い世代から介護や介護職に対する理解を深め将来の職業として選択肢となりうるように、介護のイメージアップを図るための研修事業等を実施した。

(1) 介護イメージアップのための介護・福祉用具等の普及啓発

①介護体験型事業

ア) 高齢者疑似体験講座

高齢者の理解や福祉機器に関する基礎知識の啓発を図ることを目的に、高齢者疑似体験講座を行った。

	期 日	会場	対象等	参加者
1	令和5年 4月6日(木)	医療法人青仁会青南病院内	職員	10人
2	5月31日(水)	県立田名部高等学校	高校生	10人
3	6月16日(金)	つがる市立向陽小学校	小学生	55人
4	6月28日(水)	三沢市立木崎野小学校	小学生	71人
5	7月24日(月)	県民福祉プラザ	青森県民主医療 機関連合会	12人
6	7月27日(木)	県立八戸東高等学校	高校生	25人
7	8月17日(木)	社会福祉法人同伸会 特別養護老人ホーム瑞光園	高校生	20人
8	8月24日(木)	八戸市福祉公民館	一般	30人
9	8月30日(水)	三沢市立上久保小学校	小学生	50人
10	9月6日(水)	社会福祉法人素心の会 特別養護老人ホーム八戸素心苑	中学生 実習生	3人
11	9月11日(月)	県立大湊高等学校	高校生	4人
12	9月15日(金)	八戸市立豊崎小学校	小学生	15人
13	9月16日(土)	医療法人仁泉会青南病院	小・中・高校生 一般	30人
14	9月20日(水)	五所川原市立五所川原第二中学校	中学生	18人
15	9月21日(木)	八戸市立鯨中学校	中学生	47人
16	9月25日(月)	岩手県北自動車株式会社南部支社	一般	1人
17	9月27日(水)	八戸市立白鷗小学校	小学生	49人
18	9月27日(水)	むつ市立苔生小学校	小学生	83人
19	10月16日(月)	大鰐町立大鰐小学校	小学生	48人
20	10月17日(火)	平川市立平川東中学校	中学生	50人
21	10月19日(木)	おいらせ町立木内々小学校	小学生	50人
22	10月22日(日)	県民福祉プラザ	一般	50人
23	10月31日(火)	おいらせ町立木ノ下小学校	小学生	120人
24	11月2日(木)	特別養護老人ホーム百石荘	高校生	30人
25	11月6日(月)	特別養護老人ホーム百石荘	高校生	30人
26	11月9日(木)	特別養護老人ホーム百石荘	高校生	30人
27	11月13日(月)	特別養護老人ホーム百石荘	高校生	30人
28	11月25日(土)	おいらせ町立甲洋小学校	小学生	30人

29	12月1日(金)	県立大湊高校	高校生	3人
30	12月4日(月)	七戸町立七戸中学校	中学生	20人
31	12月13日(水)	県立八戸工業高校	高校生	10人
32	12月18日(月)	県立大湊高校	高校生	3人
33	12月19日(火)	八戸市立三条中学校	中学生	97人
34	1月19日(金)	八戸聾学校	小学生	5人
35	1月24日(水)	白銀小学校体育館	小学生	38人
36	1月25日(木)	藤崎町立常盤小学校	小学生	69人
37	1月30日(火)	三沢市立岡三沢小学校	小学生	96人
38	1月31日(水)	県民福祉プラザ	高校生	9人
39	2月7日(水)	三沢市立古間木小学校	小学生	24人
40	3月19日(火)	八戸市立三条中学校	中学生	97人
	合計			1472人

イ) 高齢者疑似体験講座開催支援事業

高齢者疑似体験セットの貸出、講座開催方法への助言及びインストラクターの紹介等を行った。

団体種別	貸出回数	体験者数
学校	7回	210人
一般	11回	217人
社協	9回	367人
合計	27回	794人

ウ) 介護・福祉用具体験講座

介護や介護職に対する理解を深め、介護に対するイメージアップを図ることを目的に介護技術や車いす等福祉用具活用の実習体験を行った。また、青森県福祉人材センター主催の福祉の仕事あれこれ出前講座と共催し高齢者疑似体験等の講座を行った。

	期 日	会 場	対象等	講師・内容	参加者
1	4月12日 (水)	県民福祉プラザ	ほけんの窓口 イトーヨー カドー青森 店	介護啓発・福祉機器普及センター登録 講師及び職員 ・高齢者疑似体験 ・介護技術と介護ロボット・介護機器 等の体験	12人
2	6月22日 (木)	県立青森第二高等 養護学校（あれこ れ出前講座共催）	3学年	社会福祉法人平元会 特別養護老人ホーム正寿園 職員 ・車いす体験 ・介護技術演習	6人
3	6月27日 (火)	青森市立筒井中学 校（あれこれ出前 講座共催）	3学年	社会福祉法人平元会 特別養護老人ホーム正寿園 職員 ・車いす体験 ・高齢者疑似体験	151人
4	6月28日 (水)	新郷村立新郷中学 校（あれこれ出前 講座共催）	3学年	医療法人仁泉会 介護老人保健施設しんごう 職員 ・介護技術演習 ・福祉施設のレクリエーション	15人

第3 福祉を担う人材の確保と養成

5	7月4日 (火)	県立青森西高等学校 (あれこれ出前 講座共催)	3 学年	一般社団法人慈恵会 じけいかい地域包括ケアシステムズ 海見える街こぼし 職員 ・車いす体験 ・高齢者疑似体験	17 人
6	7月5日 (水)	弘前市立北辰中学校 (あれこれ出前 講座共催)	3 学年	社会福祉法人弘前豊徳会 職員総合教育研修室 職員 ・車いす体験 ・介護技術演習 ・高齢者疑似体験	36 人
7	7月6日 (木)	弘前市立常盤野小 学校 (あれこれ出 前講座共催)	5・6 学年	社会福祉法人嶽陽会 特別養護老人ホーム松山荘 職員 ・車いす体験 ・介護技術演習 ・福祉施設のレクリエーション	7 人
8	7月7日 (金)	青森市立浪打中 学校 (あれこれ出 前講座共催)	2 学年	社会福祉法人温和会 特別養護老人ホーム朝光苑 職員 ・車いす体験 ・介護技術演習 ・福祉施設のレクリエーション	83 人
9	7月11日 (火)	県立青森第二高 等養護学校 (あれ これ出前講座共催)	1 学年	社会福祉法人和幸園 特別養護老人ホーム和幸園 職員 ・車いす体験 ・介護技術演習 (リネン交換)	8 人
10	7月13日 (木)	県民福祉プラザ	県立弘前 実業高等 学校 家庭科学 科 3 学年	介護啓発・福祉機器普及センター 職員 ・講話 「青森県の介護現場における課題と福 祉用具等の活用」 ・介護ロボット・介護機器等の体験	16 人
11	7月13日 (木)	五所川原市立五所 川原小学校 (あれ これ出前講座共 催)	5 学年	医療法人白生会 介護老人保健施設緑風苑 職員 ・車いす体験 ・介護技術演習 ・福祉施設のレクリエーション	44 人
12	7月13日 (木)	平川市立竹館小 学校 (あれこれ出 前講座共催)	4 学年	社会福祉法人七峰会 障害者支援施設山郷館くろいし 職員 ・車いす体験 ・福祉施設のレクリエーション	14 人
13	7月14日 (金)	弘前市立福村小 学校 (あれこれ出 前講座共催)	4 学年	社会福祉法人一葉会 小規模多機能型居宅介護事業所たんぼの丘 特別養護老人ホーム福寿園 職員 ・車いす体験 ・介護技術演習 ・福祉施設のレクリエーション ・高齢者疑似体験	63 人
14	7月14日 (金)	十和田市立切田中 学校 (あれこれ出 前講座共催)	2 学年	社会福祉法人福祉の里 老人保健施設みのり苑 職員 ・車いす体験 ・介護技術演習 ・福祉施設のレクリエーション	13 人

第3 福祉を担う人材の確保と養成

15	8月25日 (金)	青森市立浪岡南小学校（あれこれ出前講座共催）	4 学年	社会福祉法人報徳会 養護老人ホーム景楓荘 職員 ・車いす体験 ・高齢者疑似体験	28 人
16	8月31日 (木)	平川市立竹館小学校（あれこれ出前講座共催）	4 学年	社会福祉法人緑風会 特別養護老人ホーム緑青園 職員 ・介護技術演習 ・高齢者疑似体験	14 人
17	8月31日 (木)	六ヶ所村立南小学校（あれこれ出前講座共催）	4 学年	社会福祉法人松緑福祉会 障害者支援施設かけはし寮 職員 ・車いす体験 ・高齢者疑似体験	10 人
18	8月31日 (木)	青森県総合学校教育センター	県内中学・高校の家庭科教員	介護啓発・福祉機器普及センター 職員 ・講話 「高齢者の理解や接し方等を取り入れた家庭科の授業について」 ・介護技術演習	13 人
19	9月7日 (木)	県立青森第二高等養護学校（あれこれ出前講座共催）	3 学年	社会福祉法人平元会 特別養護老人ホーム正寿園 職員 ・車いす体験 ・介護技術演習（リネン交換）	5 人
20	9月15日 (金)	青森市立浦町小学校（あれこれ出前講座共催）	5 学年	一般社団法人慈恵会 じけいかい地域包括ケアシステムズ サービス付き高齢者向け住宅 海に見える街こぼし 職員 ・車いす体験 ・介護技術演習（リネン交換）	35 人
21	9月15日 (金)	八戸市立豊崎小学校（あれこれ出前講座共催）	6 学年	社会福祉法人道友会 いこい苑 いこい苑デイサービスセンター いこい苑在宅介護支援センター 職員 ・車いす体験 ・介護技術演習 ・福祉施設のレクリエーション ・高齢者疑似体験	11 人
22	9月19日 (火)	県立弘前第一養護学校（あれこれ出前講座共催）	2・3 学年	医療法人サンメディコ 介護老人保健施設ヴィラ弘前 職員 ・介護技術演習（食事介助） ・福祉施設のレクリエーション	10 人
23	9月20日 (水)	八戸市立図南小学校（あれこれ出前講座共催）	4 学年	有限会社永幸園 ケア・サポートふたつ家 職員 ・車いす体験 ・介護技術演習（ゴーグル・パジャマ使用）	24 人
24	9月27日 (水)	八戸市立白鷗小学校（あれこれ出前講座共催）	6 学年	社会福祉法人同伸会 あんずの里白銀デイサービスセンター あんずの里小規模多機能ホーム あんずの里小規模多機能ホームにいだ 職員 ・車いす体験 ・高齢者疑似体験	47 人

第3 福祉を担う人材の確保と養成

25	9月28日 (木)	中泊町立中里小学校（あれこれ出前講座共催）	4 学年	社会福祉法人内湯療護園 ・障がい者支援施設内湯療護園 ・特別養護老人ホームきりん館 職員 ・車いす体験 ・高齢者疑似体験	21 人
26	10月11日 (水)	弘前市立第一中学校（あれこれ出前講座共催）	2 学年	社会福祉法人七峰会 特別養護老人ホームサンアップル 職員 ・車いす体験 ・介護技術演習	28 人
27	10月19日 (木)	県立弘前中央高等学校（あれこれ出前講座共催）	1 学年	社会福祉法人愛成会 特別養護老人ホーム弘前静光園 職員 ・車いす体験 ・介護技術演習	28 人
28	10月20日 (金)	黒石市立黒石東小学校（あれこれ出前講座共催）	4 学年	社会福祉法人報徳会 黒石特別養護老人ホーム 黒石デイサービスセンター 黒石ケアサポートセンター 養護老人ホーム景楓荘 黒石在宅介護支援センター 職員 ・車いす体験 ・高齢者疑似体験	101 人
29	10月24日 (火)	藤崎町立藤崎中学校（あれこれ出前講座共催）	1 学年	社会福祉法人伸康会 本部 通所リハビリテーション平成の家 訪問介護ライフスマイル弘前 職員 ・車いす体験 ・高齢者疑似体験 ・福祉施設のレクリエーション	53 人
30	10月30日 (月)	黒石市立六郷小学校	4 学年	社会福祉法人報徳会 黒石特別養護老人ホーム 黒石デイサービスセンター 職員 ・車いす体験 ・高齢者疑似体験	27 人
31	11月7日 (火)	県立青森第二高等養護学校（あれこれ出前講座共催）	1 学年	社会福祉法人和幸園 特別養護老人ホーム和幸園 ケアハウス幸陽 職員 ・車いす体験 ・介護技術演習	8 人
32	11月9日 (木)	八戸学院野辺地西高等学校（あれこれ出前講座共催）	保育福祉 系列クラス 2～3 学年	社会福祉法人 福祉の里 介護老人保健施設のへじ 職員 ・介護技術演習 ・福祉施設のレクリエーション	15 人
33	11月9日 (木)	階上町立階上中学校（あれこれ出前講座共催）	2 学年	社会福祉法人徳望会 特別養護老人ホーム見心園 職員 ・車いす体験 ・高齢者疑似体験	56 人
34	11月16日 (木)	平川市立平賀東小学校（あれこれ出前講座共催）	3 学年	社会福祉法人 津軽やわらぎ 特別養護老人ホーム 慶游荘 職員 ・高齢者疑似体験	23 人

第3 福祉を担う人材の確保と養成

35	11月22日 (水)	県民福祉プラザ3階	青森中央短期大学 専攻科福祉専攻 介護福祉士養成校	介護啓発・福祉機器普及センター 職員 ・講話 『介護・福祉用具体験講座』～介護ロボットの動向、使用方法について～ ・介護ロボット・介護機器等の体験	8人
36	11月29日 (水)	西目屋村立西目屋小学校（あれこれ出前講座共催）	3・6学年	社会福祉法人つがる三和会 在宅介護支援センター白神荘 特別養護老人ホーム白神荘 職員 ・高齢者疑似体験	17人
37	11月30日 (木)	県立青森第二高等養護学校（あれこれ出前講座共催）	3学年	社会福祉法人平元会 特別養護老人ホーム正寿園 職員 ・車いす体験 ・介護技術演習	5人
38	12月7日 (木)	県立森田養護学校（あれこれ出前講座共催）	高等部1学年	社会福祉法人青森民友厚生振興団 デイサービスセンターラサンプレ御所 職員 ・車いす体験	8人
39	12月11日 (月)	藤崎町立藤崎小学校（あれこれ出前講座共催）	4学年	医療法人サンメディコ 介護老人保健施設ヴィラ弘前 職員 ・車いす体験 ・高齢者疑似体験	24人
40	12月19日 (火)	平川市立猿賀小学校（あれこれ出前講座共催）	6学年	社会福祉法人七峰会 障害者支援施設旭光園 職員 ・車いす体験 ・高齢者疑似体験	18人
41	12月19日 (火)	県立青森第二高等養護学校（あれこれ出前講座共催）	1学年	社会福祉法人和幸園 特別養護老人ホーム和幸園 職員 ・車いす体験 ・介護技術演習	6人
42	12月21日 (木)	県民福祉プラザ3階	県立保健大学 社会福祉学科 2学年	介護啓発・福祉機器普及センター 職員 ・介護ロボット・介護機器等の体験	18人
43	1月18日 (木)	弘前市立城東小学校（あれこれ出前講座共催）	5学年	社会福祉法人一葉会 特別養護老人ホーム福寿園 職員 ・車いす体験 ・高齢者疑似体験	41人
44	1月19日 (金)	県立八戸聾学校（あれこれ出前講座共催）	小学部 4・6学年	社会福祉法人八陽会 修光園サテライト 職員 ・車いす体験 ・福祉施設のレクリエーション ・高齢者疑似体験	4人
45	2月1日 (木)	県立第二高等養護学校（あれこれ出前講座共催）	3学年	社会福祉法人平元会 特別養護老人ホーム正寿園 職員 ・車いす体験 ・介護技術演習	5人

第3 福祉を担う人材の確保と養成

46	2月13日 (火)	八戸市立西園小学校 (あれこれ出前 講座共催)	4 学年	社会福祉法人素心の会 特別養護老人ホーム八戸素心苑 職員 ・車いす体験 ・高齢者疑似体験	43 人
47	2月20日 (火)	県立第二高等養護 学校 (あれこれ出 前講座共催)	1 学年	社会福祉法人和幸園 特別養護老人ホーム和幸園 職員 ・車いす体験 ・介護技術演習	7 人
48	2月27日 (火)	弘前市立東小学校 (あれこれ出前講 座共催)	5 学年	社会福祉法人伸康会 老人保健施設 平成の家本部 職員 ・車いす体験 ・高齢者疑似体験	40 人
	合計				1,286 人

(2) 介護機器・介護ロボット等の普及、導入支援

①介護現場向上総合相談センター事業 <新>

ア) 相談窓口業務

令和5年4月より介護ロボット等の展示及び相談体制の整備、フォーラム開催等による介護現場における生産性向上の普及、並びに関係機関への周知等を行い、令和6年1月におおもり介護生産性向上相談センターを開設した。

(i) 相談受付

- ・相談件数 3 件 (開設前 15 件)

なお、相談受付にあたっては、ホームページ開設等により当センター及び生産性向上を周知し、アドバイザーとして株式会社 TRAPE を配置した。

(ii) 体験展示

【常設展示】

移乗・移動・排泄・見守り・コミュニケーション分野の介護ロボット 28 機器を展示。
来場者数：3 人 (開設前 73 件)

【出張展示】

日 程	場 所	参加者数	備 考
6月2日(金)	むつ市地域包括支援 センター桜木	32 人	むつ市地域包括支援センター桜木から 依頼があり、地域ケア会議の中で実施
11月9日(木)	ウェディングプラザ アラスカ 4階 ダイヤモンド	86 人	令和5年度介護現場課題解決のための生 産性向上推進フォーラムにおける展示会
7月1日(土)	東奥日報新町ビル New's ホール 3階「催事場D」	36 人	令和5年度福祉・保育・医療のしごと相 談フェスタ(福祉人材センター主催)で の出展
3月2日(土)	ウェディングプラザ アラスカ 地下1F「サファイア」	58 人	

イ) 業務改善の取組定着、介護ロボット・ICTの効果的な活用・普及促進

(i) 介護現場生産性向上に資するアンケートの実施

【調査時期】

令和5年12月5日（火）から令和6年1月19日（金）まで

【調査対象】

青森県内介護サービス事業者 2,468ヶ所

【調査方法】

Web（Google フォーム）によるオンライン回答方式

(ii) セミナー等の開催

介護ロボットやICTの導入・活用を含む、生産性向上の取組を広く普及することを目的にセミナーを開催した。

【第1回】令和5年度介護ロボット・ICT導入支援オンラインセミナー

日 時：令和5年10月17日（火） 9:30～10:30

開催方法：オンライン開催

参 加 者：青森県内外の高齢者施設、関係団体等 45人

内 容：

講 演	「経営戦略としてのテクノロジー導入を踏まえた生産性向上の取組」 ～壁に当たった時の考え方・のりこえ方をお伝えします～ 株式会社 TRAPE 代表取締役 鎌田 大啓 氏
-----	---

【第2回】令和5年度介護現場課題解決のための生産性向上推進フォーラム

日 時：令和5年11月9日（木） 10:30～16:20

場 所：ウェディングプラザアラスカ 4階「ダイヤモンド」

参加者：青森県内外の高齢者施設、関係団体等 86人

内 容：

行政説明	・「介護現場における生産性向上の取組の推進」 厚生労働省老健局高齢者支援課 介護業務効率化・生産性向上推進室 室長補佐 秋山 仁 氏 ・「『腹落ち』できる生産性向上に向けて」 青森県健康福祉部高齢福祉保険課 課長 関口 雄介 氏
取組報告	・「青森県におけるノーリフティングケア推進事業の取組について」 公益社団法人青森県老人福祉協会 事務局長 前田 覚 氏 ・「青森県福祉人材センターの人材確保に係る取組」 県社協 福祉人材センター ・「青森県介護現場向上総合相談センター（仮称）について」 県社協 介護啓発・福祉機器普及センター
取組紹介	・「インカム導入による業務改善の試み」 社会福祉法人青森社会福祉振興団 特別養護老人ホームみちのく荘 課長/プロフェッショナル 澤畑 美樹 氏

第3 福祉を担う人材の確保と養成

	・「生産性向上への取組」 医療法人仁泉会 介護老人保健施設しもだ 事務長 宮崎 肇 氏 ・「介護サポーター活用と見守りロボット導入」 社会福祉法人八陽会 特別養護老人ホーム修光園 介護副主任 坂本 奨 氏
講演	「なぜ生産性向上が人材確保につながるのか？～介護現場の新潮流～」 株式会社 TRAPE 代表取締役 鎌田 大啓 氏
パネルディスカッション	テーマ「どう進める？！青森県の魅力ある職場づくり」 座 長 株式会社 TRAPE 代表取締役 鎌田 大啓 氏 パネリスト 青森県健康福祉部高齢福祉保険課 課長 関口 雄介 氏 青森県社会福祉法人経営者協議会 会長 成田 和博 氏 公益社団法人青森県老人福祉協会 会長 棟方 光秀 氏 一般社団法人青森県介護福祉士会 副会長 橘 友博 氏 オブザーバー 厚生労働省老健局高齢者支援課 介護業務効率化・生産性向上推進室 室長補佐 秋山 仁 氏

(iii) 伴走支援

青森県介護現場課題会議において決定した下記事業所の生産性向上に係る取組の伴走支援を実施。

法人・事業所名	市町村	サービス種別
社会福祉法人青空会 グループホーム青空倶楽部筒井館	青森市	(介護予防)
社会福祉法人吉幸会 特別養護老人ホーム吉幸会	田子町	介護老人福祉施設
株式会社ダイキ 花まる訪問介護	中泊町	訪問介護

※株式会社ダイキは途中で辞退があり、支援中止。

【研修会】

伴走支援施設を対象に、生産性向上に取り組むためのキックオフ研修を実施。

日 時 令和6年1月19日(金)

場 所 ウェディングプラザアラスカ 2階「ガーネット」

講 師 株式会社 TRAPE 鎌田 大啓 氏 (アドバイザー)

参加者 9人

ウ) 人材確保・生産性向上に係る各種支援業務との連携

あおもり介護生産性向上相談センター開設前より、開設の必要性や事業内容等に関係機関に周知した。

【主な周知先】

- ・公益財団法人介護労働安定センター 青森支部
- ・一般社団法人青森県理学療法士会
- ・青森県福祉人材センター
- ・関係機関会議等による周知（青森県福祉人材センター設置運営委員会等）

エ) 介護ロボット・ICT 導入支援事業

(i) 介護ロボット及び ICT 導入のセミナー開催

※2 業務改善の取組定着、介護ロボット・ICT の効果的な活用・普及促進業務

(ii) セミナー等の開催 参照

(iii) 県が実施する補助事業への協力

○補助事業の周知

本会ホームページに申請受付等の案内を掲載するほか、周知用チラシを作成し、県内介護事業所及び関係団体に送付して周知を図った。

○補助申請の取りまとめ

事業所からの申請書等を受け、必要に応じて書類の修正・追加提出依頼を行った。

	申請数	交付決定数	交付確定数
介護ロボット	34 件	34 件	34 件
ICT	83 件	83 件	81 件

※ICT 導入支援事業は、交付確定後に 2 件辞退あり。

○補助先の介護事業所における導入効果等の確認

青森県からの依頼により、厚生労働省の通知に基づき、ICT 等を導入した介護事業所へ導入効果等の回答フォームを送付した。

<送付件数>

- ・令和 4 年度 ICT 導入支援事業導入効果報告
及び ICT 機器を使用する従業者へのアンケート調査 46 ケ所
- ・令和 3 年度 ICT 導入支援事業導入効果報告
及び ICT 機器を使用する従業者へのアンケート調査 18 ケ所

②介護ロボット相談窓口

介護ロボットの開発・普及を加速化するため、地域における開発から活用までの相談窓口（地域拠点）を設置し、本会ホームページ、パンフレット等を活用し、秋田県の介護事業所や関係団体等に周知をした。

ア) 相談業務

介護現場（ニーズ）、開発企業（シーズ）双方が抱える、介護ロボットの導入方法や開発・実証・普及に関する相談に幅広く応じた。

介護現場：28 件 開発企業：15 件

イ) 体験展示（出張展示も含む）

移乗・移動・排泄・見守り・コミュニケーション分野の介護ロボット 28 機器を展示した。

来場者数：329 人

第3 福祉を担う人材の確保と養成

ウ) 試用貸出業務

本会ホームページに介護ロボット試用貸出リストを掲載し、随時受付・取次ぎを行う試用貸出チラシを送付し、青森県・秋田県の介護事業所に周知した。

貸出件数：25 件（移乗支援 13 件、移動支援 1 件、見守り・コミュニケーション 11 件）

エ) セミナーの開催

(i) 「令和5年度あきた介護ロボット・ICT等導入支援セミナー」

介護ロボット等のテクノロジーを活用して、業務改善に取り組む介護事業所等を支援するためのセミナーを実施した。

また、開発企業協力のもと、介護ロボット展示ブースを設けた。

[開催日時] 令和5年7月7日（金）13：00～16：40

[開催会場] 秋田県社会福祉会館

[参加者] 秋田県内の高齢者福祉施設の関係者や開発企業等 104 人

[内容]

説明	「介護現場における生産性向上の推進について」 厚生労働省老健局高齢者支援課 介護業務効率化・生産性向上推進室 介護ロボット政策調整官 佐々木 憲太 氏
説明	「秋田県の介護現場における生産性向上に関する取り組み」 秋田県健康福祉部長寿社会課
説明	「介護ロボット相談窓口について」
事例報告	「21 世紀介護システムの創造に向けて ～ICT・IoT・介護ロボット導入を通じて～」 社会福祉法人青森社会福祉振興団 理事長 中山 辰巳 氏
講演/説明	「経営戦略としてのテクノロジー導入を踏まえた生産性向上の取り組み」及び 「伴走支援モデル施設募集説明」/実践ワークショップ 株式会社 TRAPE 代表取締役 鎌田 大啓 氏

[介護ロボット展示ブース]

移乗・排泄・見守り・コミュニケーション分野の介護ロボット及び ICT（介護ソフト等）等 12 機器を展示した。

(ii) 「令和5年度介護ロボット・ICT導入支援オンラインセミナー」

[開催日時] 令和5年10月17日（火） 9：30～10：30

[開催方法] オンライン開催

[参加者] 秋田県内外の高齢者施設、関係団体等 45 人

[内 容]

講演	「経営戦略としてのテクノロジー導入を踏まえた生産性の向上の取組 ～壁にあたった時の考え方・のりこえ方をお伝えします～」 株式会社 TRAPE 代表取締役 鎌田 大啓 氏
----	--

(iii) 「介護現場の生産性向上を推進するためのセミナー

～実践事例から学ぶ介護現場の業務改善～」

[開催日時] 令和6年2月21日（水） 13:30～16:30

[開催方法] オンライン開催

[参加者] 秋田県内外の高齢者施設、関係団体等 46人

[内 容]

講 演	「介護現場の生産性向上はなぜ必要か！？ ～介護報酬改定を見据えた生産性向上の取り組み～」 株式会社 TRAPE 代表取締役 鎌田 大啓 氏
報告/ パネルディス カッション	【報 告】 ・社会福祉法人花輪ふくし会 養護老人ホーム和光園 ・社会福祉法人あけぼの会 介護老人保健施設なごみのさと ・社会福祉法人若美さくら会 特別養護老人ホーム和幸苑 【ディスカッションモデレーター】 株式会社 TRAPE 代表取締役 鎌田 大啓 氏

オ) 介護事業所への伴走支援

介護ロボット等の導入プロセスと成果を体系的に整理し、地域の好事例を創出することを目的に、導入希望のある介護施設に対し、伴走的な支援を行った。

対象 秋田県内3事業所

- ・社会福祉法人花輪ふくし会 養護老人ホーム和光園
- ・社会福祉法人あけぼの会 介護老人保健施設なごみのさと
- ・社会福祉法人若美さくら会 特別養護老人ホーム和幸苑

令和5年7月7日（金）開催のセミナーに参加した事業所を対象に募集し、3施設を決定した。

内容 介護サービス事業（施設サービス分）における生産性向上に資するガイドラインの「業務改善に向けた改善活動の標準的なステップ」に沿って導入を支援した。

なお、令和6年2月21日（水）に開催したセミナーで成果報告を行った。

※内容は、エ) セミナーの開催（3）参照。

カ) 協議会の開催

介護ロボット・ICT等のテクノロジー導入に係る状況や課題について情報共有を図り、テクノロジーを活用した介護の質向上について、効果的に普及啓発を進めるためのネットワーク構築を目的に開催した。

(i) 「第1回秋田県協議会」

[開催日時] 令和5年7月6日（木）15:00～16:40

[開催会場] 秋田県社会福祉会館

[参加者] 厚生労働省及び秋田県内関係機関、NTT データ経営研究所等事務局含
16人

(ii) 「第2回秋田県協議会」

[開催日時] 令和6年2月5日（月）9:30～11:30

[開催方法] オンライン開催

[参加者] 秋田県内関係機関、NTT データ経営研究所等事務局含 12人

5 社会福祉従事者のための福利厚生事業の推進

(1) 青森県民間社会福祉事業職員共済事業の運営

県内の民間社会福祉施設あるいは福祉団体の業務に従事している職員の相互扶助を基調として、昭和 62 年 10 月 1 日に創設した「青森県民間社会福祉事業職員共済事業」の第 1 種共済は、加入事業所・団体数 533 ヶ所、加入者は 12,251 人（令和 6 年 3 月末時点）となっている。

独立行政法人福祉医療機構が実施する退職手当共済制度の代替制度として、平成 21 年 4 月から開始した第 2 種共済の加入者は 1,831 人（令和 6 年 3 月末時点）となっており、福祉事業従事職員のより一層の福利厚生の充実と身分保障の確立を図った。

①退会給付事業及び福利厚生事業（慶弔見舞金給付・貸付事業）の実施

ア) 第 1 種共済加入状況（令和 6 年 3 月末時点）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
事業所・団体	505	516	535	540	533
加入者	12,404	12,532	12,556	12,482	12,251

イ) 第 2 種共済加入状況（令和 6 年 3 月末時点）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
事業所・団体	105	113	121	128	128
加入者	1,939	1,914	1,941	1,982	1,831

ウ) 共済事業実施状況（令和 6 年 3 月末時点）

種 類	件 数	金額（円）
退会給付事業(延べ件数)	1,897	1,061,592,069
第 1 種共済	1,544	979,001,238
第 2 種共済	353	82,590,831
福利厚生事業(延べ件数)	377	2,592,000
結婚祝金	117	1,170,000
出産祝金	233	1,165,000
入院見舞金	17	57,000
災害見舞金	0	0
死亡弔慰金	10	200,000
貸付事業	32	22,980,000

エ) 共済事業資産状況（令和 6 年 3 月末時点）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
資産総額（千円）	10,460,853	11,503,768	11,822,029	11,908,865	12,787,124
給付準備金（千円）	10,028,555	10,406,875	10,845,676	11,021,974	11,832,757
給付準備率（％）	104.3	110.5	109.0	108.0	108.1

②第 1 種・第 2 種共済の加入促進及び加入者等への情報提供

ア) パンフレットによる周知

- ・福祉のひろばに広報記事を掲載したほか、県社協主催研修会時等にパンフレットを配布した。
- ・県共済に加入する際に活用できる加入者向けの案内チラシを作成し、加入事業所や加入希望事業所に送付した。

イ) 手引きの作成・配布

- ・事務担当者の円滑な事務執行のため申請手続きの詳細等が記載された手引きを作成し、加入事業所や加入希望事業所に配布した。

ウ) 広報誌の作成

- ・広報誌「ほほえみ」を作成し、県共済加入事業所に送付し、ホームページで公開した。

種類	内容	送付先
福利厚生だより 「ほほえみ」 (令和5年 9月発行)	1. 青森県民間社会福祉事業職員共済事業とは 2. 慶弔見舞金給付と貸付事業をご活用ください 3. 職員共済事業の運営状況 4. 職員共済事務担当者様へお知らせ	県共済加入 事業所書類 送付先 382ヶ所

③外部信託による運用

株式会社りそな銀行と信託契約を締結し、資産運用を行った。

運用実績（令和6年3月末時点）（単位：円）

信託元本	10,294,540,546
当期利益	557,327,542
資産合計（簿価）	10,841,071,219
資産合計（時価）	11,901,048,787
修正総合利回り	7.61%

④共済事業運営委員会の開催

青森県民間社会福祉事業職員共済事業運営委員会を開催した。

開催日	開催場所	内 容	出席数
令和5年 8月31日(木)	青森市 ホテル青森	①正副委員長の選任について ②令和4年度事業実績及び決算 ③令和5年度事業計画及び予算 ④令和5年度財政検証の実施について ⑤貸付事業滞納者の状況 ⑥外部信託運用状況報告 ⑦その他	・委員 10人 ・事務局 6人 ・りそな銀行 2人
令和5年 11月29日(水)	青森市 アップルパレス	①財政検証の結果について ②財政検証の結果に基づく課題への対応	・委員 8人 ・事務局 5人 ・タワーズワトソン 1人

(2) 社会福祉施設職員退職手当共済（福祉医療機構）業務の実施

独立行政法人福祉医療機構からの受託により、県内の福祉施設・団体職員共済制度の円滑な事務処理を行った。

加入状況（過去5年間の実績・令和6年3月末時点）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
加入法人数	450	451	452	452	452
施設・団体	1,253	1,281	1,290	1,277	1,286
加入職員数	16,609	16,610	16,712	16,315	15,665

第3 福祉を担う人材の確保と養成

(3) 福利厚生センター「ソウェルクラブ」事業の推進

福利厚生センターは、民間の社会福祉に従事する方々の福利厚生の充実を図ることを目的に平成6年7月1日に設立され、様々なサービスを展開してきた。

同センター地方事務局として業務を受託している県社協は、会員のニーズに即した福利厚生を推進するため企画懇談会を開催し、会員交流事業など会員が参加しやすい企画を実施した。

また、職員並びに家族の健康管理の一助として家庭用常備薬の斡旋についての案内を行った。

加入状況（令和6年3月末時点）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
加入法人数	75	75	76	75	76
加入事業所数	206	203	202	191	190
加入職員数	4,288	4,515	4,589	4,196	4,465

①福利厚生センター企画懇談会

期 日	会 場	内 容	出席数
令和5年 5月24日（水）	青森県民福祉 プラザ2階 県社協会議室	(1) 令和4年度実績報告について (2) 令和4年度御食事会アンケート結果 (3) 令和5年度実施計画について (4) 令和5年度地域開発メニューの充実について	委員6人 事務局2人

②会員交流事業の実施

実施期間	事業名	内 容	参加者
令和5年 7月21日（金） ～9月30日（土）	2023年度福利厚生 センター会員交流 事業 『夏季旅行お楽しみ プラン』	①旅コレクション東北 ②旅コレクション北海道 ③旅コレクション東京・横浜 ④東京・横浜ホテルプラン ⑤春夏東京ディズニーリゾートへの旅 ⑥旅コレクション京都・大阪・神戸	137人
令和5年 9月16日（土） ～11月30日（木）	2023年度福利厚生 センター会員交流 事業 『御食事会』	県内16店舗 青森市：①回転鮎処あすか 東大野店 ②叙々苑 青森店 弘前市：①叙々苑 弘前店 ②シェフズレシピ 五所川原市：一心亭 五所川原本店 鯉ヶ沢町：一心亭 鯉ヶ沢店 つがる市：一心亭 イオンモールつがる柏店 鶴田町：一心亭 鶴田店 八戸市：①一心亭 八戸店 ②ぼてじゅう 十和田市：一心亭 十和田店 おいらせ町：①一心亭 おいらせ緑ヶ丘店 ②馬肉料理 尾形 下田店 むつ市：一心亭 むつ店 五戸町：馬肉料理 尾形 五戸店 三沢市：North40-40 三沢店	1,253人

令和5年 11月6日(月) ～11月7日(火)	2023年度福利厚生 センター会員交流 事業 『観劇プラン』	劇団四季「クレイジー・フォー・ユー」 青森市：リンクステーションホール青森 八戸市：八戸市公会堂	24人
令和5年 11月18日(土) ～令和6年 1月14日(日)	2023年度福利厚生 センター会員交流 事業 『冬季旅行お楽しみプラン』	①旅コレクション東北 ②旅コレクション北海道 ③旅コレクション東京・横浜 ④秋冬東京ディズニーリゾートへの旅	54人
計			1,468人

③福利厚生啓発・認知度向上事業の実施

ア) 加入勧奨の実施

事業名	期 日	内 容
福利厚生啓発・認知 度向上事業	通年	①大会、研修会等におけるパンフレットの配布 ②事業所来所時における資料配布及び説明 ③事務局来所者への対応 ④広報誌等への広告等の掲載 ⑤独自の情報誌（青森ソウエルクラブニュース等）の作成配布 ⑥その他センターが必要と認める事業

イ) 家庭用常備薬の斡旋

期 日	件 数	金 額
令和5年7月14日(金)	申込事業所数 30 事業所	277,090 円
令和5年12月15日(金)	申込事業所数 35 事務所	269,870 円

ウ) 会員向けチケットの特別優待販売の斡旋

期間	内容
令和5年9月～11月	フジコ・ヘミング with ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団 ※主催者都合により中止

④地域開発メニュー充実事業の実施

飲食店の加入推奨(1ヶ所)

第4 組織・機能の強化と発展

1 適正な事務執行と内部牽制体制の充実強化

(1) 適正な事務執行と内部牽制の実施

①内部監査の実施

監事監査を2回実施したほか、一般会計及び生活福祉資金会計の会計伝票及び通帳の確認を中心とした職員による内部監査を5回実施した。

- ・監事監査：第1回 令和5年6月1日（木）、第2回 令和5年11月15日（水）
- ・内部監査：第1回 令和5年4月24日（月）、第2回 令和5年8月16日（水）、
第3回 令和5年9月13日（水）、第4回 令和5年11月16日（木）、
第5回 令和6年3月13日（水）

②受託団体会計事務点検の実施

本会が事務受託している8団体の会計伝票及び通帳の確認を中心とした職員による会計検査を4回実施した。

- ・団体会計検査：第1回 令和5年4月21日（金）、第2回 令和5年8月9日（水）、
第3回 令和5年11月9日（木）、第4回 令和6年3月6日（水）

(2) 会計監査人監査の実施

会計監査人による監査を以下のとおり実施した。

- ・決算監査：令和5年4月7日（金）、5月15日（月）、5月16日（火）
- ・中間監査：令和5年12月5日（火）、12月6日（水）、令和6年2月6日（火）、
2月7日（水）
- ・定期訪問：毎月1回

(3) 経費の削減と事務処理の効率化

局内の情報共有を図るグループウェアソフトの活用やインターネットによる会議等の実施により事務経費の削減及び事務処理の効率化を図った。

(4) 組織体制の整備・強化に向けた取組

課長会議・課内会議を毎月開催し情報共有・連絡体制の強化を継続した。

隔月で開催する経営会議では、幹部職員として効果的な事業遂行、今後の経営の在り方を協議・検討する場として内容を強化し実施した。

①経営会議の開催（隔月）

②課長会議の開催（毎月）

③課内会議の開催（毎月）

(5) 災害対応における取り組み

- ①災害備品の確認、補充
- ②緊急連絡網の整備
- ③防災訓練

(6) 人事評価制度の実施

職員の意欲・能力等を把握し、職員の育成と適正な人事配置を行うことを目的に、人事評価要綱に基づき、上司との面談を行いながら令和5年度の目標設定及び達成状況の評価を行った。

(7) 職員研修の実施と人材育成

①研修実施要綱に基づく職員研修の実施・管理

上司との面談を実施し、令和5年度の研修計画作成及び評価を行った。

②職場内研修の実施

職員の意識改革、事務執行に係る技術向上を目的に職員研修を実施した。

第1回

期 日： 令和5年4月3日（月）

内 容： 「業務遂行と職業倫理」

講 師： 高橋事務局長

第2回

期 日： 令和6年1月31日（水）

内 容： 「健康診断結果の有効活用について」

講 師： 公益財団法人青森県総合健診センター 医療技術部保健看護指導グループ
総括主任・保健師 附田 玲美 氏

(8) 理事及び評議員への情報提供

①事務局だよりの発行

理事・監事・評議員へ事務局だよりを発行し、4月からの事務局体制を周知した。

(9) 理事による委員会担当制の実施

本会が所管する8つの委員会で担当理事を選任し、委員会へ出席することで理事が主体的に法人運営に参画した。開催状況について理事会で担当理事報告を行った。

(10) 会員制度の進行管理と会員の継続及び拡大への取り組み

ア) 会員制度の管理

会員及び会費規程に基づき、令和5年度の会費請求及び会員管理を行った。

イ) 会員の参加意識の向上と情報提供の強化

すべての会員に対し、令和4年度事業報告・収支決算概要を送付し、本会事業活動に関する情報を提供した。

ウ) 会員拡大のためのPR活動の実施

第4 組織・機能の強化と発展

本会主催の会議や研修会に会員募集チラシを同封し加入促進を図るとともに、関係する業者・団体等へ賛助会員の継続及び新規加入に向けた周知を行った。また、会員に対して本会主催の研修会を案内し、会員・非会員の差別化を図り会員拡大に努めた。

(11) 活動指針の進行管理と必要に応じた見直し

令和6年度の事業計画及び予算作成にあたり、第二次活動指針に基づく推進方策実現への取組項目90項目について、令和5年度事業の振返りと課題整理を行った。

(12) 事務事業評価の実施

令和6年度の事業計画及び予算作成にあたり、第二次活動指針に基づく推進方策実現への取組項目90項目について、令和5年度事業の振返りと課題整理を行った。

(13) 地域社会への貢献活動の推進

①県立保健大学ソーシャルワーク実習の受け入れ

期日	学科・学年	人数
令和5年8月1日（火）～ 令和5年8月8日（火）、 令和5年8月16日（水）～ 令和5年9月8日（金）	健康科学部・社会福祉学科 3年生	2人

②市町村社協実習生に対する青森県社協事業説明

期日	実習先社協	人数
令和5年8月23日（水）	平川市、鶴田町	4人
令和5年8月30日（水）	藤崎町、板柳町、田子町	7人

③青森大学精神保健福祉援助実習の受け入れ＜新＞

期日	学科・学年	人数
令和5年8月7日（月）～ 令和5年8月23日（水）	社会学部・社会学科（社会福祉コース） 4年生	1人

2 自主財源の確保強化と公的財源の有効活用

(1) 自主財源の確保につながる事業の推進

出版社との契約による図書の斡旋や福利厚生センター事業における家庭用常備薬の斡旋（P143 参照）を継続したほか、県社協会員施設向けの団体割引保険について情報提供し、自主財源の獲得に努めた。

(2) 幅広いスポンサー制度の活用

本会発行の広報誌「福祉のひろば」及び県社会福祉大会資料への企業広告の掲載について県内企業・団体への呼びかけを実施した。

①福祉のひろば 8 社

②県社会福祉大会 48 社

③福利厚生センター事業における家庭常備薬の斡旋（P143 参照）を行い自主財源の獲得に努めた。

(3) 地域福祉基金の運営

①愛の輪基金の運営

地域福祉活動の振興を図るために昭和 57 年に創設した愛の輪基金について、運用から生じる果実を活用し、事業を実施した。

事業内容	金額（円）
(1) 地域福祉活動推進事業	7,200,000
①緊急通報システム 福祉安心電話サービス事業	4,000,000
②地域福祉活動推進事業	1,200,000
③総合企画事業	2,000,000
(2) 福祉の心を高める推進事業	1,482,320
①県社会福祉大会事業	300,000
②愛の輪レクリエーション事業	1,182,320
(3) ボランティア活動育成事業	1,111,832
①ボランティア推進事業	300,000
②災害用資機材ネットワーク事業	811,832
(4) 県民の福祉の増進に関する事業	2,000,000
①福祉情報提供事業	2,000,000
(5) その他地域福祉に関する事業	800,000
①災害対応事業	800,000
合 計	12,594,152

②福祉基金貸付の運営

昭和 48 年から運用してきた福祉基金のうち、社会福祉施設増改築のための「貸付資金」について、会員施設及び福祉団体に広報し募集を行った。

③福祉基金福利厚生事業の運営

昭和 48 年から運用してきた福祉基金のうち、施設職員等の福利厚生のための「福利厚生資金」について県社協会員施設及び福祉団体に広報し、募集を募った。その結果下記のとおり事業を実施した。(5 団体)

- ・福利厚生資金助成事業

助成先	事業名称	金額（円）
青森県児童館連絡協議会	『青森県児童館職員研修会』	50,000
青森県里親連合会	『東北地区里親大会』	50,000
青森県ホームヘルパー連絡協議会	『令和 5 年度技術研修会』	50,000
公益社団法人青森県社会福祉士会	『第 31 回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（大分大会）』	50,000
青森県身体障害者施設協議会	『第 41 回青森県身体障害者施設職員研修会』	50,000
合 計		250,000

④地域福祉基金運営委員会の開催

開催日	開催場所	内 容	出席数
令和 5 年 9 月 4 日 (月)	青森市 県民福祉 プラザ	(1)副委員長の選任について (2)令和 4 年度地域福祉基金事業実績報告について (3)令和 6 年度福利厚生資金助成事業の募集について (4)その他	・委 員 5 人 ・事務局 5 人 ・オブザー バー1 人
令和 6 年 3 月 5 日 (火)	青森市 県民福祉 プラザ	(1) 委員長・副委員長の選任について (2)愛の輪基金 令和 6 年度事業計画及び予算（案）について (3)福祉基金 令和 6 年度事業計画及び予算（案）について (4)令和 6 年度福利厚生資金の助成先（案）について	・委 員 5 人 ・事務局 5 人 ・オブザー バー1 人

（４）公的財源の適正な確保に向けた関係機関との協議

青森県内の広域的な福祉課題に取り組むため、青森県や各自治体と事業の財源となる委託費、補助金が適正に確保できるよう進めた。

（５）共同募金等の民間財源の活用

①令和 4 年度共同募金（令和 5 年度事業使用分）助成事業

- ア) ボランティア活動実践セミナー（200,000 円）
- イ) ボランティアネットワーク事業（150,000 円）
- ウ) 身近な支え合いを広げよう！「地域のお宝」発表会（180,000 円）
- エ) もったいない+♡プロジェクト（200,000 円）
- オ) 「みんなの居場所」の開催！バックアップ事業（240,000 円）
- カ) 第 72 回青森県社会福祉大会事業（900,000 円）

②2023 年度赤い羽根「災害時のボランティア活動資機材ネットワーク」助成金（4,990,000 円）

3 情報提供・広報啓発活動の充実

関係機関・団体、施設や県民に対し、地域福祉推進の意識を啓発するために、県内外の社会福祉に関する情報の集積と提供を行った。

(1) ホームページの充実

県社協ウェブサイト「福祉ネットあおもり」を運営し、福祉関係の情報と県社協事業に関するPR、情報開示を行った。

月	ページビュー数	月	ページビュー数	月	ページビュー数	月	ページビュー数
4	29,257	7	15,820	10	50,896	1	35,042
5	35,725	8	31,563	11	46,211	2	35,618
6	41,750	9	41,380	12	32,790	3	28,039
						合計	424,091

(2) 広報誌等の発行

①「福祉のひろば」の発行

No.	発行日	発行部数	内 容	送付先
第70号	令和5年8月	3,600部	特集「市町村社協のこれまでとこれから」ほか	県社協会員施設、市町村・都道府県社協、行政、病院、関係機関など
第71号	令和5年11月	3,600部	特集「高齢社会を支える生活支援コーディネーター」ほか	
第72号	令和6年2月	3,600部	特集「地域のネットワークをつなぐ・つながる民生委員・児童委員」ほか	

(3) 社会福祉大会による啓発

①第72回青森県社会福祉大会

地域福祉の推進を目的にこれまでの社会福祉に功績のあった方を表彰し、関係機関や団体・地域住民等との連携・協働を更に強めるための第72回青森県社会福祉大会を開催するにあたり、下記委員会を実施した。

ア) 実行委員会

期 日	会 場	出席者	内 容
令和5年 7月3日(月)	青森市 ホテル青森	17人	① 大会役員(案)について ② 大会開催要綱(案)について ③ 大会式典次第及び役割分担(案)について ④ 参加者数の目安について ⑤ 全体スケジュール(案)について
8月8日(火)	青森市 ホテル青森	17人	① 大会宣言(案)について ② 大会全体の流れと大会式典等の役割分担について ③ 活動紹介動画の作成について ④ 第73回大会の持ち方について

イ) 表彰審査委員会

期 日	会 場	出席者	内 容
令和5年 8月8日(火)	青森市 ホテル青森	13人	表彰審査

第4 組織・機能の強化と発展

ウ) 第72回青森県社会福祉大会

期 日 令和5年10月31日(火)

会 場 リンクステーションホール青森

参加者 800人

内 容 記念講演

“「共に生きる」地域づくりのために”～福祉教育で変わる、福祉教育が変わる～

講師：同志社大学名誉教授 上野谷 加代子 氏

大会式典

役職員が参画している関係機関・団体等が主催する会議・委員会等【順不同】

No.	名 称	委員構成（参集範囲）	参加者職名	出席回数
1	全国社会福祉協議会評議員会	都道府県社協会長等	会 長	2
2	青森県社会福祉審議会民生委員審査専門分科会	県議会議員、社会福祉事業従事者、学識経験者	会 長	3
3	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会常任委員会	県議会、県、県体協、スポーツ団体、市町村議会、市町村、学校、国、産業・経済団体、通信・輸送団体、宿泊・観光団体、医療・福祉団体、警備・消防団体、文化・芸術団体、社会団体等	会 長	1
4	青森県医療審議会	医師、歯科医師、薬剤師、医療を受ける立場にある者、学識経験者	会 長	2
5	青森県国民健康保険団体連合会介護サービス苦情処理委員会	社協関係者、医療関係者、青森県	会 長	2
6	青森県道路交通環境安全推進連絡会議	関係機関、団体	会 長	1 (書面)
7	あおもり女性活躍推進協議会	県、商工・労働関係、県内大学、市町会、町村会	副会長	1
8	あおもり高齢者すこやか自立プラン推進協議会	保健医療団体、福祉団体、学識経験者、その他関係団体	副会長	2
9	青森県共同募金会理事会	市町村共同募金会等	副会長	2
10	青森県後期高齢者医療広域連合運営懇談会	学識経験者、保険医療機関、保険者、被保険者	副会長	1
11	青森県子ども・子育て支援推進会議	教育関係団体、福祉関係団体、医療関係団体	副会長	2
12	令和5年度愛のこだま基金運営委員会	福祉団体、県、学識経験者	常務理事	1
13	交通安全青森県民大会	県等行政、自動車関係団体、福祉団体、報道関係	事務局長	1
14	全国社会福祉団体職員退職手当積立基金運営委員会	各都道府県社会福祉協議会代表者	事務局長	3 (書面1)
15	青森県身体障害者スポーツ振興基金運営委員会	県、スポーツ関係団体、共同募金会、県社協	事務局長	1
16	青森第二高等養護学校評議員会	福祉関係団体、地域住民等	事務局長	2
17	青森県障害者社会参加推進協議会	県・福祉関係団体	事務局長	1
18	全国障害者スポーツ大会青森県準備連絡委員会	障害者スポーツ関係団体、障害者関係団体、学校教育関係団体、協議団体、市町村関係、県	事務局長	2
19	青森県障害者スポーツ大会実行委員会	福祉団体、スポーツ関係団体、県、その他	事務局長	2
20	青森県障害者施策推進協議会	関係団体、大学、団体、労働局、行政	事務局長	1 (書面)
21	公益社団法人青森県介護支援専門員協会理事会及び監査会	医療関係・福祉団体	事務局長	7
22	令和5年度 青森県子ども・若者支援地域協議会	行政機関、関係機関・団体、学識経験者など	生活支援課長	1

関係機関・団体等が主催する会議・委員会等

23	いのち支える青森県自殺対策計画（第2期計画）検討委員会	行政機関、関係機関・団体、学識経験者など	生活支援課長代理	2
24	青森県子ども・若者支援地域協議会津軽地域ネットワーク会議	行政関係者、福祉団体、教育機関など	生活支援課職員	3
25	青森県子ども・若者支援地域協議会下北地域ネットワーク会議	行政関係者、福祉団体、教育機関など	生活支援課職員	2
26	青森地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	行政関係者、就労支援関係機関、福祉団体など	生活支援課職員	1
27	弘前地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	行政関係者、就労支援関係機関、福祉団体など	生活支援課職員	1
28	黒石地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	行政関係者、就労支援関係機関、福祉団体など	生活支援課職員	1
29	西北五地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	行政関係者、就労支援関係機関、福祉団体など	生活支援課職員	1
30	むつ地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	行政関係者、就労支援関係機関、福祉団体など	生活支援課職員	1
31	青森県ひきこもり地域支援連絡協議会	行政関係者、若者サポステ、当事者団体、自立相談支援機関など	生活支援課職員	1
32	青森県人材確保対策推進協議会	県行政、労働局、公共職業安定所、福祉・介護関係機関・団体、建設・警備・運輸協会	福祉人材課長代理（オンライン）	1
33	「青森県福祉・介護人材確保定着グランドデザイン推進会議」及び「青森県介護労働懇談会」	県行政、労働局、介護労働安定センター、福祉・介護関係機関・団体、福祉養成施設	福祉人材課長	1
34	青森県介護現場課題解決会議	県行政、大学、医師会、老健協、老福協、介護関係団体	福祉人材課長	1
35	介護生産性向上相談センター作業部会	他県実施機関、他県自治体	福祉人材課長（オンライン）	2
36	青森県消費者トラブル防止ネットワーク会議	弁護士、司法書士、警察関係、福祉関係等	地域福祉課運営適正化委員会事務局事務員	2
37	権利擁護センターあじがさわ運営協議会	専門職（法律、医療・保健、福祉）、家庭裁判所、金融機関、行政職員、関係社会福祉法人職員	地域福祉課長	2
38	県多重債務者対策協議会	弁護士、司法書士、県行政、県警、関係団体	地域福祉課職員	1
39	家事関係機関との連絡協議会	裁判所、専門職団体、県行政等	地域福祉課長	1
40	令和5年度 青森県成年後見制度全体協議会	弁護士、司法書士、県行政、中核機関、福祉関係団体等	地域福祉課長	1
41	認定非営利活動法人災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバード「第22回研修フォーラム」	各都道府県社協災害福祉広域支援事業担当者	地域福祉課長	1
42	女性のエンパワーで高まる防災・減災連携会議	県、大学、関係団体等	地域福祉課職員	1
43	県多重債務者対策協議会	弁護士、司法書士、県行政、県警、関係団体	地域福祉課職員	1
44	県多重債務者対策協議会相談体制部会	弁護士、司法書士、県行政、県警、関係団体	地域福祉課職員	1

45	青森県居住支援協議会 (幹事・居住支援部会委員)	住宅関係団体、行政、福祉関係団体	社会貢献活動 推進室室長	2
47	弘前大学「子どもの貧困」をめ ぐる地域・学校・自治体の連 携・協働推進プロジェクト委員	教育関係者、行政、学識経験者、福 祉関係団体	社会貢献活動 推進室室長	3
46	青森県総合計画審議会 (安全・安心、健康部会含む)	学識経験者、医療関係者、地域関係 団体	社会貢献活動 推進室室長	3
48	健やか住宅普及促進検討ワー キンググループ	住宅関係団体、関係機関	総務課長	2

全国及び北海道・東北ブロック会議（県社協出席分）

〔全国関係〕

令和 5 年度第 1 回地域福祉推進委員会 社協における生活困窮者 自立支援のあり方検討委員会	11 月 20 日	オンライン会議
令和 5 年度第 2 回地域福祉推進委員会 社協における生活困窮者 自立支援のあり方検討委員会	令和 6 年 1 月 19 日	オンライン会議
2023 年度 社協の災害支援体制と活動強化に関する会議	6 月 7 日	オンライン会議
令和 5 年度 支え合いをひろげる住民主体の生活支援フォーラム	10 月 20 日	オンライン会議
令和 5 年度 社会福祉協議会活動全国会議	11 月 7～8 日	全社協
第 3 回成年後見制度利用促進 都道府県交流会	7 月 12 日	オンライン会議
第 4 回成年後見制度利用促進 都道府県交流会	8 月 9 日	オンライン会議
第 5 回成年後見制度利用促進 都道府県交流会	9 月 13 日	オンライン会議
第 8 回成年後見制度利用促進 都道府県交流会	1 月 10 日	オンライン会議
令和 5 年度 日常生活自立支援事業 専門員実践力強化研修会 (現任研修)	2 月 8 日～9 日	全社協
令和 5 年度 社会福祉協議会中堅職員研修会	2 月 15 日～17 日	全社協
「広がれボランティアの輪」連絡会議勉強会	3 月 8 日	全社協
令和 5 年度 都道府県・指定都市社協常務理事・事務局長セミナー	7 月 27 日～28 日	神奈川県
令和 5 年度 全社協福祉懇談会	10 月 12 日	東京都
令和 5 年度 都道府県・指定都市社協 常務理事・事務局長会議	1 月 26 日	東京都
令和 5 年度 都道府県・指定都市社協の経営に関する委員会	9 月 13 日 2 月 7 日	東京都
令和 5 年度北海道東北ブロック社協・共同募金会合同局長会議	9 月 7 日～8 日	福島県
福祉人材センター全国連絡会議	9 月 21～22 日	東京都
介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業相談窓 口・リビングラボネットワーク連絡会議	令和 5 年 5 月 19 日	オンライン会議
令和 5 年度新たな貸付事業担当職員連絡会議	令和 6 年 1 月 24 日	オンライン会議
令和 5 年度 全国社会福祉協議会 政策委員会 幹事会	令和 5 年 4 月 27 日	全社協

〔北海道・東北ブロック関係〕

令和 5 年度 北海道・東北ブロック道県・指定都市社会福祉協議 会 生活福祉資金運営研究協議会	9 月 4 日～5 日	北海道
厚生労働省 災害福祉支援ネットワーク 中央センター事業 「ブロック（圏域）会議」	11 月 13 日	宮城県
令和 5 年度 北海道・東北ブロック道県・指定都市社会福祉協議 会 日常生活自立支援事業担当者会議	11 月 14 日～15 日	宮城県
令和 5 年度 北海道・東北ブロック道県・指定都市社会福祉協議 会 地域福祉担当部課長会議	令和 6 年 2 月 21 日	オンライン会議

関係機関・団体等が主催する会議・委員会等

令和５年度北海道・東北ブロック道県・指定都市社会福祉協議会 総務部課長等会議	令和６年１月２３日 ～２４日	岩手県
令和５年度北海道・東北ブロック社会福祉研修実施機関代表者連 絡会議	１１月２７日	オンライン会議
令和５年度北海道・東北ブロック福祉人材センター・福祉人材バ ンク連絡会議	１２月１４日～１５日	宮城県
令和５年度 東北ブロック保育士・保育所支援センター事業実施 県社協情報交換会	令和６年１月１５日	オンライン会議

本 会 の 組 織

令和 6 年 3 月 31 日現在

会長・副会長・理事（13 人）

会 長	高 杉 金之助											
副会長	高 樋 忍	長 根 祐 子	工 藤 泰 子									
常務理事	工 藤 昌 彦											
理 事	田 口 豊 實	黒 田 進 二	遠 藤 雪 夫	鳴 海 勝 文								
	成 田 和 博	坂 本 美 洋	船 木 昭 夫	関 谷 道 夫								

監 事（2 人）

長谷川 有 実 成 田 英 世

評議員（16 人）

第 1 号評議員（郡・市社会福祉協議会 6 人）

江 渡 恵 美 外 川 三千雄 石 田 康 男 新 岡 重 治
濱 中 幾治郎 築 田 尚 久

第 2 号評議員（民生委員・児童委員 1 人）

三 上 勝 則

第 3 号評議員（関係社会福祉団体 5 人）

渡 邊 建 道 棟 方 光 秀 後 藤 辰 也 鶴 賀 晃
風 晴 賢 治

第 4 号評議員（関係行政機関 1 人）

原 田 啓 一

第 5 号評議員（学識経験者 2 人）

鳴 海 春 輝 神 登喜彦

第 6 号評議員（賛助会員 1 人）

木 村 敏 昭

青森県社会福祉協議会・令和5年度事務局組織図			
会 長 高杉 金之助		職・氏名	所管業務
			令和6年3月1日
事務局長 高橋 金一		[所管業務] 1 事務局の総括に関すること 2 法人運営事務の総括に関すること 3 公印の管守に関すること 4 関係機関等との総合調整に関すること 5 組織・人事・財務の総合調整に関すること 6 予算及び決算事務の総括に関すること(会計責任) 7 職員の人材育成に関すること 8 情報管理・苦情対応の総括に関すること	総合企画監 工藤 昌彦
総務課		課 長 小泉 美香 課長代理心得 長尾 典子	1 経理事務の総括に関すること(出納責任) 2 生活福祉資金貸付事業の総合調整に関すること 3 運営適正化委員会及び障害者権利擁護センター事業の助言に関すること 4 県社協の沿革及びあゆみの編纂に関すること 5 受託団体の総合調整に関すること 6 その他事務局長が命じた事項の処理に関すること
総務係		係長(兼) 長尾 典子 主 事 吉田 緑子 主 事 小田桐 茜音 専門員 斎藤 俊夫 専門員 杉本 征一 専門員 森 美紀 事務員 小泉 千鶴	1 法人運営(理事会・評議員会・監事監査) 2 定款・諸規程の制定・改廃 3 事業計画・事業報告の調整 4 人事・役職員の報酬及び給与・労務管理・福利厚生 5 人事研修、職員研修、衛生委員会 6 会費、会費、寄附金の管理 7 関係団体との連絡調整(後援、共催、会議出席等) 8 苦情解決の窓口業務 9 活動方針進行管理、事務事業評価 10 福利厚生センター事業 11 火災共済・中小企業共済代理店 12 自主財源確保に向けた取組 13 受託団体事務(社会福祉法人経営者協議会)
経理・共済係		係長(兼) 長尾 典子 主 事 佐々木 啓乃 主 事 山路 聡子 専門員 館石 美希 専門員 八木澤 千尋 事務員 鎌田 心美子	1 一般会計及び特別会計の経理 2 予算・決算の調整 3 財務管理・運用 4 内部監査、会計監査人による検査 5 介護福祉士修学資金等貸付事業 6 備品、固定資産の管理 7 広報誌発行 8 民間社会福祉事業職員共済事業 9 家の福祉基金及び福祉基金 10 ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業 11 福祉医療機構 社会福祉施設職員等退職手当共済
社会貢献活動推進室		室長(課長) 葛西 裕美 専門員 須藤 亜樹子 専門員 石塚 夏美 専門員 佐藤 浩	1 社会福祉法人連携による貢献活動 2 青森しあわせネットワーク事業の推進(総合相談、経済的援助、就労支援) 3 保証人確保支援事業(居住支援法人に関するもの) 4 子ども食堂並びに子ども宅食おすそわけ便 5 あおもりフードバンク事業に関するもの(休眠預金活用含む)
地域福祉課		課 長 富麻 千佐 課長代理 島居 正顕 課長代理心得 木村 亨	*ボランティア・市民活動センター所長事務取扱 *地域福祉権利擁護センター所長事務取扱 1 市町村社協の活動及び経営等の支援 2 福祉安心電話サービス事業の運営 3 日常生活自立支援事業 4 成年後見制度に関する取り組み 5 ボランティア活動(災害ボランティア活動支援を含む)の振興、当事者活動への支援等 6 県社会福祉大会 7 災害福祉支援チームの登録・養成 8 青森県善意銀行の運営(フードバンク等)に関するものを除く 9 義務教育教員免許志願者介護等体験事業 10 本会ホームページ管理及び改訂 11 受託団体事務 12 市町村社協連絡会(民生委員児童委員協議会)
地域福祉係		係長(兼) 木村 亨 主 事 近藤 睦 主 事 北山 亮次 専門員 泉谷 育子 専門員 小山内 唯嘉 事務員 木村 友奈	
福祉資金係		資金担当代理 島居 正顕 係 長 佐藤 菜津美 主 事 芳賀 遥 主 事 石岡 新 専門員 高橋 結衣 専門員 乳井 久美 事務員 三浦 さかえ	1 生活福祉資金の運営 2 生活福祉資金貸付(総合支援資金・福祉資金・教育支援資金・不動産担保型生活資金) 3 電算システムの維持・管理 4 生活福祉資金償還事務及び債権管理 5 臨時特例つなぎ資金及び総合支援資金の貸付 6 特例貸付(緊急小口資金・総合支援資金)の償還及び債権管理 7 市町村社協の貸付等に係る連絡調整
福祉人材課		課 長 青田 俊枝 課長代理 渡邊 淳子	*福祉人材センター所長事務取扱 *介護発表・福祉機器普及センター所長事務取扱 1 福祉人材センター事業(無料職業紹介事業) 2 福祉人材の確保対策事業 3 福祉・介護人材マッチング機能強化事業 4 経営支援セミナー及び従事者向け研修等の開催に関すること 5 専門相談員による経営相談 6 介護支援専門員受調試験 7 福祉人材の確保対策事業(初任者研修受講、育児支援サービス利用) 8 介護機器・介護ロボット等の普及、導入支援に関するもの 9 高齢者疑似体験 10 受託団体事務(地域包括・在宅介護支援センター協議会)(ホームヘルパー・連絡協議会)
人材支援係		係長事務取扱 渡邊 淳子 主 事 高松 麻由 専門員 川越 南里菜 専門員 橋本 則幸 専門員 久松 奈保子 専門員 青田 美穂子 専門員 佐藤 裕美 専門員 工藤 貴子 専門員 相馬 加奈子 専門員 神田 彩美 専門員 神 陽花里	
施設支援課		課 長 會田 元雄	*保育士・保育所支援センター所長事務取扱 *介護サービス情報公表センター所長事務取扱 1 福祉人材センター事業(無料職業紹介事業) 2 福祉人材の確保対策事業 3 福祉・介護人材マッチング機能強化事業 4 経営支援セミナー及び従事者向け研修等の開催に関すること 5 専門相談員による経営相談 6 介護支援専門員受調試験 7 福祉人材の確保対策事業(初任者研修受講、育児支援サービス利用) 8 介護機器・介護ロボット等の普及、導入支援に関するもの 9 高齢者疑似体験 10 受託団体事務(地域包括・在宅介護支援センター協議会)(ホームヘルパー・連絡協議会)
施設支援係		係長(業務) 會田 元雄 主 事 下山 昌哉 専門員 福士 夏樹 専門員 飯田久仁子 専門員 佐藤日佐志 専門員 高木 正尚 専門員 堀名 都 専門員 三上 瑞恵 専門員 工藤 文香 事務員 小平 清子	1 保育士・保育所支援センター事業(無料職業紹介事業) 2 放課後児童支援員に係る研修事業 3 福祉サービス第三者評価事業の実施 4 地域密着型サービス外部評価事業の実施 5 介護サービス情報の公表に関する事業 6 介護サービス情報の公表「10」の研修 7 障害福祉サービス人材育成事業 8 有資格者の就労定着に向けた支援(保育士修学資金等貸付事業) 9 受託団体事務(知的障害者福祉協会)(児童館連絡協議会)
生活支援課		課 長 葛西 勇樹 課長代理 今 伸子	
相談支援係		係 長 工藤 翔平 専門員(東窓口) 渡辺 裕 専門員(〃) 鶴岡 一洋 専門員(〃) 大澤 佳子 専門員(〃) 原田 光子 専門員(〃) 山中 柊人 専門員(西北窓口) 安倍 正美 専門員(〃) 平泉 清吉 専門員(〃) 宮本 暁子 専門員(上北窓口) 下田 亨 専門員(〃) 天間真紀子 専門員(〃) 藤島 瞳 専門員(下北窓口) 畑中 千紅沙 専門員(〃) 白浜 智子 専門員(〃) 菊池 天真 専門員(中津窓口) 斎藤 安希子 専門員(〃) 野田 正樹 専門員(〃) 水谷 友香 専門員(〃) 齋藤 和江 専門員(〃) 永田 恵子 専門員(〃) 齋藤 有加	1 生活困窮者自立相談支援事業(東地域、中津地域、西北地域、上北地域、下北地域) 2 個別支援活動のための社会資源等の開拓 3 被保護者・生活困窮者就労準備支援事業 4 多機関協働による相談支援事業(東地域、中津地域) 5 重層的支援体制構築支援事業 6 生活困窮者自立支援制度従事者養成研修事業 7 生活福祉資金特別貸付借受者への相談支援 8 団体事務(里親連合会)
※東地域自立相談窓口 ※東地域包括化相談支援センター ※相談所連携担当 西北地域自立相談窓口 上北自立相談窓口 下北自立相談窓口 中津自立相談窓口 ※中津地域自立相談窓口 ※中津地域包括化相談支援センター			
地域生活定着支援センター		所長事務取扱 高杉 金之助 所長代理(課長) 長内 正彦 主 事 長根 昌代 専門員 佐藤 健一 専門員 小笠原嘉昭 専門員 大久保佑美	1 地域生活定着支援事業 ・高齢、又は障害を有する被疑者、被告人、刑務所出所者等のコーディネート、フォローアップ ・刑余者への環境促進 2 住居確保困難者支援に関するもの
運営適正化委員会 障害者権利擁護センター		事務局長(兼) 小坂 幹子 県共募主事 高杉 雄大 専門員 鎌田 郁子	1 運営適正化委員会事務局(運営監視、苦情相談、調整) 2 青森県障害者権利擁護センター事業 3 県外被災者電話相談事業 専門員 佐藤 華美 (共同募金会へ派遣)

会 務 の 運 営

1 理事会

期 日	会 場	出席者	案 件
第 1 回 令和 5 年 6 月 8 日（木）	ホテル青森 3 階「あすなろ の間」	理事 12 人 監事 2 人	【 議 案 】 1 令和 4 年度事業報告について 2 令和 4 年度一般会計及び生活福祉資金会計収入支出決算について 3 令和 5 年度一般会計及び生活福祉資金会計収入支出予算の補正について 4 給与規程の一部改正について 5 理事及び監事の選任案について 6 評議員選任案について 7 評議員選任委員会の開催について 8 令和 5 年度定時評議員会の招集事項について
第 2 回 令和 5 年 6 月 26 日（月）	ホテル青森 3 階「はまなす の間」	理事 14 人 監事 2 人	【 議 案 】 1 青森県社会福祉協議会会長、副会長、専務理事及び常務理事の選定について 2 理事の委員会担当について
第 3 回 令和 5 年 12 月 7 日（木）	ホテル青森 3 階「あすなろ の間」	理事 13 人 監事 2 人	【 議 案 】 1 令和 5 年度一般会計及び生活福祉資金会計収入支出予算の補正について 2 給与規程の一部改正について 3 令和 5 年度第 2 回評議員会の招集事項について
第 4 回 令和 6 年 3 月 13 日（水）	ホテル青森 3 階「はまなす の間」	理事 13 人 監事 1 人	【 議 案 】 1 令和 5 年度一般会計及び生活福祉資金会計収入支出予算の補正について 2 令和 6 年度事業計画について 3 令和 6 年度一般会計及び生活福祉資金会計収入支出予算について 4 就業規程の一部改正について 5 組織規程の一部改正について 6 経理規程の一部改正について 7 退職金の支給に関する規程の一部改正について 8 青森県社会福祉協議会第三次活動指針について 9 役員等賠償責任保険の加入について 10 令和 5 年度第 3 回評議員会の招集事項について

2 評議員会

期 日	会 場	出席者	案 件
定時評議員会 令和 5 年 6 月 26 日 (月)	ホテル青森 3 階「はまなす の間」	評議員 13 人 理事 1 人 監事 1 人	【 議 案 】 1 令和 4 年度事業報告について 2 令和 4 年度一般会計及び生活福祉資金会計収入 支出決算について 3 令和 5 年度一般会計及び生活福祉資金会計収入 支出予算の補正について 4 理事及び監事の選任について
第 2 回 令和 5 年 12 月 15 日 (金)	ホテル青森 3 階「あすなろ の間」	評議員 10 人 理事 2 人 監事 2 人	【 議 案 】 1 令和 5 年度一般会計及び生活福祉資金会計収入支 出予算の補正について
第 3 回 令和 6 年 3 月 21 日 (木)	ホテル青森 3 階「あすなろ の間」	評議員 13 人 理事 2 人 監事 2 人	【 議 案 】 1 令和 5 年度一般会計及び生活福祉資金会計収入支 出予算の補正について 2 令和 6 年度事業計画について 3 令和 6 年度一般会計及び生活福祉資金会計収入支 出予算について

3 監事監査

期 日	会 場	出席者	監 査 事 項
第 1 回 令和 5 年 6 月 1 日 (水)	県民福祉プラ ザ 2 階「県社協 会議室」	監事 3 人 1 名は書類持 参により実施	1 令和 4 年度業務執行状況 2 令和 4 年度一般会計及び生活福祉資金会計の経理 状況
第 2 回 令和 5 年 11 月 15 日 (水)	県民福祉プラ ザ 2 階「県社協 会議室」	監事 2 人	1 令和 5 年度上半期事業報告について 2 令和 5 年度上半期決算報告について

会 員 等 の 状 況

(令和6年3月末)

1 正会員

(1) 市町村社会福祉協議会	40 社協
(2) 社会福祉施設	997 施設
① 入所施設	228 施設
② 通所施設	565 施設
③ その他	204 施設
(3) 社会福祉団体	39 団体

2 賛助会員

(1) 企業団体等 (54 団体) ※順不同

会 社 ・ 団 体 名	
株式会社青森銀行	株式会社エムケービジネス
株式会社みちのく銀行	株式会社アール・エー・ビー企画
青森県信用組合	新日本法規出版株式会社仙台支社
東北労働金庫青森県本部	株式会社イワテシガ
株式会社ぶんき	立山科学株式会社
株式会社ヒグチ	株式会社青森共同計算センター
有限会社クロタキ	株式会社こがわ
株式会社マルキ	アップルパレス青森
青森コロニー印刷	ホテル青森
株式会社ヒロタ	株式会社 アラスカ
ワタナベサービス	青森総合警備保障株式会社
協同印刷工業株式会社	株式会社 青森電子計算センター
株式会社南部屋旅館	長尾印刷株式会社
青森県火災共済協同組合	株式会社 イチネン青森営業所
富国生命保険相互会社青森支社	凸版メディア株式会社
山田揚一法律事務所	株式会社サンエイ
社会保険労務士さかき事務所	株式会社トヨタレンタリース青森
小野寺高事務所	株式会社テクノル
日本原燃株式会社	株式会社ビジネスサービス
株式会社 青森テレビ	三井住友海上エイジェンシー・サービス株式会社
青森ケーブルテレビ株式会社	株式会社佐々木建設工業
公益社団法人青森県医師会	東洋羽毛北部販売株式会社
一般社団法人青森県薬剤師会	エイチピースタイリング
東武トップツアーズ株式会社青森支店	ワイエス株式会社ミッド事業部
株式会社諒和仙台連絡所	医療法人小川原湖クリニック
東洋光伸株式会社	一般社団法人東北再生可能エネルギー協会
株式会社アースアンドウォーター	株式会社 吉田システム

(2) 個人 (30 人) ※順不同、敬称略

田 口 豊 實	高 杉 金之助	黒 田 進 二	坂 本 美 洋	長 根 祐 子
遠 藤 雪 夫	工 藤 泰 子	江 渡 恵 美	新 岡 重 治	風 晴 賢 治
原 田 啓 一	鳴 海 春 輝	鳴 海 勝 文	関 谷 道 夫	石 田 康 男
築 田 尚 久	神 登喜彦	三 上 勝 則	工 藤 俊 幸	下 田 亨
小山内 敬 子	舘 野 義 春	外 崎 新 一	岩 渕 惣 二	前 田 保
田 中 武	藤 田 智 哉	工 藤 昌 彦	高 橋 金 一	三 澤 周 治

3 特別会員 (福祉安心電話加入者)

1,407 人

4 寄附金一覧 ※順不同、敬称略

	寄附者・団体名	寄附金額 (円)	備 考
1	公認会計士・税理士 小野寺高事務所	162,462	12 回
2	株式会社モリレイ	300,000	
3	青森県信用金庫協会	298,754	
4	東北マスクワールド	20,759	
5	青森銀行従業員組合	100,000	
6	日本原燃株式会社	161,100	
7	富士電機株式会社 J-MOX ゴルフコンペ	151,000	2 回
8	株式会社ベルジョイス	13,070	2 回
9	株式会社角弘	216,000	
10	青森県ターゲット・バードゴルフ協会	23,000	
11	絆会	237,000	
12	一般社団法人生命保険協会 青森県協会	100,000	
13	公益社団法人 生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会 青森県協会	100,000	
14	小林大真	10,000	
15	一般社団法人 東北再生可能エネルギー協会	100,000	
16	ダイドードリンコ株式会社	20,924	5 回
17	匿名希望	162,600	9 人
	合 計	2,176,669	

5 寄附物品一覧 ※順不同、敬称略

	寄付者・団体名	内容
1	藤イベント企画代表藤はじめ	車椅子 1 台
2	浜田傑	災害マネジメントガイドブック 2 冊

令和５年度事業報告附属明細書

令和５年度事業報告には「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、作成しない。

社会福祉法人青森県社会福祉協議会

令和6年度

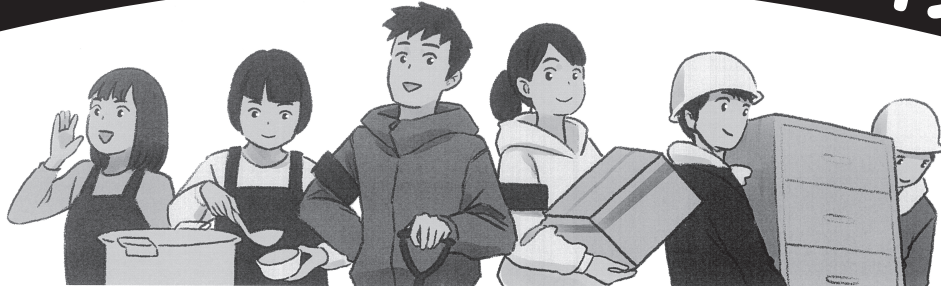
<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症に変更されたことに伴い、「特定感染症重点プラン」を廃止して2つのプランとします。

保険金額・年間保険料（1名あたり） 団体割引20%適用済／過去の損害率による割増適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン	
保険金の種類				
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
	特定感染症	補償開始日から補償(*)		
	地震・噴火・津波による死傷	×	○	
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	

商品パンフレットは
コチラから



(ふくしの保険
ホームページ)

*特定感染症についても10日間の免責期間がなくなり、補償開始日から補償対象となります。
なお、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は補償対象外となりました。

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償 (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
〈保険会社〉

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667

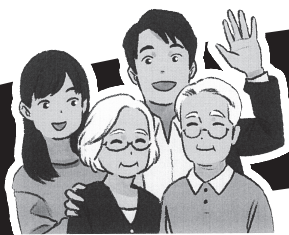
受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

令和6年度

スケールメリットを活かした割安な保険料で
充実補償をご提供します！



ホームページでも内容を紹介しています
https://www.fukushihoken.co.jp



社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償

(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、サイバー保険、
動産総合保険、費用・利益保険)

① 基本補償(賠償・見舞費用)

保険期間1年

▶保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故に対応	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
お見舞い等の各種費用	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

▶年額保険料(掛金)		基本補償(A型)
基本補償(A型)	定員	
	1~50名	35,000~61,460円
	51~100名	68,270~97,000円
見舞費用付補償(B型)	以降1名~10名増ごと	1,500円
	基本補償(A型) 保険料 + 【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所：1,300円 通所：1,390円	

② 個人情報漏えい対応補償 ③ 施設の什器・備品損害補償

- オプション1 ● 訪問・相談等サービス補償
- オプション2 ● 医務室の医療事故補償
- オプション3 ● 看護職の賠償責任補償
- オプション4 ● 借用不動産賠償事故補償
- クレーム対応サポート補償

プラン2 施設利用者の補償

(普通傷害保険)

- ① 入所型施設利用者の傷害事故補償
- ② 通所型施設利用者の傷害事故補償
- ③ 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償



プラン3 職員等の補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険、雇用慣行賠償責任保険)

- ① 職員の労災上乗せ補償
使用者賠償責任補償
- ② 役員・職員の傷害事故補償
- ③ 役員・職員の感染症罹患事故補償
- ④ 雇用慣行賠償補償



プラン4 法人役員等の補償

(役員賠償責任保険)

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉

損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03(3581)4667

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)